臺灣日日新報
夕刊
六月二十七日
夕刊定價一部二錢
編輯發行人　江口淸作
發行所　臺北市榮町四丁目三十二番地　臺灣日日新報社
[illegible]

蠢動せば直に撃滅
敵軍行動頓に消極化
南支軍六月中の戰果

【廣東二十六日發同盟】南支方面に於ける抗日軍は前月東江方面に於ける我が軍の大殲滅下に惨敗を喫して以來最近は其の行動消極化しつつあり我軍は我が占據地近傍に敵の蠢動を認めるや直ちにこれを擊滅、敵をして再起の餘地なからしめて居る、六月中に於ける南支軍の主なる戰果左の通り

一、惠陽其の他の諸部隊は十四日夜以來增城西北方山地帶に於ける敵匪の策源地を襲ひ約五百の敵に殲滅的打擊を與へた、敵遺棄死體一三七、捕虜二〇、鹵獲品小銃二三、小銃彈八、四八、其の他追擊砲彈藥多數の戰果を擧げた

一、土井、東海林、宮地等の諸部隊は本月中旬西江沿岸地區の各敵に對して徹底的掃蕩を行ひ、小銃一六一、小銃彈一二、九二〇、擲彈四八、擲彈筒彈一、〇八〇、其の他多數の鹵獲品を得た

一、田中部隊は十一日より朱江下流斗門、乾務等の地區の攻略を開始大なる敵の抵抗を受けずして當地附近を占領した

一、福建省福淸寺廟部隊は廿日牛田（福淸東南方十五粁）附近に集結せる敵約四百を急襲したが敵は屍體一三四及び多數の武器彈藥を遺棄して潰走した

一、齋藤隊は廣東省遂東地區掃蕩を行ひ洋砲十五、其の他彈藥多數及び密輸中の兵器火藥類等を押收した

一、南支軍飛行部隊は皇軍占領地外周の敵陣地並びに福閩等の援蔣ルートを爆擊し敵陣地に多大の損害を與へたが特に十四日には雲南省南部象目平地の潮汕、潮板、新街等の敵司令部及び敵陣所在地を急襲到る處火災を惹起せしめ多大の損害を與へた

神泉、東澳の敵を殲滅
目的達成　海軍部隊悠々撤退

【廣東二十七日發同盟】南支艦隊報道部發表（六月二十七日午前九時）敵軍需品輸送の新ルートとして形成中なりし神泉所城を急襲せる海軍部隊は水陸相呼應して神泉所城、東澳に占據せる敵を殲滅し軍需品輸送基地を完全に破壞し昨日午後悠々神泉港より撤退せり、敵方擔部隊は遂にその片影をも現はさず我に損害無し

けふも開催さる
政府統帥府臨時懇談會

【東京發同盟】政府、統帥府との臨時連絡懇談會は二十七日午前一時半より首相官邸に開かれ政府側より近衛首相、松岡外相、平沼內相、東條陸相、及川海相及び富田內閣書記官長、武藤、岡兩軍務局長、統帥府側より杉山參謀總長、永野軍令部總長等出席當面の重要問題につき協議した

大島駐獨大使　獨外相と懇談

【ベルリン二十七日發同盟】大島駐獨大使は二十六日ベルリン北方のゾンネブルグに赴きリツペントロツプ外相の山莊で同外相と二時間に亙り獨ソ開戰に伴ふ諸般の問題につき懇談を重ねた

獨大使を招き　松岡外相要談

【東京發同盟】松岡外相は二十七日午前九時千駄ケ谷の私邸にオツト駐日ドイツ大使の來訪を求め約一時間半に亙り要談した

ハンガリーを　ソ軍初空襲

【ベルリン二十六日發同盟】DNB通信ブダペスト電に依ればソ聯空軍が二十六日ハンガリーを初めて空襲し東北部の要地カツシヤ市（ブダペスト東北百十粁）及びカルパト（ウクライナ）東南部のラホー（ハンガリー、ソ聯國境西方三十粁）に爆擊を加へこの爲め兩地とも甚大な損害を蒙つた

工場は目下火焰に包まれてゐると

捕虜波蘭兵を　ソ聯使用か

【ロンドン二十六日發同盟】當地中立國高官筋の情報に依れば目下英、ソ聯間にはソ聯にあるポーランド兵捕虜三十萬を釋放して對獨戰に出動せしめんとの交涉が進行中であると

對ソ作戰　獨軍戰況發表近し
獨軍司令部發表

【ベルリン二十七日發同盟】獨軍司令部發表

東部戰線　一、二十六日獨國空軍の作戰は豫定の如く續行されてゐる、國境に於ける幾多戰勝の結果獨軍の作戰的大成功が近く明かにされよう

一、獨海軍の若干部隊は對ソ戰に參加してゐるが一方對英戰に於いても獨海軍はその任務を遂行戰果を收めてゐる

北大西洋　一、獨潛艦は單獨或は多數で擊破されて英本土向け航行中の英護送船團を襲擊して英船八隻四万八千八百噸を擊沈した

一、クランケ大佐の指揮する袖珍戰艦アドミラル・シエア―號は北並びに南大西洋に活躍後今回基地に歸還したが、同艦は合計十五万二千噸の商船を擊沈した

一、外國水域に於いて通商破壞戰に活躍してゐた補助巡洋艦ピンギン號は印度洋上で英甲級巡洋艦コーンウオール號（一〇、〇〇〇噸）と戰鬪の後擊沈された、尙ピンギン號は過去數ケ月間大西洋並びに印度洋上に活躍英商船十四万噸を擊沈した

一、英空軍は二十五日カレー周邊の獨軍占領地區に對し空襲を試みたがその際英追擊機二十六機が擊墜された

一、二十五日夕刻獨空軍は英本土南岸の諸港を爆擊サザンプトン港の港灣施設に大火災を發生せしめた

一、去る二十四日獨空軍はトブルク沖合水域に於いて英艦隊を攻擊、輕巡洋艦一隻を擊沈大型巡洋艦一隻に命中彈を與へた

一、獨空軍は二十五日、ハイファ港の軍事施設を空襲多大の損害を與へた

ブカレスト爆擊さる

【ロンドン二十六日發同盟】ロンドンで傍受したモスクワ放送に依ればソ聯筋は「二十六日ソ聯空軍がルーマニアの首都ブカレストを爆擊尙又油田地帶の中心地プロエスチを爆擊した」と發表した、同發表に依るとプロエスチ附近の製油

天皇　皇后兩陛下
大宮御所に行幸啓

【東京發同盟】天皇、皇后兩陛下には二十七日午前十時四十五分御同乘の略式自動車鹵簿にて宮城御出門大宮御所に行幸啓あらせられ皇太后陛下と御對面御挨拶を交させられ御揃ひにて午餐を召させられ種々御物語りの裡に御歡談あらせられた、午後一時御所御出門天機並びに御機嫌御麗はしく宮城に還御遊ばされた

死を賭して落下する獨軍落下傘突擊隊員

レーニングラード猛爆
獨空軍、二十四、五の兩日

【ベルリン二十六日發同盟】DNB通信は二十六日軍部筋情報として獨空軍が二十四、五の兩日に亙りレーニングラードを猛爆軍需品工場、冶金工場、飛行機格納庫、火藥工場及び多數の工作機械製作工場を爆破炎上せしめた旨報じてゐる

イラン中立
ソ聯側の發表

【モスクワ二十六日發同盟】ソ聯政府は二十六日タス通信を通じイランが獨ソ戰に就き中立を堅持すべく確約を與へた旨次の如く發表した

サイド駐ソイラン大使は二十六日外務人民委員部に對し口頭を以て次の如く通告し來つた

本國政府の訓令に基き余は外務人民委員部に對し獨ソ戰爭勃發の結果惹起された事態にも拘はらずイラン政府は完全なる中立を堅持する旨を通告する

更生の福州
人口二十八萬を突破

【福州二十六日發同盟】市公安局調査に依る六月下旬現在福州市總人口は二十八萬を突破し事變前の約四分の三に當つてゐるが內譯左の如し

戶數	[illegible]
男	一四〇、四九三
女	一四〇、三二九
計	二八〇、八二二

[illegible]る我が占領地區[illegible]り配給[illegible]れる狀況は極めて圓滑に行はれ住民の安居樂業の狀態を現出しつつあるに反し敵奧地樹腦の中心たる永安、南平方面では最近歸來せる旅行者の談に依ると米、鹽をはじめ日常必需品の缺乏甚だしく、從つて住民に於ては旣に他方に四散せざるを得ざる窮狀を呈し遂に福州出身の避難移住者も續々福州へ歸來しつつあり今後一層の人口增加を豫想される

世界經濟調査會設立披露會

【東京發同盟】東亞共榮圈確立のため日々變化しつつある世界各國の政治、經濟事情を調査研究する目的で設立された鹿島之助男を會長とする世界經濟調査會設立披露會は二十六日帝國ホテルで朝野の名士約二百名出席の下に開催、會長鹿島男病氣缺席のため、副會長八田嘉明氏が設立趣旨に關する挨拶を述べ次いで來賓の松岡外相から「官民俱に一段と協力して、國家の爲に協力して頂きたい」と力强い祝辭があり大藏大臣（總務大官代理）李滿洲國大使等の祝辭披露あり八時半すぎ散會した

定例閣議

【東京發同盟】二十七日の定例閣議は午前十時十五分より首相官邸に於いて開催、近衛首相以下全閣僚出席、先づ東條陸相兩相より目下滿洲に於いて開發してゐる無煙炭オイルシエール生產の現狀並に政府のこれが對策に就いて詳細なる說明を行ひ松岡外相よりも獨ソ戰時代の經緯に基いて補足的說明を行ひ更に獨、ソ戰の進展狀況に就いて說明正午散會した

臺灣會計懇談會
あす第一回月例會

最近時局緊急の要請に基づき國府所屬豫算は飛躍的に激增を示してゐるが、是れが運營の如何は國民經濟に及ぼす影響も甚大であるばかりでなく、經濟機構の與單に關聯して豫算の目的とする事業を完全に遂行する上には物資勞力等の調辨組織は勿論現行會計法令にも多くの缺陷があるので、會計事務の適正を期する爲めに總督府主計課に於ては會計監督に併せて懇談的に會計機構の要ありとし先月五日總督府所屬官公衙の會計責任者を打つて一丸とする臺灣會計懇話會を結成したのであるが、會長中嶋財務局長、副會長高橋主計課長並安藤總督府會計課長其の他參與幹事等の役員も夫々就任を承諾したので愈々二十八日（土曜日）午後一時より第一回月例會を臺北幸和會館に於て開催し座談的に左記事項に關し意見の交換をなす由である

一、昭和十六年度事業計畫

一、同豫算

一、時局の推移に伴ひ會計諸法令中改廢を適當とするもの如何

なほ議事終了後企畫部物資課長代理島澤事務官の物資統制に關する講演がある筈

七百七十五隻竣工
米建艦計畫進捗

【ワシントン二十五日發同盟】ノツクス海軍長官は二十五日、本年一月以降の米海軍建艦計畫の進捗狀況を次の如く發表した

米海軍は七十一億三千四百万弗の豫算を以て二千八百三十一隻の艦艇の建造に着手したが、其の內戰鬪艦艇三百三十七隻（總噸數百二十七万四千噸）補助艦艇百五十四隻、水雷敷設艇百五隻、哨戒艇百四十四隻、防潜艇三十五隻、合計七百七十五隻は旣に完成を見た

米海軍軍人の軍務服役期間延長法案

【ワシントン二十六日發同盟】米海軍省軍務局長ニミツト少將は二十六日上院海軍委員會に對し海軍軍人の軍務服役期間延長法案の承認方を要請した、これは議會が米國の權益が危殆に瀕してゐる旨正式に宣言した場合には直ちに全滿期海軍將兵をこの戰役期間滿了後も引續き軍籍に置き得る權限を政府當局に付與せんとするものでニミツト軍務局長はこれが要求に當り『海軍當局は目下の急速なる艦隊擴充のため著しく熟練乘組員の不足に惱んでゐる』と述べた

人事

▲水戶春造氏（臺拓顧問）廿八日南部へ
▲高橋進一郎氏（拓南局第一課長）廿五日來臺、廿七日海南島へ
▲水野信時氏（朝鮮采田釀造機械製作所取締役）廿六日來北（朝陽號）
▲川本澤一氏（川本組主）廿七日高雄へ、廿九日歸北
▲田邊利可氏（臺灣パルプ支配人）廿七日來北（鐵道ホテル）
▲松原敬氏（國際監查役）廿七日新營へ
▲中村安太郎氏（日石臺灣製油所長）廿七日來北（朝陽號）
▲重森確太氏（臺東製糖常務）廿七日來北（吾妻）
▲鈴作次氏（臺灣營業部長）廿七日來北（吾妻）

無絃琴

けふ全島は、あげて志願兵制度實施に對する感激を爆發させた▲この日陸軍部は空に銀翼弧を描いて歌舞し、地には堂々兵、學生隊の市街行進あり▲じりじりと燒きつける炎南の陽光に脂汗を滲ませながらシャベルを擔いだ勤行報國青年隊の參加は殊に異彩を放つものがあつた▲いふまでもなく近代戰は國家總力戰であり、シャベルの戰士の流汗淋漓たる姿は第一線將兵の肝腦血にまみれる勇戰苦鬪と等しく評價さるべきであつて多少ともその間に奉公感激の差があつてはならない▲しかし世の中はとかく——[illegible]平になりたがる役者は多くても猪になる役者はすくない▲シャベルを擔ぐよりも銃を擔ぎたがるのは人情の自然已むべからざるところなりとはいへ、それでは國家總力戰體制の整備確立はできないのだ▲この意味で、內地に於ても旣に產業戰士を第一線將兵同樣何等かの方法で國家が表彰せよとの議論も出てゐるが聞くにして實現したとの話を聞かない▲いづれは實現せらるべきものと思ふがソ聯では例の第二次五ケ年計畫に於てスタハノフ運動なるものを提唱▲いろいろ非難もあつたが產業戰士を國家で表彰、名譽と勳功を與へたことが五ケ年計畫完遂の上に非常な效果を齎したことは人のしるところである▲ソ聯でやつたから——といへば一も二もなく危險がられるかもしれないが、よいことはよいとして學ぶべきは學ぶべし▲それによつて勤勞者の生活が充足されるならば欣びはひとりシャベルの戰士だけではない。

鮭の配給量決る

【東京發同盟】お國產物の王者鮭鱒の各府縣割當とその配給ルートが決まつた、農林省では魚に鮭鱒の一手集荷配給の統制機關日本鮭鱒配給會社を作り去る十七日商館で其の創立總會を擧げたが、二十五日農相官邸で鮭、鱒配給協議會を開催、日本鮭鱒配給會社の手を通じて一手に配給される鮭、鱒の各府縣割當及びその配給ルートを決定した、之に依ると配給ルートは同會社が日魯、太平洋、北日本林業、日水等の生產者團體から一手に鮭鱒を集荷し六大都市は直接中央市場へ其他の地方は北海道、東北、關東、甲信越、北陸、東海、近畿、中國東部、同西部、山口、九州の十ブロツクに配給組合を結成、之を通じて卸小賣、消費者の順で配給消費は同會社から直接又は輸移出關係は日本海產物會社、臺灣方面は全臺聯販の手を夫々通じて配給され一方、配給量は年產百八十九萬箱（一箱十貫入）として五月から九月までに四割七分、十月から二月まで五割三分の割として十二月は正月用として一番多く三十萬箱、九月は最も少く二十八萬箱、又一年を通しての消費地需要が多い爲めに夫々二十二萬箱府縣割當數量は年百五十萬箱を配給する見込みとして次の樣な比率になつてゐる

東京、川崎、橫濱市二十一万一千箱、京都市二万八千五百箱、大阪市八万五千箱、神戶市二万八千五百箱、名古屋市三万二千箱、北海道十万八千箱、東北二十一万七千五百箱、關東十七万一千箱、甲信越十四万一千五百箱、北陸五万三千箱、東海十二万七千箱、近畿六万八千箱、中國東部七万五千箱、中國西部五万三千箱、山口九州一万二千箱

援ソの掛聲のみ
ソ聯は米國に求めず

【ワシントン二十六日發同盟】去る二十三日來每日の如く國務省の記者團會見で繰返される質問は「ソ聯から援助の依賴が來たか」といふ事でこれに對する國務省の答は相も變らず「未だ何も來てゐない」といふのである、質問者は更に手を換へて「スタインハート駐ソ大使から何も言つて來ないか」と尋ねるが「報告はあるがソ聯政府の援助問題については未だ聞いてゐない」といふのがウエルズ國務次官の返答である、この樣にソ聯援助の掛聲だけ行つてゐるが本家のソ聯は遂に今迄の所援助を求めて來てゐない模樣で右につきニユーヨークの共產主義新聞は「ル大統領のソ聯援助なるものがどれだけ本氣であるか判らぬ」と云ひ惡口を叩く者は「共產主義は怪しからぬ」とさんざん惡口を吐いておいてだが援けてやると言つた樣な過日の聲明に對し如何にソ聯でも今では宜しいとは出れまい、殊に今迄米國を攻擊してゐたソ聯でありてれ臭い氣持だらうと云ふのである、ソ聯側から出た噂らしいが「米國の援助は兎も角として米國は先づソ聯に對する偏見を淸算せよ」といふのがソ聯の肚だと云ふ說もある、勿論さうは云つてもやがてソ聯が求めて來ないとは云ひ切れないソ援助は旣に始めから諦められてゐるシベリア向けにどれだけの物資が送られるか更にこれがソ聯の戰を支へるのにどれだけ役立つ等の問題は依然殘されてゐるところに熱意に乏しいものがあり掛聲だけが大きくて[illegible]いのではないかといふ[illegible]觀測である

ソ聯の單獨講和
英國阻止か
今後の英ソ交涉

【ニユーヨーク二十六日發同盟】ドイツの對ソ攻擊を契機としてソ聯は自動的にイギリス側に立つこととなり兩國間には軍需經濟兩面の援助を目的とする使節團の交換が行はれるに決したが今後の英、ソ交涉に就き二十六日のロンドン情報は次の如き觀測を傳へてゐる

ソ聯は恐らく對獨戰終了前にドイツと單獨講和せずとの聯合國同協定に參加を要求されるのであらう、然しかかる要求の提起前に先づ英ソ同盟を正式に締結することが恐らく必要であらう現在の所如何なる同盟條約も考慮されてゐる形跡はないが英米としては萬一ソ聯が降伏すれば[illegible]均衡はドイツ側に絕對有利となつて終ふのでソ聯に物質的援助を提供する條件として「單獨講和をしない」との保障を得ることは最も歡迎する所である

獨英反ソ共同戰線
獨、英に和平提案說
米國務次官批評を避く

【ワシントン二十六日發同盟】ウエルズ國務次官は二十六日の新聞記者會見の席上記者團から「ベーベン駐トルコ獨逸大使がヒユーゲツセン駐トルコ英大使に對し英獨兩國の反ソ共同戰線結成を主張して和平を提案したとのアンカラ電に就いて意見如何」との質問を受けたがウエルズ次官は批評を避け「自分はこの情報を新聞では讀んだが何等公報は接受して居ない」と述べ、更に米國の對ソ援助に關しては

國務省は未だソ聯から何一つ要請を受けて居ないし又ソ聯は米國の援ソ申出に對しても何等公的の意思表示もして居ない、ヴイシーでリーイ大使がソ聯の駐佛大使と會談した事は事實だがこれは普通の意見交換で國務省の訓令に基くものではない

と言明した

山下中將の一行
滿洲里に到着

【滿洲里二十六日發同盟】歐洲戰爭の實相を凡ゆる角度より檢討するため獨伊兩國の招待により獨伊各地を歷訪六箇月に亙り歐洲各地の軍事視察をした山下中將一行十五名は二十六日午後八時四十分滿洲里の國境を通過、滿洲里の國務機關長、〇〇部隊長、松田領事等の出迎へを受けモロトフ驛道で元氣に滿洲里に到着、出迎への記者團に對しては

獨ソ戰爭勃發の報はノヴオシビルスク附近で聞いたが詳細な戰爭經過に關しては全く聞いて居ない、獨伊の戰時情勢は私の出發後全く變化してしまつた、然し時局極めて複雜な際種々な意見の發表は差控へたい

と語つた、一行は二十七日午後二時四十五分滿洲里發ハルビン、新京經由東上する

蘭印と米大陸
空路開設計畫

【ロサンゼルス二十六日發同盟】オランダ航空會社の技師ウエールズマン及び支配人ヘエルステーグ兩氏は旅客機購入の爲めチヤイナクリツパー機で渡米し目下當地に滯在中であるが兩氏の言に依ればオランダ航空會社及び蘭印航空會社は近く米國資金で米大陸との航空路開設を計畫中だと云はれる

ソ聯の戰況發表

【モスクワ二十七日發同盟】ソ聯軍最高司令部發表

一、二十六日中ミンスク地區に於いてソ聯軍は侵入し來つた敵の機甲部隊と交戰目下戰鬪繼續中である

一、ルタク（ルヴオフ東北百五十粁）方面に於いては二十六日終日大規模の戰車戰が行はれたがソ聯軍は斷然優勢であつた

一、チエルナウチ方面ではソ聯空軍はジヤツシー（ルーマニア）の軍事施設を爆擊、多大の損害を與へた

一、二十六日ソ聯空軍はルーマニアのブカレスト、プロエスチ及びコンスタンツアを爆擊、目下プロエスチの製油工場は炎上中である、

一、ソ聯國境では二十六日地上部隊の衝突なし

一、バルト海ではソ聯空軍と小艦艇と戰鬪、敵艦二隻を擊沈した

リトアニア全部
進擊の獨軍確保

【ベルリン二十五日發同盟】獨軍は全線とも豫定以上の猛進擊を續けバルト三國方面より進擊中の部隊は二十四日遂にコヴノ、ウイルノを奪取し二十五日午前中にリトアニアは全部獨軍の確保する所となつた、赤軍に編入されたリトアニア軍は獨軍と共に赤軍から離反しメーメル河西岸地區を確保したので獨軍は難なくリトアニア內に進入し對岸より敵前上陸した部隊と呼應してリトアニア內の赤軍の大半を殲滅した、同地方に駐屯してゐた赤軍はキルギス人、蒙古人等を主體として編成された西アジア人部隊で相當の抵抗を試みたが遂に獨軍の前に擊破されるに至つた

芬戰線へ獨山嶽部隊

【ロンドン二十六日發同盟】スカンヂナヴイア消息筋の情報に依れば、ドイツはナルヴイク方面からスウエーデンを經由フインランド戰線に七千五百名の山嶽部隊を輸送したと云はれる

芬蘭正式對ソ開戰
丁抹も對ソ關係斷絕

【ベルリン二十六日發同盟】フインランドは獨軍と協力して二十二日來事實上開戰してゐたが二十五日遂に正式に開戰し作戰行動に入つた旨ドイツ當局から發表された一方デンマーク政府は二十五日午前十時ソ聯政府との外交關係斷絕を正式に發表モスクワ公使館員に對し引揚げの指令を發した、スペインではマドリードを始め目下全國各地で盛んに反ソ示威が行はれて居りスペインは內亂の苦い經驗でソ聯への反感が强く對ソ國交斷絕の行動に出るのは時間の問題と見られてゐる斯くて歐洲各國は餘す所なくドイツの反共十字軍に馳せ參ずる形勢を示して來た

伊、對ソ遠征軍派遣

【ローマ二十六日發同盟】ドイツと共に二十二日對ソ宣戰を布告したイタリア政府は二十六日對ソ遠征軍を派遣する旨正式發表、ムツソリニ首相はポー河畔で同日對ソ派遣軍の先發隊として近く出發豫定の第一機械化師團の將兵を行ひ激勵の辭を與へて士氣を鼓舞した

三國志
（出廬の卷）
吉川英治作
矢野橋村畫

(523)

十面埋伏（一）

袁紹はわづか八百騎ほどの味方にまもられて、辛くも黎陽（山西省黎城附近）まで逃げのびて來たが味方の聯絡はズタズタに斷ち切られてしまひ、これから西すべきか東すべきか、その方途にさへ迷つてしまつた。

黎山の麓に寐た夜の明け方ごろである。

ふと、眼をさますと、老幼男女の悲泣哀號の聲が天地にみちて聞えた。

耳をすましてゐると、その聲は親を討たれた子や、兄を失つた弟や、良人を亡くした妻などが交々に、肉身の名を呼びさがす叫びであつた。

「審配、逢紀の二大將が、諸所のお味方をあつめて、たた今、ここに着きました」

旗下の報らせに、袁紹は、

「さては、あの叫びは、敗戰のわが兵を見て、その中に身寄の者がありやなしやと、案じる者共の聲だつたか……」

と、思ひあはせた。

しかし逢紀、義渠の二將が追ひついてくれたので、彼は蘇生の思ひをし、冀州の郡へ歸つて行つたが、その途々にも、人民たちが、

「もし田豐の諫めをお用ひになつてゐたら、こんな見苦しい目は見まいものを」

と、部落を通つても、町を通つても、沿道に人のあるところ、必ず人民の哀號と恨みが聞えた。

それもその筈で、こんどの官渡の大戰で、袁紹の冀北軍は七十五萬と稱せられてゐたのに、いま還る紀、義渠などが附隨してゐるとはいへ、顧みれば敗殘の將士はいくばくもなく、數々の破旗、悲風に鳴り、民の怨嗟と哀號の的になつた。

「田豐。……ああさうだつた。彼の諫めを耳に入れなかつたのがわが過ちであつた。何の面目をもつて彼に會はうか」

袁紹がしきりと悔い詫るのを聞いて、田豐と仲のよくない逢紀は冀北城に近づくと、やがて彼が袁紹に重用されやうかと懼れて、かう讒言した。

「城中から、お迎へのため急いた人々のはなしを聞くと、獄中の田豐は、お味方の大敗を聞いて手を打つて笑ひ、それ見たことかと、誇りちらしてゐるさうです」

又しても袁紹は、こんな讒言の舌にうごかされて、內心、ふたたび田豐を憎惡し、歸城次第に、斬刑に處してしまはうと心に誓つてゐた。

冀州城內の獄中に監せられてゐた田豐は、官渡の大敗を聞いて沈吟、食も攝らなかつた。

彼に心服してゐる典獄の奉行が、ひそかに獄窓を訪れてなぐさめた。

「今度といふ今度こそ、袁大將軍にも、あなたの御忠誠がよく分つたでせう。御歸國のうへは、きつとあなたに謝して、以後、重用遊ばすでせう」

すると田豐は首を振つて、

「否とよ君。それは常識の解釋といふもの。よく忠臣の言を入れ、奸臣の讒を卻ぶるほどな御主君なら、こんな大敗は求めない。おそらく田豐の死は近きにあらう」

「まさかそんな事は……」

と、典獄も云つてゐたが、果して、袁紹が歸國すると即日、一使が來て、

「獄人に劍を賜ふ」

と、自刃を迫つた。

典獄は一田豐の先見に驚きもし、また深く悲んで、別れの酒肴を、彼に供へた。

田豐は自若として、獄を出、座に坐つて一杯の酒を酌み、

「およそ士たるものが、この天地に生れて、仕へる主を過まつことは、それ自體、すでに自己の不明といふほかはない。この期に至つて、何の女々しい繰言を吐かんや」

と、劍を受けて、みづから自分の首に加へて伏した。黑血大地を更に睨ふし、冀州の空、星は妖しく赤かつた。田豐死すとつたへ聞いて、人知れず涙をながした者も多かつた。

協力的
化膿性疾患
化學療法
內服短期
……の藥量は快心の治療を始め休藥四日間に化學的撲滅力を集中す

協力相乘作用の再認識
殺菌力の協力的增加
本劑は、一基性化合物（ヂメチールアミド）と二基性化合物（ズルホンアミド）とを、幾多實驗に徵して歸結した獨自のゴール率にて組成したもので、治療效果は是等二種の各々の特長を發するは勿論、更に二種の協力相乘的な累果を生ずるので、治療範圍は擴張され、治療期間は甚しく短縮される特長を有する。

治癒機轉の促進
その主力は細菌の殺滅力を强め治癒機轉を著しく促進するので例へば、急性慢性症の治療に當つて分泌物の停止膿瘍の自壞排出を初め、發赤腫脹の消退、疼痛の消失の如きが、本劑服用數日中に現れるのは、協力作用による效果と見るが至當である。

化學的治癒へ一路
獨自の協力的效果は、特に定むる三・四服用法で一層促進される即五十四錠（一日三回、一回六錠）を三日間に連續服用し、後四日間休藥するを1クール單位とす。（注意）治療に當り急性は1クール慢性は4クールを單位としそれにて良果ある場合も、更に1又は4クール追加が安全である。

自家製劑による治療的經濟的優越
本劑の組成分たる二種の化合物は何れも自家製藥たる爲、高純度を有して效果顯著鮮明加之藥價低廉なる故治療上好適至極である。

適應症
扁桃腺炎、丹毒、面皰
腫瘍、中耳炎、膀胱炎
急性淋疾、慢性淋疾

注意 [illegible]

定價
1クール　五四錠　一円五十錢
2クール　一〇八錠　二円八十錢
4クール　二一六錠　五円三十錢
病院大量用　五〇〇錠　十二円

最新　多基性・化學療法劑
內服
ケンゴール

總代理店　合名會社　河原商店
東京市芝區新町十三番地
（日東製藥合名會社　製品）
AK―2

志願兵制度謳歌に沸き返る
聖壽萬歲全島を壓す
けふ各地一齊に祝賀式擧行

[illegible]へたり、この感激、この歡喜[illegible]つなく此座に明けた二十七日、それは臺灣特別志願兵制度採用決定を祝ふ歴史的の日なのだ、六百萬島民の感激に[illegible]々浦々を蔽ひ、萬歲の歡聲の如く地軸を搖がし空にはわが無敵[illegible]の[illegible]堂々と全島に祝賀飛行を敢行し、空に[illegible]げられた空前の祝賀繪巻、そして力強くも逞しく姿でらるる感謝、正に[illegible]天地に滿つるの感があつた、この日島都の祝賀式は市主催に依り午前十時半から新公園で長谷川總督、本間軍司令官臨場の下に擧行、盛夏の太陽がきらきらと照りつける式場は既に新裝をこらして定刻前から色とりどりの服裝と全島各市街庄の代表三百餘名を含む

六萬餘の 參列者を呑んで[illegible]き中に靜まつてゐた、かくて式は特別永助役の開式の辭に始まり、ラツパの吹奏裡に東方に向つて恭々しく宮城を遙拜、ブラスバンドの「海行かば」吹奏のうちに戰歿英靈に感謝と出征勇士の武運長久を祈願して敬虔な默禱を捧げ、國歌合唱と莊重な國民儀禮を終れば臨村臺北市長は登壇して

時局下高度國防國家の建設に一億一心を傾注し東亞共榮圈の確立を期せんとするの秋南方の護り、わが臺灣に於て待たれた志願兵制度の實施決定を見たるは

輝かしき 將兵への[illegible]足として血湧き肉躍るの感を覺ゆるのでありまして祝賀の念自ら禁じ能はざる處であります

と力強く式辭を朗讀した後臺北市青年を代表して陳錫陽君は宣誓に感激した面を輝かせつつ歡喜に滿ちた口調も[illegible]しく[illegible]の如く宣誓をなし終つて[illegible]田俱太郎、[illegible]式[illegible]氏の各祝辭に次で[illegible]永助役より上村前臺北州知事、[illegible]參事會議長、酒井前臺北憲兵隊長を始め各方面から寄せられた祝電の[illegible]披露あつて臨村市長再び壇上に起ち、本制度の實現に努力された近衞首相、東條陸相、及川海相、秋田拓相に對し

感謝電報 發送方を滿場に諮り、電文を讀み上げれば期せずして百雷が落ちた如く拍手が送つて異議なく[illegible]、かくて正十一時、[illegible]大將の[illegible]に[illegible]たる[illegible]一等を佩用した長谷川總督は、無上の榮譽に應へ奉るべき途は全島民擧つて皇民精神に徹するに在るの旨を強調する訓示を行へば總督の[illegible]る聲音は全島各市街庄の祝賀式に中繼放送され最後に本間軍司令官が[illegible]と巨軀を壇上に運び威儀を正して

天皇陛下 の萬歲を奉唱すれば參列の六萬市民は[illegible]から迸る萬歲を三唱して同十一時十分滯りなく式典を終了した、全島各市街庄も本間軍司令官の發聲に和して聲高らかに萬歲を高唱！萬歲の雄叫び萬歲の怒濤は天地をゆるがすばかりであつた（寫眞は本間軍司令官の萬歲發聲）

總督訓示

六百萬島民の熱望[illegible]を讚ひ全島一齊に擧行せらるる本日の祝賀式に臨み親しく諸君の朗やかしい面貌に接しまして誠に欣快に堪へないものがあります、畏くも陛下に於かせられましては領臺以來一視同仁の大御心を垂れ給ひ本島をして眞の皇土、島民たらしむべく限りなき聖澤を廻らせ給うたのでありますが此度更に本島の發生に對し股肱としての絶大なる御信倚を賜はつたのであります 聖恩の廣大無邊なるを拜するだに感激の極みであります、抑々本制度は單に志願兵にのみ與へられたものでなく、實に六百萬全島民に賦與せられたる[illegible]い賜物と申さねばならないものでありまして從つて之が成果を擧ぐると否とは懸つて全島民の上に在るのであります、青年は擧つて志願兵たるべく、婦女子は之を鼓舞すべく、內地人亦之を輔導支援し內臺一心、渾然たる躍進あつて初めて此の重責を完遂し得るものであります、要するに此の無上の光榮に應へ奉るべき途は全島民擧つて皇民錬成に徹するに在るのであります、今や世界の一大轉換期に際會し帝國は不動の國是と嚴然無比の國防力とを以て東亞新秩序の確立に邁進し國民擧つて臣道實踐の大道に一致されねばならない重大時期に此の劃期的制度の施行を見るに至りました事は如何にその使命の重大にして如何に其の責務の加重せられたるかを痛感せざるを得ないのであります、島民たるもの宜しく粉骨碎身其の職域に精勵し以て皇恩の万分の一に報い奉らん事を期すべきであります

昭和十六年六月廿七日　臺灣總督　長谷川　清

宣誓 吾等は國軍[illegible]特別志願兵制度採用決定にあたり廣大無邊の聖恩を拜謝すると共に皇民精神の本義に徹し島民皆兵の志操を堅持し切磋琢磨以て一意奉公の至誠を致さん事を誓ふ

臺北市青年代表　陳錫陽

感謝電報 本日臺北市に於て臺灣特別志願兵制度祝賀式擧行に當り市民を代表し謹みて閣下の御高配に對し深甚なる感謝の意を表し併て將來一層の御援助を御願申上ぐ

臺北市長　臨村寅太

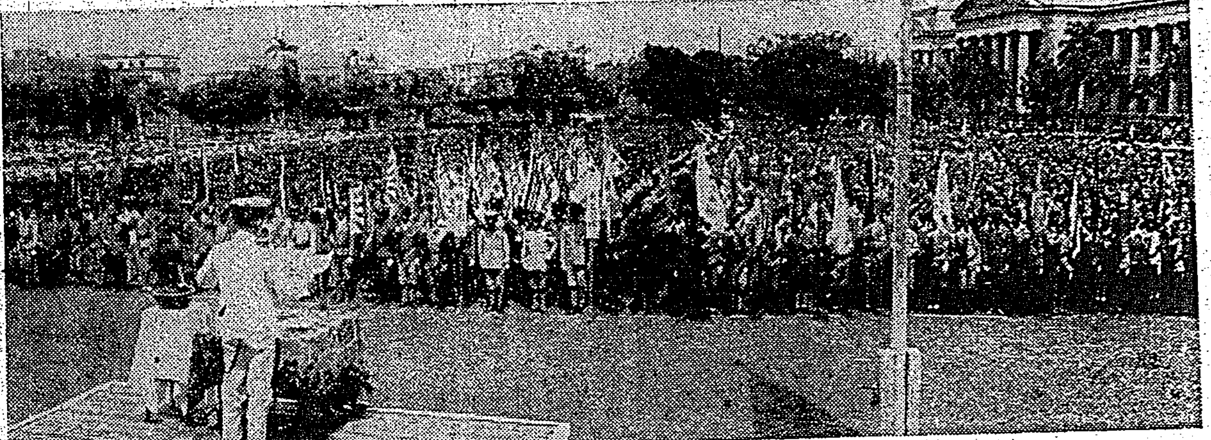
地方の誇り
故吳[illegible]未亡人談

【新竹電話】[illegible]に[illegible]たる武勳を建てて名譽の戰死を遂げた新竹州中壢郡楊梅庄[illegible]出身吳[illegible]は昭和四年[illegible]公學校を卒業、直に國語講習所[illegible]として勤務してゐたが支那事變勃發を機會に[illegible]北京語[illegible]昭和〇〇年〇月[illegible]に[illegible]至極あつさりした明朗な青年であつた、家には[illegible]共[illegible]在で旅館業を營み美妹夫人との間に二男、二女があり、長男は[illegible]君、長女[illegible]さん次女[illegible]さんである、美妹夫人は語る

主人は出發の際にも別に特別の話はしませんでした、唯行つて來るから子供は頼む、大いに敎育して呉れと言ひ殘しただけです、私も出征前から覺悟してゐますし本人もさぞ滿足でせう、南國の[illegible]と祀られ[illegible]家の名譽であるばかりか又地方の誇りだと思つてゐます

山本要港部司令官上京

山本馬公要港部司令官は[illegible]參謀を帶同して二十六日來北、官民多數の出迎へを受け、旅館西陣に少憩後午後四時半總督官邸に長谷川總督を正式訪問、挨拶並に懇談を交し、同夜午後七時よりは長谷川總督招待の晩餐會に磯田興亞院連絡部長官と共に臨んだ、二十七日は午前七時半南部旅行中であつた酒井海軍武官の訪問を受け種々懇談を交し、同九時半酒井武官等に見送られ自動車にて基隆に向ひ高千穗丸に乘船上京した



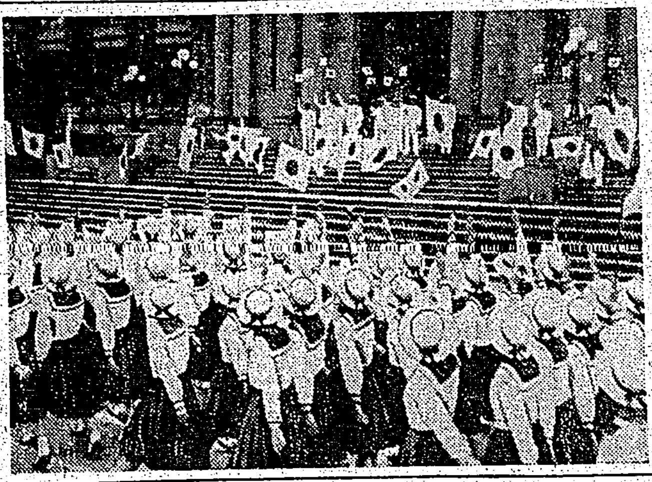
島都の祝賀式
寫眞は全景と長谷川總督の訓示朗讀

空陸・絢爛の祝賀譜
島都歡喜にどよめく

[illegible]の きれめに 六月の 空が青く、その青さを炸裂する煙火が點々と汚す度に快音が朝の島都に響きわたる、新公園で打ち上げる『臺灣特別志願兵制度實施』祝賀の花火だ、六百萬島民の祭典を寿ぐ序樂曲だ、風のない街に國旗が軒並に垂れ、この日の感激を強調すると共に炎熱の來襲を約束する午前九時半、街路は次第に喧騷の度を增して行く、國旗、校旗を先頭に感激を胸に秘めた隊列が街路といふ街路に姿を現はして、新公園目差しての行進だ

十時半祝賀式が擧行されたが、式場を埋め盡した參列者は六万にも餘らうか、見事な秩序の統制である、式は別項の如く嚴肅に進行して十一時十分本間軍司令官の萬歲發聲を三唱閉式したが、[illegible]、青年團の分列行進を展開、終つて更に市內行進を行つた

八列縱隊に隊伍を整へ歡びの街頭を行進すれば、爆音高く銀翼を連ねた[illegible]が、市の上空を飛翔、白、綠、紫、赤、黃と五彩のビラを花の如く散らせて過ぎる、舞ひ落ちるひとひらを手にすれば『島民のほこりは高き志願兵』更に紫の紙片には『陸軍は日本の兵隊さん』と白く染め拔かれてゐる、誇らかな歡喜が不斷に行進する[illegible]によつて、あとは又賑々の行進だ、旗の波が街に揺れて、女子軍が可憐に唱和するのは、南の護めに邁進する『臺灣軍の歌』だ



旗の波・萬歲の怒濤

歴史的の歡喜を謳歌するの日二十七日は全島各地共絶好の祝賀日和であつた、早朝から旗の歡波と萬歲の怒濤が奔流を切つてつづく――この日島都の旗行列は女子中等學校、五年以上の國民學校兒童ら二萬餘人が參加し、[illegible]下りの燒きつくが如き陽光を浴びながら新公園へと集合、午後一時音樂隊を先頭に出發日の丸の小旗を誇らしくも高々と振つて蜿蜒たる長蛇の列を作つた旗行進である『太平洋……』と臺灣軍の歌と[illegible]マーチを高々高唱しながら沿道市民の歡呼と萬歲に應へつつ小旗を打ちふりふみしめる一步一步に感謝をこめて颯々と新高堂角から南進し總督府前で萬歲を高唱更に法院との間を西進して法院裏を經由[illegible]到り萬歲を高唱それより西門を北進し海軍武官府に萬歲を高唱、後からくと萬歲だ、怒濤の歡聲だ、[illegible]を最後に各[illegible]共同[illegible]この日各國民學校[illegible]年兒童は午前十時半と[illegible]時間に互り各學校附近で旗行列をなし、また各幼稚園の園兒も可愛い紅葉のやうな手に日の丸の旗をかざして喜びの旗行進を行ふなど全市は續く旗の歡波に沸き返り祝賀氣分は正に最高潮に達した（寫眞は總督府前で萬歲叫ぶ學徒隊）

母の背に小さな日章旗を打ち振る幼兒も廻らぬ舌を動かしてゐる、物心もつかぬのに尙皇軍の勇武を讃へようとするのだ、かくてこそこの日志願兵制度實施祝賀の交響樂は完成する

『臺灣軍の歌』で三つの舞踊生る
報道部振付

今次事變勃發以來支那大陸に轉戰すること茲に[illegible]、征くところ常に果敢なる戰果を[illegible]臺灣軍の[illegible]として勇名を轟かせつつある武勳の我等が臺灣軍の[illegible]を讚へる臺灣軍報道部作詞『臺灣軍の歌』のリズムに乘つて發表された三つの舞踊――典雅にして日本古來の雅かな舞に表現された若柳[illegible]千代師の振付に成るもの、又、勇壯にして律動的な體育ダンスとして一[illegible]一郎氏指導の下に臺北一師附屬國民學校高橋みちよ先生の協案に成るもの、そして又報道部が直接[illegible]案した一般大衆向の一つ[illegible]を狙ふ[illegible]舞踊りの三者が期せずして昨今の志願兵制度實施に伴ふ熱狂的な感激に合致して決定された、[illegible]村にやがて[illegible]、傳へられて行くであらう此三つの『歌と舞踊』に臺民は今後[illegible]の關心を抱いてゐる、右三つの舞踊の中[illegible]報道部で[illegible]に依るものを除く他の二つに對してはもとより報道部としても大いに支持し與へつつあるが更に今後[illegible]に於ても右三者を基準として進步發展せるもの或は新なる斬新なものが創案され之を[illegible]し得る場合は援助を惜まないと[illegible]を洩らしてゐる

【寫眞は見學中の一行】

營內見學に感銘深し
全島の代表參列者一行

志願兵制度實施祝賀式參列のため上北した全島各市街庄代表三百三十四名（內高砂族三十名）は式典終了後午前十一時四十分第三部隊見學のため部隊[illegible]庭に集合武智部隊長より本制度實施に伴ふ各自の自覺と奮起を促す一切の挨拶あつて第一、第二、第三の三ケ班に別れ、部隊より梶田少佐、片山大尉、酒匂中尉夫々指導者として各班の見學指導に當り午後二時二十分よりの戰車見學を最後に終了した、午前中は[illegible]部隊に於ける[illegible]、[illegible]上[illegible]等を見學したるのち、晝食は酒保に於て部隊特別の配慮による兵食に舌鼓を打ち引續き午後一時より、南部隊における各種火砲の[illegible]演習、兵舍內見學、各種通信器材、[illegible]等を見學、殊に皇軍の起居、[illegible]に多大の感銘を受けて午後三時、部隊長の挨拶を受け解散した、臺南州新營郡タツパン社青年團長[illegible]多一生君は感激の面持で左の如く語つた

あの鐵兜をかぶつて突擊する者達は本當に勇ましいと思ひました、勇ましい、勇ましい、この皇軍の中に私達も交つて正しい"日本軍人の一人"となることの出來る樣になつた私達、夢の樣な氣がします、この兵舍での營庭で、明年は私もあの兵隊さん達の樣に銃をもつて鐵兜を被つて教練することが出來るの

足並に感激溢る
總督府前で分列行進

臺灣特別志願兵制度を奉祝する島都の分列式は新公園における祝賀式終了後午前十一時半から長谷川總督、本間軍司令官、齋藤總務長官、和知軍參謀長、酒井海軍武官など主要官民臨場の下に總督府前で嚴かに擧行された、定刻長谷川總督受禮臺に起てば[illegible]大を先頭に堂々とアスフアルト鋪道を力強くふみしめて步武堂々と行進を開始、隊伍は陽光に映え嚠喨たるラツパは廳舍の高塔をゆるがす、かくて學徒部隊が終ると青年學校、[illegible]青年隊がつづき直接隊[illegible]を持つこれら青年層の男性的進の姿態は眞に賴もしいものがあつた、執銃部隊の分列行進について颯爽たる色彩の隊旗を押立てた壯丁團、男女青年團の徒步部隊の行進が始まり炎天も物かは、いづれも感激に面を輝かせ感謝を足音にこめての力強い行進だ、一萬二千餘りの若人の感激の分列行進は實に四十分に亘り午後零時十分この壯觀を終了したが分列に參加の若人部隊は直に市中行進に移り京町、北門、太平町通りと青年の意氣を昂揚しつつ行進、沿道市民の歡呼と萬歲を浴びつつ圓公園、建成國民學校[illegible]街道を經て市役所に出で夫々解散した【寫眞は分列行進と長谷川總督の受禮（左方は本間軍司令官）】

基隆の祝賀式

【基隆電話】基隆市における本島特別志願兵施行祝賀式は二十七日午前十一時半より市內高砂公園において山縣要塞司令官、[illegible]市助役（市長代理）近江時五郎氏、各官衙長はじめ各種團體、軍官民多數參列して盛大に擧行された、定刻十時半[illegible]を合圖に式は晴れ渡つた夏空の下に石田市教育課長の開式の辭にはじまり宮城遙拜、皇軍將兵の武運長久、英靈に感謝[illegible]全市長代理の式辭、山縣要塞司令官の[illegible]訓示があり終つてラジオによる[illegible]訓示があり終つて全島一齊に捧げられた萬歲に唱和して感激に滿ちた式を閉ぢた、式終了後市[illegible]青年學校、壯丁團員、男女青年團員は市內目拔を通り祝賀分列行進を行ひ、また各國民學校兒童は午後一時から勇壯なる臺灣軍の歌を高唱しながら旗行列をなし全市を歡喜の一色に塗り潰した

終日感激譜
新竹の祝賀式

【新竹電話】新竹市に於ける志願兵制度實施祝賀行事は十時半から新竹國民學校[illegible]に[illegible]祝賀式[illegible]に[illegible]、同十一時半から州廳前での各學校、青年團、壯丁團員の分列式が行はれ午後零時半から公會堂で祝賀會を開催、三時から旗行列を行つた、夜は[illegible]會が開催されるが終日感激譜は奏でられた

大山少佐講演

男が兵隊なら我々本島女性も軍國の母として又妻として今後一段と奮起を要めればならぬと臺北[illegible]の女中等約六百五十餘名は此程どうしたら其の軍國女性になれるかと北[illegible]と膝を交へて相談した結果先づ每月の興亞奉公日を活用して第一[illegible]で軍事講演や時局講話を聽く事に決定、銃後本島女性の錬成に一段の拍車をかける事になつた、依て來る七月一日の奉公日は午後一時から軍報道部に依賴して大山少佐の『銃後の[illegible]』と題する講演を聽き左利准尉の紙芝居や映畫"燃ゆる大空"を見て大いに時局認識を深めると云ふ

海上警報

【二十七日午前十時五十分臺灣總督府發表】七三八粍の颱風は今朝六時北緯一六度東經一二四度即ち呂宋の東部海上に在り時速二〇粁程度にて北西に進む模樣、呂宋近海及び本島南部海上の一般船舶は注意を要す

奉公會新竹州支部 各班主事委囑決る

【新竹電話】二十五日發表された皇民奉公會新竹州支部の既發表部以外の主事委囑並にこれが擔務部左の通り

△總務班兼宣傳班大塚正△文化班兼總務班朱盛洪△總務班宮川登△訓練班村田兵衛、石川正夫、許根乾△訓練班兼文化班田中一郎△宣傳班吉田榮治、[illegible]中弘行、佐野信雄、劉春木△文化班岩田[illegible]、管野秀雄、土肢直家、李[illegible]、[illegible]裕、福澤泰弘△保健衛生班淵香一、何乾欽、劉啓興△企劃班鮑湖清美、李延年、竹中德二△企劃班兼[illegible]班天野精壯△勞務班兼[illegible]班永村隆志△[illegible]原三郎△[illegible]班兼企劃班北[illegible]△勞務班高橋藤四郎、[illegible]村岳、陳火生、張福兵衛

松田茂氏
もと總督府事務官松田茂氏は二十六日東京で逝去した、葬儀は二十八日東京で執行される由

高千穗丸
（基隆二十七日午前十一時）基隆を出港、主なる船客は山本弘毅（馬公要港部司令官）、原口參謀、草野豹一郎（長崎控訴院長）[illegible]の諸氏

今日のラジオ
▲六・〇〇少國民の時間、お話と童謠「水づくし」[illegible]アナウンサー▲六・二〇[illegible]▲六・三〇[illegible]▲六・五〇ニユース▲七・〇〇[illegible]

陸軍病院に金屏風獻納
[illegible]

あすの天氣
概況（廿七日午前十時）七三八粍の颱風は呂宋の東方洋上を[illegible]

北部地方　今晚東の和風曇　明日東の疾風曇後雨

中部地方　北東の疾風曇後雨

南部地方　北東の疾風曇後雨

東部地方　[illegible]

明るく働きませう
頭痛にも　ひま目にも　一掃
ノバポン錠
田邊發賣品

ミクローゼで張切れ！
ミクローゼ　ホシ
[illegible]

臺日案內
七分搗の御飯に是非…
ごま鹽
書籍　醫院　性病科　永吉醫院　寫眞　中古カメラ高價買入　吉田寫眞機店　ゲルトカメラ　フワーストカメラ　高級コーナ　ラツキ　寫眞館用伸縮燒付機　金融　商品券債券　三成社　時計眼鏡　メガネは金光堂　ラヂオ器械　十ヶ月月賦　樂器　蓄音器在庫あり　藥種商　梅肉エキス　染物洗張　のせ京染
洋服　婦人服地新入荷　純本麻服　婦人兒服地　雜件　新古日本刀賣買　御國の爲に國債を　山村荷扱所　貝塚伊吹大量生產　西式健康法道場　アイスモナカ　町の赤帽　ヤスリ　特許冷藏庫

純良白葡萄酒
白玉ホワイトワイン
何時も元氣で
ハリキレ頑張れ
誰にも負けずに
國策協力！
兵庫縣・農　江井ケ嶋酒造株式會社

殺せ害虫！
SANKO 純國產
さんこう殺虫剤
日滿專賣特許
殺虫力最も強く　藥害なく　價格低廉
製造元　三興農藥株式會社
東天紅商事株式會社
定價　75瓦入 38錢　150瓦入 68錢

上陸の夜
佐野周二・田端義夫
南への道・上原敏
ポリドール・レコード

アブラ顔の方も、もう心配はない！
それは何故？
お化粧の美さもモチも違ふ
明色アストリンゼン

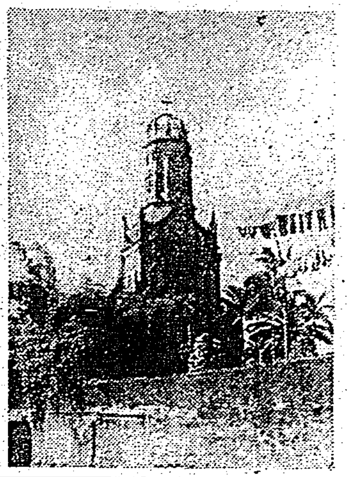
薬は如何なるものも最良とするか
有田ドラッグ
中風　胃腸病　心臓病　ぜんそく
あらゆる治療法を施し効なき患者も最後の希望を捨てず徹底的治療を講ぜられよ
肺病　ろくまく　りん病　ばい毒
臺灣　台北本町二　大龍峒　基隆日新町　宜蘭街南門　新竹東門市場通　台中若松町三　嘉義駅前　台南錦町一　高雄山下町
軽い内に治りが早い　経過の良い方を　有田ドラッグへ

南支共榮版

財政急を告げる重慶募債に大童

然し華僑連の態度冷淡

【廣東支局發】愈々財政窮迫を告げる重慶政府財政部では之が策として、上海及香港方面で將來市場に濫發してゐる百億元を越すと言はれる彪大なる舞臺遊資に着眼し之が吸收策として公債勸募委員會に命じて積極的に活動を展開、傳へられるところに依れば同委員會秘書長黃任之は香港に赴き同地に根據を置き、上海に專務員を派遣して公債に着手、二千元以上の應募者には百分ノ二の獎勵金を與へる外重慶政府より表彰狀を下附する等、大童の態と言はれるが、その企圖するところは吸收したる資金を以て抗戰に役立たせる奧地開發に充當せんとするものであり、斯る見込み薄き投資に對して華僑連は冷淡な態度をとり、又假りに公金獲得に成功しても現に我が徹底的沿岸封鎖に依り、國外資材入手の途なく、從つて生產加工品等輸出不可能なる現狀に於て、重慶側の策する經濟計畫が如何なる效用を發揮するかは興味ある問題である



（寫眞說明）古都潮州市の時計臺　潮州は山あり河あり風致に富み殊に韓江沿岸の風景は格別なる風情あり、試みに時計臺に登り山紫水明の古都を一眸に收めれば內地に居つた樣な心地がすると云ふ＝〔謝賓特派員撮影〕

新聞記者大會廣東で開催

建國以來初の企て

【廣東支局發】來る八月四日より十日まで一週間に亙つて東亞新聞記者大會が廣東に於て開催されることになつた、同大會は國民政府宣傳部主催のもとに行はれる日滿華を包含する新聞記者大會であつて、新中國建國以來初めての企てであり政治、經濟、外交、文化、宣傳等一切の宣傳に與る日滿華三國の全新聞記者代表によつて開催されるもので、同大會の成果に實に大きな期待をかけられてゐる大會開催地である當廣東では既に準備委員會を組織、省主席陳耀祖氏を委員長に會場、宿舍、交通、連絡等諸般の準備に着手、去十六日は日華軍官民を、十七日は在廣日華新聞界代表を各々國際俱樂部に招待して、大會參加の經過及び其開催に就いて重要な說明をなし併せて極力援助方を乞ふ旨の挨拶を行つた

獨ソはなぜ戰ふ

不自然な國交調整の破局

獨ソ遂に宣戰布告、歐洲戰爭は恰も燎原の火の如く擴大してしまつた、この獨ソ間には獨ソ不可侵條約が現存する筈で締結後未だ二年にも滿たんとする丈である、その獨ソが相戰ふ……これはそもそも何故であるか、獨逸ではバルカン戰爭が終ると同時に「歐洲には最早中立國はあり得ない、新秩序に協力か舊秩序に止るかその一つを選べ」といつて居ることは勿論、ソ聯とトルコに對していつた言葉である トルコは過般、既に獨逸との間に不可侵條約を結んで獨逸の傘下に走つた、殘るはソ聯一國である 獨ソ兩國は所詮、油と水である、不可侵條約の締結ありとはいつても、それは結局獨逸の御都合主義に基くものであつて兩國が特に緊密な國際關係にあつたのではない 獨逸政府も獨逸國民もこの點は十分に知つて居るのだ、併しこの兩國が互ひに角突き合ひを始める樣になつたのは先づ昨年秋からだ、ソ聯の機關通信タスは昨秋獨逸から三國同盟への參加を勸說されたと發表して居る、この三國同盟參加勸說に對してソ聯の態度はフインランドの問題、ボスボラス、ダーダネルス兩海峽の問題を持ち出してこれを交換的にその絕對權を獲得せんとした

吾々日本人には理解出來ないが獨逸ではこの二つの問題には國を賭しても爭はなければならぬ程の問題らしく、結局同盟參加は不可能となつた、爾來獨逸のソ聯に對する感情はいやが上にも惡くなつた 殊に獨逸人としては獨逸が國を賭して爭つて居る戰爭からソ聯は先づポーランドを盜つた、それからベツサラビアを盜つた、バルト三國を合併した、芬蘭からその國土の一部を割讓せしめた、こんなことは獨逸人をして痛憤せしむる原因となるに十分な素因で、先づ西部南部の戰爭の終つた後を見ろとばかり「ソ聯は獨逸の友達ではない」といふことをはつきりせしめた

所詮戰はなければならぬ思想的宿命

バルカン戰の一段落と共に獨逸はその勢力を伊太利に讓つて、その軍隊を北はフインランドから南は黑海に到る總延二千五百キロの線に集結し、世界戰史未だかつてなき大規模の戰線配備についたのだ 更にその反面において北はノルウエーのナルビツクから南はフランス海岸ポルトガル國境に到る各要港にはこれ又大軍を集結して何時でも對英作戰開始の態勢を整へソ聯へは密約その他を要求した、ソ聯は獨逸の歐洲制覇の野望を惧れて密に英國に通じ、獨逸の制壓を企たんとした この場合大膽英國を向ふに廻へて更にソ聯を討つの決心をした獨逸にはよほどの自信があることは勿論だが、對英決戰の後顧の憂を除去する爲めにはソ聯を討つことは獨逸としては當然で、ヒトラーのマイン・カンプに於てもその敵はソ聯である、ナチズムと共產主義の相容れざる思想が國境を接すること夫れ自體が不自然で早晚相爭ふ運命にあることは當然で、且つ又獨逸は萬一の場合は兩面作戰をも考慮に入れて、自信あり用意あり、遂に兩國の相戰ふことはむしろ宿命とでもいへるであらう

蔣怨嗟の聲充滿

我未占領地區の民狀淒慘

【廣東支局發】皇軍の未占領地區內に於ける民衆の慘狀は愈々深刻化されたところであるが、最近僥倖から廣州東に逃亡して來た某邑人の話に依れば、該地方は皇軍にすつかり海岸を封鎖されて物資の輸入が杜絕したため、駐防の蔣介石軍は日と共に逃亡者が續出し殘留せる部隊は地方の鄉長に糧食の徵發を强要し、些かでも命に反するものがあれば軍規違反の罪で處分されるので鄉長達は何れも戰々兢々としてゐる、一方民衆達は蔣軍の暴虐に不滿を抱き所有せる糧食は悉く秘密な場所に隱匿して竊り惜んでゐるため、米價は百斤、百八十餘圓の高値に暴騰してゐるので貧民達は食ふに米なく草の根を嚙んで辛く飢を凌ぐ悲慘なる狀態を現出し蔣怨嗟の聲は地方に充滿してゐると

福州西方掃匪戰 ④

岩村本社特派員

小隊長無念の重傷

これ迄と白兵戰準備

我重火器の劣勢になりたるを察破せる敵は攻擊愈々猛烈となり、今や山砲陣地に殺到せむとす、前崎分隊の機關銃は山砲危しと見るや之に猛烈なる側射を浴す、見る見る屍の山を築く、山砲も零距離射擊により目前の敵を吹き飛ばす、此の陣前百米、猛烈な敵の集中火は山砲陣地を粉碎せんとす、砲手は次々と斃れ、小隊長此の時腕部貫通で無念の重傷、敵迫擊砲彈は機關銃、山砲陣地に彈着を修正し益々猛威を揮ふ、我山砲は遂に照準鏡を目れ盲目同然となる

防楯 には蜂の巢の如き穴があき愈々之までと見てとつた隊長は白兵戰準備を命じた、支那軍の異樣な突擊喇叭が鳴つたと思ふや、悲壯な突擊の喊聲が諸所に起る、手榴彈の炸裂の音、常に陣地は阿鼻叫喚、修羅場と化す、此の時連絡道で後方の○兵小隊長以下○名增援に來りて隊長指揮する○名と山脚を登る時に必中彈の猛射されど少數の小銃にて突擊を阻止する能はず、遂に山砲陣地にも喊聲をあげて突入す、辛うじて之を擊退すれば執拗にも敵は二回、三回と砲銃彈の援護のもとに突擊を繰返す、此の時奮戰中の○兵小隊長は腹部を貫通され戰死、友軍は次々斃れ、山砲陣地愈々危ふし！山根小隊は如何に？分隊の連絡は混戰狀態にしてとれず悲報のみ傳はる、前崎分隊の機關銃は？何、大丈夫だ！

最後 の一兵まで大湖山を死守せよ！反擊された敵は再び銃砲の援護のもとに攻擊開始、肉薄又肉薄する『オオ前崎の機關銃が鳴つてるぞ！また友軍飛行機の音もする、ヨシ來い〳〵』凡ゆる火器は精魂こめて必中彈を送る、加藤隊長も小銃とつて、登り來る敵をバタ〳〵斃す、されど死角をとつて登る敵は既に陣地に入り、手榴彈を投げ其の爆音は再び陣地を土煙にて掩ふ、とたん砲を見れば敵將校が砲身にぶら下り部下を呼ぶ、隊長之に突つ込み一刀兩斷にすれば部下數名も遲れじと登り來る敵を突伏す、接戰格鬪遂に敵も我が肉彈、前には抗し難く浮足立つ、

ハツ と見返れば友軍の機關銃、本部小隊の一銃だ、修理が出來た！嗚呼此の時の銃聲は百萬の援軍を得たる氣持、手を取り合つて泣かんばかり、此の頃周邊の山に銃砲聲鳴り始む『オオ討伐隊が來たのだ』嗚！遂に大湖山は確保された加藤大尉以下の八時間餘の死鬪は、よく數十倍の敵を喰ひ止め、精鋭誇る新編第九師敵に大打擊を與へ、我が臺灣部隊の榮譽を彌が上にも發揚せしめたり、呼べど應へぬ多くの英靈よ今こそ安らかに眠れ、其の勳功は大湖山の霧と共に千古に輝くであらう

商況（廿七日）

株式

手詰め商内で引締

兜町前場況

【東京發同盟】月末關係の手詰め商內が中心で沈滯氣味の人氣を示してゐるが獨ソ戰の成行は樞軸側に有利に進んでゐる模樣であるため總じて軟派の手仕舞が多く引締模樣を示し特に地下鐵の如きは交通營團の買收價格が有利であると傳へられて二圓方昇騰し、又ラサ工一圓十錢高、日曹六十錢高と翁續されたものも引返してゐた、交鐘一圓五十錢、北石一圓二十錢高等は押目買人氣に依るものであり、その他は三、六十錢方の小高下に過ぎなかつたが概して引締つてゐた、東株も親七十錢高、新一圓高と買進まれ短期新東も百十五圓臺に引締めて弱調を持續した

東京短期前場

	寄	引	高	安
東新	一一五三	五五	五七	五一
大株新	五四七	四八	五〇	四七
鐘紡	一四九一	九四	九四	九一
新鐘	八五八	五九	六〇	五七
帝人新	九二〇	二一	二五	二〇
日曹	二三四	三四	三七	三〇
日鐵	五四二	四五	四五	四二
滿業	五五六	五六	五七	五五
郵船	五四一	四七	四七	四一
同新	七八九	九二	九三	八九
ラサ	三六五	六四	六七	六二
日石	六二〇	一八	二〇	一八
水產新	一	四五四	五五	五一
鐘實	五七七	七一	七七	七〇
日立	六四二	四三	四三	四二
鋼管	六〇二	〇四	〇四	〇二
滿鐵	六六〇	中寄	六一	一
北炭	七一七	[illegible]	二一	一九
重工	七七一	[illegible]	七〇	七
洋レ新	七七八	[illegible]	八〇	九
東電	五二〇	[illegible]	二〇	一
小倉鋼	四八九	[illegible]	八〇	三
麥酒新	一	[illegible]	一	三
日魯	六三四	[illegible]	三五	五
日穗新	六三六	[illegible]	三三	一

東京短期日步

東新　八錢　大株新　八錢

鐘新　一三錢　滿業　一五錢

東短取組喰合

東新　二六三、六一〇株　賣方二八店　買方四七店

同喰合　一二三五、九五〇株

東京長期前場

鐘紡	一四八、八	鐘新	八六、三
日清紡	八四、七	片倉	二七、八
帝人	一〇四、七	同新	九二、四
倉紡	七〇、二	同新	五四、〇
洋レ新	七八、八	大東紡	四九、八
帝麻	八一、〇	東電	五二、四
日糖新	六四、〇		
鹽糖	五七、五	同新	一七、一
臺糖新	四九、七	沖糖	三八、七
窒素	六九、七	電化	五五、七
日鐵	五四、四		
東株	一一六、四	東新	一六、四
郵船	九四、一	同新	九八、八
商船	八六、九	同新	七一、八
石川島	六八、〇	浦賀	九三、五
重工	七五、九	日立	六四、六
池貝	七七、二	昭電工	五一、四
北炭	七二、四	磐城	二九、九
東邦炭	二七、二	菱鋼	八九、一
鋼管	六一、二	日鐵	五五、五
小倉鋼	四九、四		
淺野	五二、五	同新	三〇、三
滿鐵	六六、一	東拓	五六、一
ラサ	三六、九	火藥	一七、六
油田	五四、五	同新	二六、六
日曹	二三、五	日石	六二、三
北樺油	四四、一		
日魯	六三、九	同新	三三、八
東亞	八〇、五		

東京長期總取組

當限　三九一、〇六〇株

中限　四七一、三七〇株

先限　三七四、七〇〇株

合計　一、二三七、一三〇株

東京銀行實株

日銀	五二八、五	同	新三七三、〇
正金	一九四、二	新	八四、三
鮮銀	一一三、七	同	新五七、七
臺銀	一一一、八	同	新二六、六
興銀	九二、一	同	

東京國債前場

	寄	引
甲、五	一〇六、〇〇	—
一、四	一〇三、一〇	—
乙、四	一〇三、一〇	—
二十三年	九八、八〇	—

大阪短期前場

	寄	引	高	安
大新	五四八	五二	五三	四八
鐘新	八五一	五八	五九	五一
鐘紡	一四九〇	—	九四	八九
東紡	一六〇八	—	一四	〇六
日鐵	五四六	四七	四九	四五
窒素	六八九	九五	九六	八九
日曹	二二七	三五	三五	二七
東新	一一五〇	五八	五九	五〇
帝人	九二三	二五	二五	二三
同新	七八〇	九三	九四	八〇
郵船	五四一	四四	四五	四一
商船	八八〇	八五	八六	八〇
滿業	五五四	五八	五九	五四
日立	六四二	—	四五	四二
日石	六一八	—	—	—

大阪棉花前場

	寄	引
七月限	七二、〇〇	七三、七〇
八月限	七五、三〇	七五、三〇
九月限	八一、二〇	八一、四〇
十月限	八一、五〇	八一、五〇
十一月限	八四、六〇	八四、四〇
十二月限	八七、五〇	八七、五〇

株式社債

アナコンダ株　二七弗八分五
スチール株　二二弗九六
工業株三十種平均　不申
電氣株三十種　[illegible]
日本　公債六分半利　七〇弗
同　五分半利　七〇弗

爲替

米英クロス　四弗〇三仙二分一
米　四弗〇三仙
英　[illegible]
米英　[illegible]
英日米　[illegible]

銀塊

倫敦現物　二三片八分三

棉花

先物　一三三片八分三
紐育公表値　一三四仙四分三
孟買現物　休

生絲

紐育定期現物　[illegible]
米國前日比較邦貨換算一圓　二六錢高
印棉　同右　九錢安

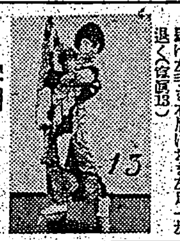
小麥

シカゴ定期　七月限　一弗〇八仙八分五
九月限　一弗〇六仙四分一
十二月限　一弗〇七仙八分七

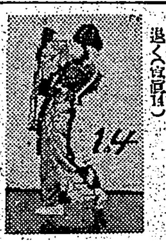
『臺灣軍の歌』（下）

振附　若柳吉宏代

表現　升川文子

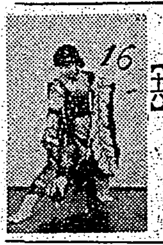


【十三】護りは、右側向きになり右手を擧げ左手を右肩におき左足一步退く（寫眞13）

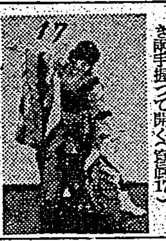


【十四】われら、（13）の反對に右足一步退く（寫眞14）

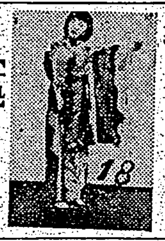
【十五】臺灣軍、（13）（14）を繰り返す



【十六】ああああ、九十度左に向き變へ正面を向き、左足一步退き兩手握つて力を入れて開く（寫眞16）



【十七】嚴として、（16）の反對に右足引き兩手握つて開く（寫眞17）



【十八】臺灣軍、右足を左足に揃へ絲を固めて左手を延ばし右手で左腕を打つ形にて毅然と立つ（寫眞18）

【十九】間奏、前奏に同じ、それより二番、三番は一番と同樣繰り返す

【二十】後奏、前奏、間奏に同じ

家庭欄

ソ聯の婦人

男子に負けぬ空の女地下の女

モスクワでスターリン氏と快氣焰をあげ、輝しい成果を收めて歸朝した松岡さんは「ソ聯にみたソ聯と今日のソ聯は實に隔世の感がある」と述べ、いろいろな施設に感心してゐられますが、では今日のソ聯、殊にその女性はどんな生活をしてゐるでせう

先づソ聯でも、いまドイツや日本で一等問題になつてゐる「生めよ殖やせよ」に力瘤が入れられ子供を十一人持つてゐるものには最初の年に五、〇〇〇ループル支給され、また在職中の姙婦のクビを切つたり就職を拒んだりする雇主は嚴罰に處することになつてゐます、もともとソ聯は結婚が甚だ自由で離婚や墮胎も多かつたものですが、數年前出來た新結婚法では人口增加の一方性道徳の向上を圖る目的で、墮胎が嚴重に取締られ、離婚も自由に出來ないやうにしてあります、つまり第一回の離婚には五〇ループル、第二回目は一五〇ループル、第三回目は三〇〇ループルといふ風に登記料をだん〳〵多くしてあるのです、そのせいかレニングラードでは結婚法が改正されてから離婚數が約半分に減つたさうです、また結婚の自由だつた時代は妻子を捨てる男が多くて女を泣かせてゐたものですが、いまでは不埒な父親には高額な扶助料を支拂はせそれを守らねば二年間の懲役に處することになつてをり、女には都合よくなつてゐるさうです

「ソヴエート型の女性」といへば、アメリカやフランスの婦人などに比べて何處となく土臭く野暮つたく、また一面底力があるやうに思へる女ですが、最近は「流行はモスクワから」といふ言葉さへあるくらゐ、モダン・ガールがモスクワの街を濶步してゐるさうです、またソ聯の女性は、男のやうに負けぬ氣を出して働いてゐるものらしく、世界最初の女大臣〝コロンタイ女史〟を出したのをはじめとしいまではモロトフ首相夫人のジエムツジナ漁業相の外十二人の女大臣がゐるさうです、農村へ行けばトラクターを操縱してゐる女の姿が到るところに見受けられますし、あの有名なモスクワの地下鐵工事には八千人からの女性が動員され、毎日ツルハシの防水帽子に青い制服を着けゴム長を穿いてトンネルをもぐつたりしたと傳へられてゐます、この『地下の女』に對して『空の女』といふのもありモスクワのゴーリキイ公園に建てられたうんと高いパラシユートの塔には旗日などになると若い女が澤山登つて行き盛にジヤンプをしてをり、地方の公園や遊園地などにも飛行クラブなどでもかうした現象が見受けられます

佐藤ライトの梅肉エキス

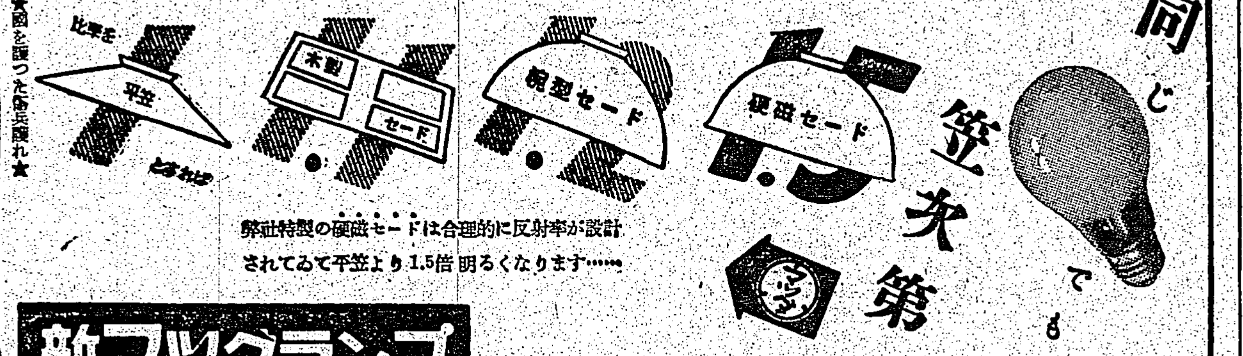
大腸加答兒、下痢腹痛、食傷、水あたり、宿飲、日射病は特許獨特の製法に依り青梅の有效成分を化學的に抽出せし本劑を服用し速かに病苦を脫せられん事を

注意　一般市場にある劣品にあらざる偽似品と同視する勿れ、御買求の節は特に御注意を乞ふ

價　一圓　二圓

全國各藥店にあり

大阪市天王寺區生玉町　佐藤ライト商會



同じ電球でも笠次第！

★國を護つた傷兵護れ★

比率を平笠とすれば　木製セード　琺型セード　硬磁セード

弊社特製の硬磁セードは合理的に反射率が設計されてゐて平笠より1.5倍明るくなります……

新マツダランプ

東京芝浦電氣株式會社　マツダ支社

A—54

人工榮養の必需品

犬印滋養糖

牛乳やコナミルクを母乳のやうにする犬印滋養糖

和光堂

各地藥店にあり

N07

Ⓟ　最新　最强力　癲癇治療劑

アレビアチン錠

大日本製藥株式會社　大阪市道修町三

三〇錠　一〇〇錠

（上圖は今津博士）

ぜん息・神經痛

中風・高血壓

不治でない

血の「濁り」をとり原因から治療せよ

漢方藥研究で有名な今津醫學博士は醫學者藥學研究と此の病氣の原因を徹底的に研究した結果

酒糟草　花柳病等は內臟の障害で身体を害ふ大切な血液が濁り弱くなつて循環が不順になり、動脈が硬ばされる爲め起るので

血液　の濁りを除去して循環を圓滑にし、動脈硬化の原因を除いて血壓を整調し、循環を良くして病毒の障害を除けば治る、決して不治でない事を多數の實驗に依り證め

血液淨化劑　は强力な植物ホルモンから强力な成用とリキシンスはイマダミンの併用に依り此病氣で困れる人々を原因から良くし大に喜ばれてゐる

中風　で不靈言もつれに惱む人

高血壓、動脈硬化で肩こり耳鳴り頭痛目まひ、呼吸ふら〳〵便秘不眠症、神經衰弱、足腰ヘレ、ふるひ、シビレなど高血壓の症狀ある人

ぜん息　でせき、たん息切れ呼吸困難、ヒー〳〵音で苦しむ人

神經痛　やリウマチで手足腰腕中や關節が痛んで困れる人は一日も早く大阪市、阪急梅三國驛際

今津醫研究所へ遠慮なく行くか、遠方はつらい症狀を詳しく記し、急ぎ申込むがよい！博士發明の[illegible]、其生活法其他注意事項を詳細親切に敎へる。

榮養は完全な咀嚼から

ムシ齒・齒槽膿漏を防ぎ强い咀嚼力を礎きませう

ムシ齒　の原因は食物の殘滓が醱酵して乳酸となり齒の琺瑯質を浸すからです。

齒槽膿漏　の原因は色々ありますが、その一つは唾液にとけた石灰分が齒齦囊に沈殿して齒石となり、これが環狀靭帶をボロボロにし、そこから化膿菌が浸入するところにあります。

從つて　日頃から殺菌力の强い資生堂中煉齒磨で口中を完全に淸掃消毒し齒石の沈着を防ぐべきです。粉が飛ばず、琺瑯質をスリ減らすことなく、その上香味極めて爽やか、一度使ひはじめたら手離せない快よい齒磨です。

內地定價　二〇セン

資生堂中煉齒磨

齒ざはりよく永保ちする

資生堂齒刷子

特選一號　四〇セン
特選二號　三〇セン
特選三號　二五セン
特選四號　二〇セン
NO.250　二五セン

東京銀座　資生堂

勤勞者に多い脚氣

エビオス錠

體力を酷使すればそれだけ體內のBも多量に消費せられ、その補給が必要であるのに、とかく補給を怠りがちとなるため、勤勞者に脚氣が多發するものです。

Bの缺乏を放置すると脚氣を起すだけでなく、その前驅症たる倦怠、脫力肩凝りや、或は慢性の胃腸無力症を惹起して、著るしく勤勞能率を低下することゝなります。

豫防にも治療にもこの貴重な成分を缺かさず攝ること――この目的にエビオス錠の運用が効果的です。B複合體の優秀な天然給源を誇る酵母劑だからです。

三〇〇錠　一〇〇〇錠

製造元　大日本麥酒株式會社

東京・大阪　田邊商店

曉の町（204）

武田麟太郎作
林唯一畫

新しき生へ（六）

暗い露路へ出たところで、これは先生を訪ねて來たらしい直吉に見つかつて了つた。

「――先生ぢやありませんか」

柄に似合はず、突拍子もない大きな聲で呼ばれて、先生は、

「――しいッ」

と、口に手をあてて制した。家にゐる二人は聞きはしなかつたかと振りかへつたりした。こんどは打つて變つたひそひそ聲で

「――どこへいらつしやるんです」

「――いやどこつてないんだが……」

そのまま直さんの袂を引張るやうにして、表通りへ出た。

「――散歩をしないか」

「――へえ、散歩を？……それもようがすが、……」

彼には先生の様子が腑に落ちないらしかつた。

「――どうかなすつたんぢや」

いや、何でもないよと云ふ風に首を振つて見せたが、顔は稍惡戯つぽく微笑んでゐた。

映畫館のある方まで歩いて行つたが、突然

「――直さん、酒でも飲まうか」

「――へえ、先生が酒を？……」

とますます彼は不審さうにする。今夜の先生はよほどどうかしてゐると考へた。

日頃は酒も煙草も飲まない野人の朴念人、そこがまた先生の値打だとして來たのだから、珍らしいこともあるもんだと呆れざるをえない。

先生は一人で嬉しさうに笑ひ乍ら、先へ立つて居酒屋の暖簾をくぐつた。

「――今夜はめでたいことがあるんだ」

「――めでたいと云ますと……」

「――今に判る。だから直さんもめでたい酒だと思つて、……」

運ばれて來たのを酌をして、先生は盃を一寸乾盃の形で持ち上げた。

「――祝つてくれ」

「――へえ……おめでたうございます」

何が何だか判らないながら、直吉はさう云つた。それほど先生は上機嫌に見えた。

「――本當にちやうどいいところに來てくれたよ、直さん、何でもさう云つて食べとくれよ」

「――私はこれさへあれば結構なんです、肴なしでも……」

でも何かとらうと小女に食ふ物を云ひつけながらも先生は、ぐいぐいと飲むのであつた。

大丈夫ですかアと、直吉が心配したほどである。

「――近頃の酒は惡いと云ふのは本當だな、だけど、久しぶりなのでわしにはうまい」

酒の酔のことからはじまつて、あれこれと世間ばなしをしてゐるうちに、先生はたうとう默つてゐられなくなつたやうに

「――時に、しのぶも近いうちに縁談するよ」

「――えつ」

と直吉は盃を置いた。

「――誰です、相手は、……まさか」

西川ぢやないでせうと云ふ意味を含ませて云ふのに

「――さあ、それもそのうちに判るよ、立派な若者だよ」

源治のあのしやちほこばつた四面目くさつた顔を考へ出しながら先生は云つた。

「――誰だらうな」

直吉は考へてゐたが、先生がさう云ふのだもの、まちがひはなからうと、こんどはほんとうに心から

「――おめでたうございます」

先生は赤くなつた顔に微笑を一杯たたへてうんうんとうなづいてゐた。（終）

臺灣の陶磁器（下）

服部衣由人

臺灣陶業が振はないのは優良な原料がないからだと誰しもいふ。けれども夫れは原料調査を俟たないでの言葉であるから鵜呑みにすることは出來ぬ。臺灣に優良な原料が秘められて居ないとは誰が保證し得よう、兎も角私の知れる範圍に於てでさへ、高級な白磁を望まない限り、日常雑器に向く原料は相當埋藏されてゐる。その他特に赤磁に誂へ向きの粘土や、工夫すれば窯業名産ともなるであらう特殊の原料もある。燃料にも事を缺かぬし、況んや天然瓦斯を利用し得る地域では焼成を一層効果的經濟的ならしめる事も出來る。特別の技能を要する陶工は別だが雑役に従ふものは内地に較べ低廉な勞銀に甘んずるであらうと思はれる。斯く考へ來るとき何處にも悲觀すべき材料が見當らぬ。從つて本島陶業は良き指導者と理解ある投資者さへあれば伸張すべく運命づけられてゐる。

苗栗地方にある豐富な粘土は、普通には頗る優秀な原料である。けれども赤磁の如き高位な窯業品は焼成技法が非常に困難なので營利的には先づ成立たない。其粘土の焼上りは黒色であつて、恰度尾張の犬山焼に彷彿してゐる。斯かる原料を用ひて日常勝手元で使ふ白磁呉須手のものの後を追はうとするのは愚かしきことである。犬山焼はこの黒色をよく生かし特徴あるヤキモノを作り出してゐるが故に、却つて白磁の並品より高價に捌かれてゐることに氣がつかなければならない。粘土の特長を殺し、換言一本槍で創意なく遮二無二進んでゐる現在の有樣では原料が泣く。

大屯火山彙には所謂甚目土なるものがあり、本島人向きの茶碗類が焼かれてをる。それには元中央研究所の指導も大に手傳つたのではあるが、兎も角專賣局既に燒窯からの茶碗輸入を喰ひとめたのはせめてものことである。甚目土を採取するには表土を除かねばならぬが、この表土こそ自然が惠む好原料といふべきである。だが現在では全く捨てて顧みられないのは洵に勿體ない。それは鉄成分として適當の砂鐵を包含してゐるが故に、焼上りは淡褐色で大小の黒茶色の斑點を現はすものである。よきアタマの人が居て、この原料を用ひ南國情調といふか熱帯趣味といふか、形なり釉薬なり意匠なり新たに臺灣で芽生えたといふ特徴あるものを焼出すなれば、恰度臺灣名産として謳はれるであらう。

この原料の面白味に就ては、私は曾つて新聞にも雑誌にも書いたし工藝座談會などでも饒舌つたし、內地から來た斯道の大家、矢野陶々、加藤唐九郎の諸君らも私と同意見であり、三人のうち誰であつたか、講演にもこの點に說き及ぼした事がある。唯耳を藉さないのは臺灣の斯業に携はる人達だけである。

陶磁は內地から移入さへすれば夫れでよいといふのでは臺灣工藝界に人なきを示すに他ならない。陶業は紙業や硝子工業のやうに集約的に且つ近代科學を極度に應用せる大規模工場に綜括さるべき性質のものではなく、各地に分散して發達を遂ぐべきであることは陶業の歷史が物語つてゐる。それ故に臺灣では臺灣の陶磁が生れねばならない、それは古い傳統を追はうと新奇な考案に出てようと臺灣ではあるが、多分にローカル・カラーの滲み出るものでなくてはならぬであらう。例へば萩焼は萩焼として、平戶焼は平戶焼として、相馬焼は相馬焼として、趣味の高下は兎も角も相互ひに侵し得ざる特徴を摑んでゐるやうにである。斯る意味に於て私は【臺灣陶磁】の出現を望むや切なりである。

―筆者はゆうかり同人

短歌　樋詰正治選

杉浦　宏子
陽は落ちて地平の果てのちぎれ雲燃ゆるが如く静かなるかな

渡邊　敬介
庭くまに黒き影なす梧桐の大葉ゆれつつ月のさやけさ

平嶋　嶺雪
究竟の居ぬただに寂き庭を兎歩めり聞くる朝かげ

小田　正美
古き壺に挿したる花はよく匂へりその花房はくれなゐながら

植村　加代
まどかなる月をしみれば逝きし師の月さながらのみ心おもほゆ

大沼　正子
なつかしき同級生のつどひなれば吾ためらはず出席と書けり

お國名物　きさらぎ

東海道で昔鳴らした岡崎名物は『キサラギ』である、寛政十二年一月の創業とは斯業の人のいふところ、相當の歴史あることはこれでもわかる、淡雪五萬石、藝餅と共にその名、天下に知られてゐる

東海道に於ける焼物の三種類と肩せられ、京都八ツ橋、岐阜の松風岡崎のきさらぎをもつてそれを現はしてゐる

五萬石でも岡崎さまは
城の下まで船がつく

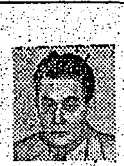
雑誌紹介

▲支那語と時文（三ノ六）發音の仕方（牛山征夫）支那語の學び方（奥平定世）童語研究（平岩房次郎）土俗研究（澤村幸夫）その他（〇・三五、東京市神田區錦町三ノ一四開隆堂）

次の夕刊小說

成層圏

廣津和郎作
大貫松三畫



廣津和郎氏

武田麟太郎氏の長篇小說『曉の町』は本日好評裡に完結致しましたので引續き次の夕刊小說として廣津和郎氏の『成層圏』を連載致します。廣津氏は云ふまでもなく文壇の耆宿でありますが今度の作品は近時いよいよ旺盛な創作精神に燃えてきた氏が、腹案を溫め想を練ること數ケ月、ここに新な抱負をもつて立つた野心作です。必ずや讀者諸氏の御期待に副へることと信じます。

挿繪は、多年文展にその麗筆をうたはれてゐる大貫松三畫伯。必ずや小說とのよき諧調を奏で、挿繪界に新紀元を劃することでありませう。御愛讀を願ひます。

作者の言葉

廣津和郎

大貫松三氏

紺一色の成層圏――それは正に青春の象徴である。私はそこに青春のあの遙かさと青春の底知れぬ深さを思ふ。

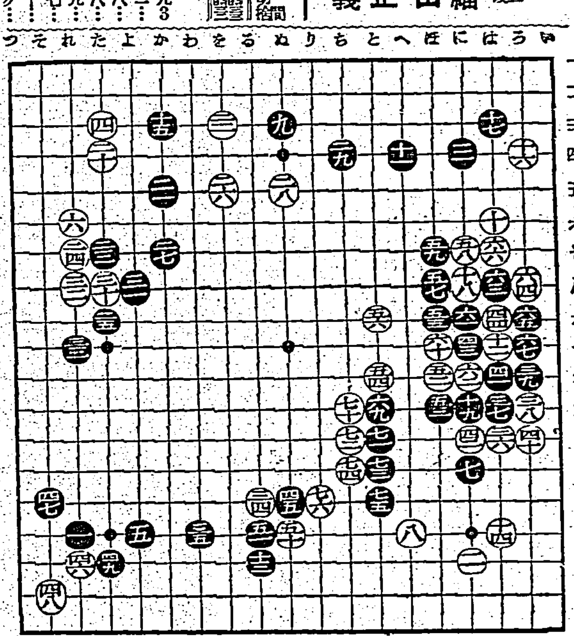
青春こそは汲めどもつきぬ泉である。この故に私はいつでも若い人々を愛し、若い人人を尊敬してゐる。若い人々のことを考へられる間が作家の生命と云つてもよいと私はあへて言はうと思ふ。――そこで私はあの美しい成層圏の中に飛び込み、永遠に新鮮な若さを摑んで來て、讀者におめにかけたいと念じてゐる。

本社主催　日本棋院　十人抜大碁戰

先相先
六段　藤澤庫之助（二目半出込し）
五段　福田正義

持時間　各十時間　一分以内切捨
消費時間　白六時[illegible]　黒四時[illegible]

●六一に九　3
○六二に十一…
●六三は八…
○六四ろ八…
●六五ろ九…
○六六は七…
●六七ろ十…
○六八[illegible]…
●六九と十二…
●七一と十三…
○七十ち十二　36
○七二ち十三…
●七三と十四　2
●七五と十五　1
○七四ち十四　7
○七六り十五　10


いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ
一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

黒、苦難の旅

評解　七段　岩本薫

【觀戰記】いよいよ黒の苦難の旅が始まつた、六九、七一以下と南下してゆくが、果してこれにあてがあるのだらうか、そこへゆくと白の方は無責任だ、此大石が取れても取れなくても、隅の地に減りはなく、外勢は一歩一歩厚壮になつてゆくのだから、こんなうまい戰爭はない、藤澤君の快的な心境が思ひやられる

しかし専門家は概して石を取ることを恐れる、恐れるといふと語弊があるかも知れないが、敵の大石を取る爲には非常な準備と犧牲を必要とするのが非常であるから下手に取りかけに行つて、いはゆる『石取つて其碁に勝たず』になりはせぬか、或ひは、取れさうに見えて取りきれなかつた石に反擊されて、つまり碁があまつたといふやうで負けてしまふ例も少くない、だから敵の大石を睨んで、將に行動に移らんとするときは容易に手を下さない、此場合の藤澤君なぞ、これを攻めて、ちつとも損の立たない處だし、然も何時間か前からの豫定行動でもあるから、さ程に心配することはなからうと思ふのに、白七十の一路を打つに三十六分の大長考を拂つてゐる。吾人の姿とすべきは此處だと痛感させられた、[illegible]と、こんな大石が取れたなと思ふと、矢も楯もたまらず、好い氣持ちに追つかけ廻して、さて取りきれないとなると、そこで考へこんでしまふのだが、下手は下手なりにでも、考へるに時と場所とを得るならば、また上達の望みはあるといふものである

さて福田君の大石だが、これを何うやつて活きるのであらう？六五、六七とシボつたところは先手であるから、行掛けの駄賃だが上の白に死がないものとすれば、何處にも、殆んど一眼も見當らない、一眼も無いとすれば、何處かを切破つて勝負に行くか、下邊を互るかの二途よりない、だが互るといつても、これがさう簡單に互れるであらうか

福田君も此處でこの大石を殺したのでは無論投了のほかはなく、だいいち名譽にもかかはることであるから、黒七七の手では俄然考へ込んでしまつた、棋勢を損せず無難に脱出しようといふのである

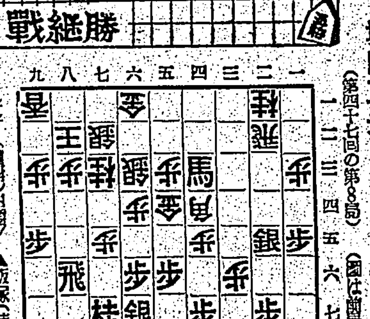
『まづ黒は「ち／十二」と切つて行くやうな手がありはしまいか、そして攻合ひが何うなるか

◇　◇

〔講評〕黒八九とツケて下邊に逃れるに及んで、四五の石にカラマれた意味に於て、碁が非常に難局になつてきた、何とか脱出の途はありさうだが、黒は相當の苦戰を免れ難い

二十四棋士勝繼戰

△八段　塚田正夫　香落　▲六段　飯塚勘一郎
（第四十七回の第8局）（圖は▲三六歩迄）



△手番（塚田）　▲飯塚（持駒）歩

▲三六銀（1分）　△七一金（1分）
▲三五歩（10分）　△七四銀（1分）
▲四六歩（1分）　△同　歩（―）
▲四五歩（―）　△三三角（―）
▲三四歩（1分）　△二四角（5分）
▲五五歩（―）　△三五歩（―）
▲二五銀（―）

持時間　各九時間
消費時間　△七時間四十九分　▲六時間十分

恥かしい資格

觀戰記　八段　金易二郎

西の空は紅に染り、夕陽が有終の美を障子に飾る頃、此の一局に全精神を打ち込んで相對坐する塚田、飯塚兩氏の眞劍な姿は[illegible]の様にすら感じられた

意外！敵の三六歩突きの含みは？飯塚六段の眉は俄に動き、口元に不用の微笑が浮んで▲三六同銀と切り拂ふ、自己の信ずる處に邁つて動ぜず

塚田八段は静かに△七一金と迎ふ、一時攻擊は斷念し、再起を計つたのである、それには自玉を厚くして待期すれば、攻めを好みとする敵は必ず挑戰して來るとの見通しからであらう

▲三五歩　△七四銀

相手に自重されると妙に攻めたくなるのは人情で、木村名人は此の心理を巧みに利用する、少々棋勢が不利であつても、ジッとして辛抱されてゐると却々よい攻め筋が見當らないもので、早く勝たうと焦る處に無理が生じ敵に挽回の好機を與へ苦杯を嘗する例は決して尠くない

恥しい次第ではあるが私もその一員としての資格を有す、さて、飯塚氏の▲四六歩もこの人情の表れだが、併し指手を咎めるものではない

續いて▲三四歩、猛烈な決戰を狙つて出たのだ、感想に『事を好む嫌ひがある』と述べた後、茲で五七金立ちを指定してゐるし私も確かに氏の說に賛意を表する、では何故五七金と立たないのか？それは人間の弱點でもあり、より早き勝を希ふ長所でもある

敵▲五五歩の猛攻は覺悟の前、塚田八段は突差に△三五歩と強く應酬……敵が五四歩なら三六歩で銀を手に持てば決戰形となるし敵の本營は目睫にある、飯塚氏の感想に『▲二五銀は、敵城が厚いので五四歩でも四四馬[illegible]があるから思くはないが[illegible]と思つた』と述べてゐる

木村名人講評　下手から四六歩とした陣型は、五四金の捕殺を目ざして此[illegible]段である、棋勢は二五銀となり益々優勢である

上手五四金が[illegible]で、も成角と生角の對抗では[illegible]れ難い

今晩の映畫

■臺劇（毎正午上映）
1 溫泉風物誌　午後七時30分
2 アサヒホームグラフ 日本ニユース　[illegible]
3 空の少年兵　[illegible]
4 父なきあと　[illegible]

■芳乃館（毎正午上映）
1 短篇・ニユース　午後七時30分
2 狂桃園の唄　[illegible]
3 落花の舞　九時00分

■新世界館（毎正午上映）
1 緋新の旗風　午後七時30分
2 女人一路　[illegible]
3 日本ニユース 日映海外ニユース　[illegible]
4 十津川兄妹　[illegible]

■國際館（毎正午上映）
1 日本ニユース　午後七時00分
2 大いなる感情　[illegible]
3 第三の影　[illegible]

■第二世界館（毎正午上映）
1 アサヒホームグラフ　午後七時00分
2 金語樓の猫無精　[illegible]
3 彌次・喜多捕物道中　[illegible]

■大世界館（毎正午上映）
1 日本ニユース　午後七時00分
2 醉ひどれリズム　[illegible]
3 大平原　[illegible]

特別廣告

大平原
醉ひどれリズム
6月27日ヨリ 7月28日マデ
全部開放 大人四〇錢 小人半額（共税）
大世界

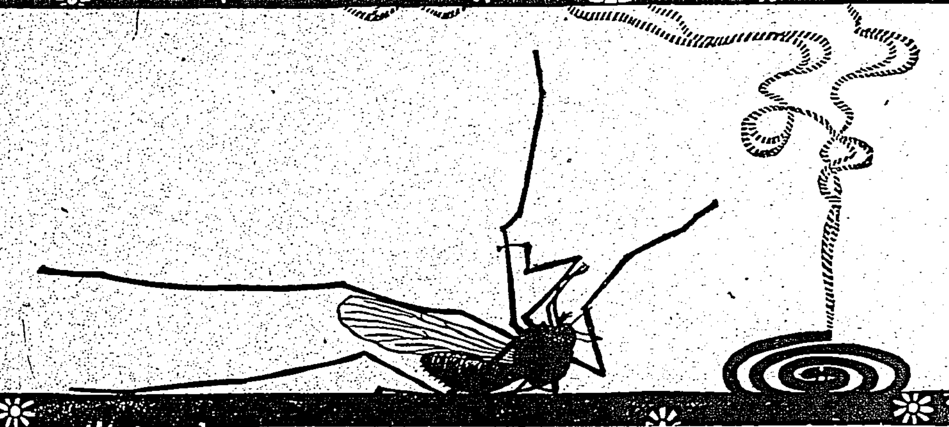
ホルモン元 [illegible]
強精 強腦
試驗進呈
東京牛込若松町二二
日本生化學研究所

INABATA
強力榮養と消化・整腸に！
〃科學する心〃に訴へる！！
健康維持・胃腸機能賦活の最大要點は高度の榮養素を充分に補給し且つ攝取せる食物が完全に消化され榮養化される事にある
健康人と雖も榮養素の補給を無視しては漸次機能に衰退を齎し遂には恐るべき各種疾患の原因となるまして胃腸機能の衰弱又は疾患せるものは常に高度榮養素を補給しつつ原因的に疾患を治療する事こそ肝要である。
醫藥學界の待望に答へて出現したアイオミン錠は從來の如く對症療法にのみ終始せし單なる榮養劑、消化劑と異り高度榮養素を補給しつつ科學的綜合効果を發揮して疾病せる胃腸機能を原因的に治癒し活性ならしめ或は之等機能を一層促進助長せしめる。
適應症
榮養消化不良 胃腸病 乳幼兒の消化不良 妊産婦の榮養 虚弱兒の榮養
アイオミン錠
發賣元 株式會社 稲畑商店（大阪市東區道修町二丁目）
製造元 合名會社 日東保健學研究所（東京市日本橋區本町二丁目）
A―13

積極的強壯劑
ビクラ
"VIKURA"
心身改善の推進力
從來の榮養強壯劑は第二次的なるに反しビクラは積極的に身體の衰弱狀態に活力を與へ各機能を根本から積極的に活動させる綜合作用をもつ理想的な強壯劑です。
ビクラにはアルギニン、肝、コラエキス、ストリヒノ[illegible]、マンガン等の重要榮養素が合理的に配合され、是等の成分が協同的に作用し迅速に目覺しい治療効果を發揮します
實業家、事務家、著作家、研究家、受驗學生、學生、スポーツマン等頭腦的、肉體的の勞務家にとつてはビクラこそ健康保持の必須缺くべからざる強壯劑です。
【適應症】
心身の過勞・神經衰弱・食慾不振・結核腺病質・[illegible]・代謝障碍・榮養不良・精力減退・腦力減退・四肢冷感・[illegible]・病後及び手術後の恢復期
國內定價 [illegible]
發賣元 株式會社 林源十郎商店（岡山市紙屋町）
特約店 （大阪）武田長兵衛商店 （東京）小西新兵衛商店

迎春花（イン・チュン・ホア）
唄・服部富子
〈迎春花が咲いたので寒い滿洲も春になる 春は馬車よ娘さん りんりん高らに鈴振つて 娘々祭は嬉しいネ〉
石松秋二・詩 鈴木哲夫・曲
流行歌 洋車に乗つて 菅原都々子
流行歌 南海夜曲 中村拡子
たのしいテイチクレコード

二回水
水虫 田虫
急性でも慢性でも特殊強力な藥效で氣持良く治るその效目一つで永年の好評
全國百貨店藥店に有
¥0.50 1.00 2.00 5.00
實驗例付說明書進呈
東京市四谷區花園町
株式會社 杉田商店



專賣特許 菊精
ライオンカ渦とり巻
大同除虫菊株式會社

登錄商標
いんきん・たむし・水虫
セーキン
賞金附
すり込んでおけば翌日から薄皮が取れすぐ快くなる
發賣元 大阪市 竹村製劑所

急性・慢性 淋病 内服短期療法の確立！
☆劃期的な治療法
淋菌は頗る頑強で舊來の療法で之を全滅させることは不可能だ。何故なら淋菌は一旦尿道口から侵入するや、人間の體溫に育てられて急激に繁殖し非常な速力で海綿體其他複雜な組織の奧深く喰入り、藥液等のテンで屆かぬ處へ潜入するからである。これでは舊來の療法が効かないわけで洗滌、注射、燒灼等あらゆる手段を盡しても淋菌はケロリとして益々繁殖、猛威を逞しうするばかり、瘙痒腫脹、血尿、就中、居ても起ても居られぬ激痛に患者は憔悴して治療に狂奔するが、時間と治療費を徒費するばかりで病勢はヂリヂリと惡化し遂に永久に淋糸の取れぬ慢性となるこれがツイ最近までの淋病治療の實情であつたが、化學の進歩は有難い内服劑で淋病が短期に全治するに至つた。二基性アミド劑を主劑とする強力リベールの出現がそれだ。
☆急速度療法
強力リベールの殺菌力は全く物凄いもので、内服するや血液に混つて體内を循環し病巣深部に巣喰ふ淋菌を殲滅するので運のよい患者は一日半、遲くも三乃至五日で尿は清澄化し、淋糸は消失し、症状陰性となつて短期間に呆氣なく全治するといふ、實に痛快極まる効果である。而も淋菌から起る睾丸炎、膀胱炎、婦人科疾患等をも一擧に片附けてしまふ。尚強力リベールは淋疾のほか左記諸症に著効を奏し廣く治療界に推奨されてゐる。
主治
急性淋病 慢性淋病 淋毒性關節炎・膀胱炎・腎盂炎・中耳炎・扁桃腺炎・丹毒・蓄膿・齒槽膿漏
定價 三圓 五圓 十三圓
製造發賣元 竹村製劑所 大阪市東區南久太郎町 振替大阪三六〇番
高級國産二基性スルフオンアミド綜合劑
強力リベール錠
131

臺灣日日新報
本日夕刊共八頁
發行兼編輯人 江口[illegible]
臺北市[illegible] 發行所 臺灣日日新報社
[illegible]

專賣特許 セール 石鹸みがき粉 一袋十三錢 臺北 藤田本店

金鵄勳章年金廢止
畏し一時賜金を賜ふ
けふ勅令公布、即日實施

【東京發同盟】畏くも　明治天皇の深き叡慮により　神武天皇肇定の故事に擬し、紀元二千五百五十年（明治二十三年）の紀元節に創定された金鵄勳章制度は殊勳者に對し特に精神的優遇の途を弘め給ふ篤き思召に依り今回劃期的改正が加へられることとなり、現行金鵄勳章年金令（勅令第百七十三號）を廢し、武功拔群の戰死者と生存者との均衡を保持し、金鵄勳章敍賜者に對する精神的優遇を更に一層强化するとともに、畏くも一時賜金を賜はることとなつた、即ち政府は畏き聖旨を奉じて、過般金鵄勳章年金廢止に關する勅令案の樞密院御諮詢を仰ぎ、更に閣議決定の上、上奏御裁可を仰ぎ、二十八日附官報を以て同勅令を公布即日施行されることとなつた、而して本令は昭和十五年四月二十九日即ち天長の佳節以後の日附にかかる金鵄勳章敍賜者から適用することと規定されてゐるから十五年四月二十九日前のものに就ては舊令に依ることとなつてゐる、金鵄勳章年金廢止に關する勅令は左の如くである

勅令

金鵄勳章年金令は之を廢止す

附則　本令は公布の日よりこれを施行す、本令は昭和十五年四月二十九日以後の日附にかかる金鵄勳章敍賜者より之を適用す、昭和十五年四月二十九日前の日附にかかる金鵄勳章敍賜者については仍ほ舊令に依る

金鵄勳章併佩の勅令もけふ公布

【東京發同盟】金鵄勳章併佩に關する勅令は二十八日勅令第七百二十六號を以つて公布即日實施されることとなつた

金鵄勳章併佩に關する件　金鵄勳章を有するもの更に上級の金鵄勳章を賜はりたる時は前に賜はりたる金鵄勳章を併佩することを得

附則　本令は公布の日より之を施行す

敍賜戰歿者御賑恤
天恩枯骨に及ぶ
近衛首相謹話を發表

【東京發同盟】金鵄勳章制度の改正に際し二十七日午後四時近衛首相は左の如き談話を發表した

內閣總理大臣謹話

明治二十三年紀元の佳節を卜し金鵄勳章創設の詔を下して永く神武天皇の遺烈を光かにし武功拔群の者を賞してその忠勇を奬勵し給ひ、次いで同二十七年金鵄勳章年金令を制定あらせられ殊勳者を優賞し給へる御聖慮の深遠に恐懼の至りであります、爾來陸に海に皇師を進め給ふ事一再に留まらず、我が忠勇なる將士は毎に聖恩に感激し愈々士氣を振起し以て今日に及びました、然るに今回金鵄勳章敍賜者に對する精神的優遇を一層篤くすると共に、終身年金制を廢止して一時賜金制に改め且つ今次事變に於いて金鵄勳章を敍賜せられたる戰歿者に對し篤き賑恤の途を設けさせられ以て明治天皇御創設の聖旨を益々顯揚あらせられ給ひ、天恩枯骨に及ぶ敍賜を拜するに至りました事は畏き極みであります、今や興亞の聖業達成の爲め陸海の將士到る所に勇戰力闘する事旣に四星霜、一億臣民亦銃後の護りを堅くし只管その完遂に邁進しつつありますが、事變の前途は益々複雜多難一日の偸安も許しませぬ、吾等臣民は一身を皇國に捧げて敢闘したる殊勳の將士に對し滿腔の尊敬と心からなる感謝とを捧ぐると共に益々皇軍の精强に信頼し同心協力して時艱を開き以つて聖業を成就し渥き思召に副ひ奉つる事を期せねばならぬと存じます【寫眞は近衛首相】

河田藏相參內

【東京發同盟】河田藏相は二十七日午後一時五十五分　宮中に參內　天皇陛下大宮御所より還御の御後　陛下に拜謁仰付られ所管事項につき奏上、種々御下問に奉答して御前を退下した

精神的優遇の途を
弘め給ふ篤き思召
東條陸相、感激の謹話

【東京發同盟】金鵄勳章制度の劃期的改正に際し二十七日東條陸相は左の如く謹話した

明治二十三年　神武天皇肇定の故事に依し金鵄勳章を創設し給へる　明治天皇の聖旨を益々顯揚し給ふ畏き叡慮に依り、今般金鵄勳章の制度に劃期的改正を加へられましたことは眞に恐懼感激の極みで御座います、謹みて叡慮を拜し奉るに、この度の改正におかれましては特に精神的優遇の途を弘め給ふ篤き思召に依り、殊勳者に對しては更に皇室の殊遇を賜ふやに拜聞致しますのみならず、武功拔群者の累功を旌表あらせられるため金鵄勳章に限り、二回以上敍賜せられたる者は併佩を差許されることとなり、また金鵄勳章附隨の年金を廢し、別に御手篤き一時賜金を賜はるの制に改め、今回の支那事變生存者行賞より之を適用し、それ以前の者には及ばないこととせられました、而して如上の改正は時代の變遷世相の推移に鑑みまして武功拔群者の榮譽と矜持とを益々昂めこれに對する國民恭敬の念を愈々深からしめんとの叡慮に出づるものと拜察し奉るのであります、なほ戰歿者に金鵄勳章を敍賜せられまする場合從來は五箇年間年金を下賜せられましたが今回の支那事變より生存者と同額の一時賜金を下賜せられることとなり、旣に發令せられましたものに對しましても、更に追賜せられることとなりました、──これ偏へに陣歿勇士並にその遺族の上を御軫念あらせ給ふ大御心に依るものでありまして、聖恩宏大無邊、眞に感激の至りに堪へませぬ、今や皇國未曾有の非常時局に際會し皇軍の使命愈々重大なるの秋、われ等軍人の上に注がせ給ふ、かくの如く畏き叡慮を拜し將兵只管聖旨を奉體し擧軍一致益々團結を堅くし夙夜奉公愈々殉國の節を致し股肱の本分を全うし以て天恩に應へ奉らんことを期する次第であります（寫眞は東條陸相）

榮譽と矜持の高揚へ
金鵄勳章制度改正の有難き御趣旨
第一戰將兵の士氣振興

【東京發同盟】金鵄勳章制度は明治二十三年紀元二千五百五十年の紀元の佳節に當り畏くも明治天皇の叡慮により創設し給へるもので同日畏くも、金鵄勳章創設の勅を渙發あらせられた、同勅旨は、神武天皇肇定の故事に擬させ給ひて將來武功拔群のものにこれを敍賜あらせられ永く天皇の御威烈を光として其の忠勇を奬勵遊ばされんとする御叡慮に出でたものと拜察される

この輝く金鵄勳章が最初に敍賜されたのは明治二十七、八年の日清戰役に於ける武功拔群者に對してであつて爾來日露戰役、日獨戰役、シベリア事件、濟南事件、滿洲事變から今次支那事變に於ける殊勳者に授與せられるもので軍人最高の榮譽を賞せられた、然るに制度創設せられてより五十年時代の變遷と世相の推移とは武功拔群者最高の榮譽と矜持とを益々顯揚せしめると共に國民恭敬の念を深からしめるためにはこの制度の根本的改正の必要が痛感され政府でも夙て陸海軍と共に愼重考慮を重ねて居たものである

然も今次支那事變が我が國未曾有の大事變であり、延いて其の殊功行賞も我が國行賞制度制定以來の大規模なるもので、其の中には殊勳を樹てた者も頗る多數に上る譯であるから、政府並びに陸海軍としては金鵄勳章制度の根本的改正をこの機會に行ふ事となり、愼重審議の結果、左の如き趣旨に基く劃期的大改正が決定されたのである、即ち今回の改正の眼目は武功拔群者に對する精神的優遇の方法が特に考慮された點と金鵄勳章年金令が廢止され、一時賜金が下賜される事となつた點である、改正の理由並びに其の要點は左の如くである

一、武功拔群者に對する名譽の表彰たる金鵄勳章制度は其の本質上精神的優遇が中心たるべきである、今回の改正に當つては特にこの點に考慮が拂はれ畏き邊りの思召により殊勳者に對しては皇室の御殊遇を賜ふ事となつた

一、武功拔群に依つて金鵄勳章を二回以上敍賜せられた場合は下級勳章をも併佩して、其の累勳の榮譽を加彰する事が差許される事となつた

一、勳章の併佩は諸外國には例のある事であるが、我が國では從來併佩は許されず、上級勳章を授與された場合は下級勳章を返納する事になつて居たが今回武功拔群者に對する有難き思召により金鵄勳章に限り併佩が差許される事になつたもので、別に勅令が制定公布される

一、金鵄勳章年金令の廢止、即ち金鵄勳章年金は殊勳者に對する恩賞を特に厚からしめ武功奬勵の趣旨を充分徹底せしめると共に受章者をして永く聖恩の渥きに感佩せしめんとの趣旨に出たものであるが動々ともすると恰も武功者に對する物質的代償乃至恩給の如き感を誘致する虞なしとしなかつたので、今回年金を廢止して一時賜金下賜に改め殊勳者の名譽と矜持とを益々高からしめると共に終身年金は拜受者の生存年數の長短に依り、拜受額に差等を生じ、又戰死者に敍賜せられる場合、遺族を通じ年金は五個年間下賜される事となつて居るが、戰死者と生存者との均衡を失する場合もあり、又初敍者と再敍者との間に均衡を缺く場合も間々あり例へば

（イ）殊勳者として金鵄勳章を授與された者と勳功に依り旭日章を授けられ一時賜金を賜つたものとの場合、金鵄勳章授與者が早く死んだ場合は旭日章を授けられた者の方が殊勳者より却つて多くの一時賜金を賜はる事になる

（ロ）戰死者は五年の年金を下賜されるが、同じ金鵄勳章を授與されながら生存者は四十年五十年と終身年金を下賜されるので不合理を生ずる、又生存者相互間の場合においても早く死亡した場合と長生きした場合とは不公平が生ずる

（ハ）甲、乙二人の大尉に例を取れば甲大尉は滿洲事變に於いて功五級を授與され、乙大尉は授與されて居ないとして、それが今次の支那事變において甲、乙兩大尉とも功四級金鵄勳章を授けられる場合、甲は年金が百五十圓增加するが乙は直ちに功四級年金四百圓を下賜される、右の如き恩賞の不公平をなくするため行賞と賜金とを切り離して、行賞の適正を公平且つ合理的に敍賜する事となつた

一、金鵄勳章再敍者に對してはこれを併佩せしめ且つ一時的賜金を重ねて賜與せられる事に依り長期戰下第一線將兵の士氣を振興せしめる事に與つて力あらしめる、即ち今次事變生存者の行賞は本年四月一日を以て締切られ、更に現在戰鬪しつつある者は別個に行賞の恩典に浴する、從つて殊勳者は更に金鵄勳章を授與され一時賜金を下賜される

一、今回の改正に依り一時賜金制となつた[illegible]の恩賞を[illegible]になるので、支那事變死歿者で旣に金鵄勳章を授與された者に對しては生存者の一時賜金と同額になる樣に追賜される

一、即ち昭和十二年七月七日より同十五年四月二十八日までの死歿者は旣に五ヶ年分の年金を下賜されたが今回の制度改正に依り更に生存者の一時賜金と同額を追賜される

一、滿洲事變以前の殊勳者に對しては金鵄勳章年金令に依り終身年金を下賜される事に變りはない、即ち年金令に依り功一級一千五百圓、功二級一千圓、功三級七百圓、功四級五百圓、功五級三百五十圓、功六級二百五十圓、功七級百五十圓である

一、新制度に依る一時賜金の額は公表されない事になつて居るが記名公債（三分六厘五毛利附二十年後償還）を以て下賜され、他人に讓渡又は質入する事を許されず死亡其の他の場合は政府において買上げる事になつて居る

累勳の榮譽を加彰
金鵄勳章併佩の榮
皇恩洪大、及川海相謹話

【東京發同盟】及川海軍大臣は左の如き談話をなした

今般金鵄勳章制定の御趣旨を更に闡揚し給ふ思召を以て制度の劃期的改訂を行はれましたことは眞に恐懼感激の極みで御座います、謹みて按ずるにこの度の改訂に依りまして二回以上金鵄勳章を賜はりました場合は下級勳章をも併佩してその累勳の榮譽を加彰することを差許し給ひまた金鵄勳章年金令を廢止し一時賜金下賜のことに改められました事は殊勳者の名譽と矜持とを益々昂からしめ　殊勳者も生存者同樣に殊遇し給ふ思召と拜察し奉ります、更に皇室におかれましては、殊勳者殊遇に關し別途御念慮あらせられるやに洩れ承はりますることは皇恩の洪大唯々感泣の至りに堪へませぬ

時局愈々多難皇軍の使命愈々重大なるの秋この深遠なる叡慮を拜し奉りたるわれ等軍人は感激奮起只管聖旨を奉體し一意奉公の誠を盡し皎然たる名を揚げ以つて大御心に副ひ奉らんことを期する次第で御座います（寫眞は及川海相）

蘭印の最後回答を聞く　六月六日午前十時半、バタヴイヤコーニングスプレインの一角の日蘭會商事務所において妥協な蘭印側の最後的回答を聞く芳澤全權、向つて右よりファン・モーク蘭印側代表、芳澤全權、石澤總領事、ホーフストラーテン蘭印局長

芳澤使節一行乘船
きのふ歸朝の途へ
來月四日基隆寄港

【バタヴイア二十七日發同盟】過去約半歲日蘭會商に活躍した芳澤使節一行を乘せた日昌丸は二十七日午前十一時、バタヴイアを出帆一路歸國の途に就いた

この日芳澤使節始め三好副領事、三井物產支店長伊藤與三郎、原田書記生その他十一名の日本側使節團一行は蘭印側ファン・モーク經濟相を委員長とする日本使節送別委員、總督代理その他政府高官多數、日本側石澤總領事及び在留邦人約百名の盛大な見送りを受け、陸軍軍樂隊の壯重な君が代奏樂裡に日昌丸に乘船した

芳澤使節は蘭印を離れる最後の日まで日蘭間の友好關係促進のために最大の努力を拂ひ、會商の不調に終つた後も連日蘭印國民の引見に追擾記の訪客に或はスピット[illegible]總督及びファン・モーク經濟相等との會談に多忙を極め、二十五日には松岡外相より長文の感謝電報を受取つた、なほ日昌丸は來る七月四日基隆に寄港、同八日神戶入港の豫定である

邦人婦女人モスクワを出發

【モスクワ二十七日發同盟】モスクワ引揚邦人婦女子三十二名を乘せたシベリヤ鐵道列車は二十七日午後十時豫定通りモスクワ驛を滿洲里に向つて出發し建川大使夫人、陸軍武官岡道武大佐夫人も一行の內にある、ソ聯側では特に日本專用食堂車を連結する等の好意を示した、モスクワ驛頭には建川大使以下在留同胞悉く一行を見送り珍らしく日本情緒を[illegible]いた

芬蘭は獨英對戰には中立
在日公使館發表

【東京發同盟】駐日フインランド公使館では二十七日午後五時左の如く發表した

フインランドはロシアに對し宣戰布告をなさざりしも、戰爭狀態にあることを認むるに至れり、事實ロシア飛行隊は數度の公然たる抗議の申込をなしたるに拘はらずフインランド全國土に亙り都市の爆擊を行へり、ロシアは旣に昨年十一月においてフインランドを併合すべく企てたり、フインランドは今や國防に努力す、即ち自衛權の發動に外ならず、尙フインランドは英獨對戰に關しては中立的立場を堅持するものなり

洪國對ソ交戰狀態を發表

【ブダペスト二十七日發同盟至急】ハンガリー政府は二十七日ハンガリーとソ聯との間に戰爭狀態の存在する旨發表した

援助要請は言明を避く
米國務次官訪問のソ聯大使

【ワシントン二十六日發同盟】ウマンスキー駐米ソ聯大使は二十六日ウエルズ國務次官を訪問した上約三十分に亙り會談を遂げたが、終了後記者團に對して左の如く語つた

ウエルズ次官は今後ソ聯援助につきソ聯政府が提出すべき要求は全部好意的に考慮し、能ふる限り要求に添ふやうにする旨確約した

然し同大使は米國に對し正式に援助要請を爲したか否かについては言明を避けた

前大戰に比較し
條件極めて有利
獨軍側、東部作戰を樂觀

【ニューヨーク二十七日發同盟】東部戰線における獨ソ戰の戰況は旣に決定的な獨軍の優勢裡に進展し獨軍は國境に近いソ聯軍要衝基地を悉く手中に收めたが、獨軍筋では二十七日今次東部作戰が前世界大戰の作戰に比較して、極めて有利な條件の下に展開されて居り開戰以來の赫赫たる戰果は當然の所なりとして次の如く述べてゐる

一、前大戰ではドイツは二正面作戰遂行の餘儀なき狀態に陷り、從つて兵力を各方面に割かねばならなかつたが、今次戰爭では一正面作戰を遂行してゐる

一、前大戰では西部戰線で主作戰を遂行してゐる間は、東部では補助的な兵力しか使用出來なかつたが、今回は東部戰線で敵軍に匹敵し得る兵力と武器を集中出來る、而して獨軍は旣に連戰の十分な經驗を有してゐる

一、前大戰では東部戰線に於ては統一した最高指導を缺いてゐたが、今回は統一的な指揮の下にある、これに反し赤軍の指揮はその過去の戰歷から見て到底獨軍に及ばない

一、前大戰では東プロシヤ、シレジアの南北兩翼が敵に脅威されてゐたのに對し、今回は南北兩翼はフインランド、ルーマニア兩同盟國軍の協力と相俟ち十分に確保されて居り開戰當時の態勢に於て全く異つてゐる、然も今回は獨軍の有する優秀な近代兵器に依り敵の後方を攪亂し得ると云ふ絶對的に有利な條件がある

一、陸海空の三方面に亙る攻擊態度において前大戰と今次の東部作戰では比較にならぬ懸隔がある旣に開戰以來、獨軍は猛烈な進擊振りを示してゐる

待避作戰許さず
獨は赤軍捕捉殲滅　國境爭奪戰に死力

【ベルリン二十七日發同盟】獨軍筋は對ソ戰爭の見透しに就き獨軍の目標は赤軍を擊破するものではなく、これを捕捉殲滅して赤色政權を地球上から抹殺することにあると左の如く語つた

一、ソ聯が二千五百粁に亙る國境線に集結した赤軍部隊は質的に最優秀部隊であるばかりでなく兵力の上でもソ聯總兵力の壓倒的部分を占めるもので、その主力はバルト三國から東プロイセンに至る最前線に向けられてゐる、獨軍は先づ開戰と同時に空軍を總動員して敵飛行基地を襲ひ敵機を虱潰しに地上擊破して制空權を奪取すると共に、後方の敵軍需品輸送路通信連絡等を破壞することに全力を集中してゐるが、ソ聯軍が赤色國土防衞の立場から積極的反擊作戰をとつてゐる點に鑑み、國境線の爭奪を繞つて行はれる決戰は全赤色の運命を支配する重要な意義を有する

一、ソ聯軍はたとへ國境線に破れてもその廣大な地域を頼みとして主力を後方に退却させることに全力を盡すだらうが獨軍の目標は機械化部隊の機動力を百パーセントに發揮して赤軍を到る所で包圍しこれを捕捉殲滅するにある、從つて赤軍有力部隊が獨軍の攻擊を逃れてウラル山脈の後方に立籠り、ゲリラ戰で長期抵抗を續けるやうな事態は絶對に實現しないだらう

赤軍頑强に抵抗
獨軍の進擊若干緩漫化

【ニューヨーク二十六日發同盟】獨ソ戰局は二十六日に入ると共に各戰線で赤軍の抵抗が俄に增大したものの如く、獨側發表に依ると戰局は作戰計畫通り着々進んでゐると云つてゐるが、一方では赤軍の抵抗が極めて頑强なことを認めて居り、その他の報道に依つても獨軍進擊の速度は若干緩漫となつた模樣で特に南部戰線ではドイツの進擊は殆ど停止狀態となつたと傳へられる戰況報道要旨左の通り

一、北部及び中部戰線では獨軍はソ領ポーランド領ビアリストック（ワルシャワ東北方約百八十粁）方面からウイルナの方向に進出これに呼應して他の部隊はブレスト・リトヴイスクを基點としてバラノヴイッチ（ブレスト・リトヴイスク東方約二百粁）目差して進擊しこの中間約百六十粁の地域における赤軍は包圍されんとしてゐると云はれる

一、又他の一報道に依ると獨軍は旣にウイルナ、リガ（ラトヴイアの首府）の兩市を占領したと傳へられる

一、獨軍側報道に依るとウクライナ地方に叛亂が勃發し若干都市は叛徒に依つて占領されたと云はれる

一、獨空軍は赤軍部隊に對する攻擊の外レニングラード及び黑海沿岸諸都市に爆擊を敢行、一方ソ聯軍もドイツ、ルーマニア各地、特にブカレストに對して猛烈な爆擊を行つた

一、フイランドは遂にドイツ側に立つて參戰したがリスト・リチフインランド大統領はラジオを通じて痛烈にソ聯の侵略的態度を攻擊、フインランドが獨立維持のため再びソ聯と戰ふの餘儀なきに至つた所以を明かにした

一、英ソ兩國は頻りに共同戰線の强化を策してゐるが、ロンドン電に依ると英國の軍事使節は旣に英國を出發してモスクワへの途上にあり陸、海、空軍の代表を含む大使節團と云はれる

一、ハンガリー政府はソ聯機が二十六日東部ハンガリーのケロスメゾ附近で旅客列車を空襲した外、北ハンガリーのカッサを爆擊したと發表した

ラトビアの首都
リガを獨軍占領

【ロンドン二十六日發同盟】ロイター電がヴイシーよりの情報として傳へる所に依れば、破竹の進擊を續ける獨軍部隊は二十六日遂にラトビア首都リガを占領したと

獨落下傘部隊
白ロシアで逮捕

【モスクワ二十七日發同盟】ソ聯情報局發表

獨軍落下傘部隊は無電機を携帶四、五名宛數團となつてソ聯白ロシヤ領內に降下したが全部附近住民が逮捕、軍當局に引渡した、其の他の地區でも敵の落下傘部隊降下計畫は猛烈な反擊に依つて阻止された

羅國政府機關
首都を撤退中

【ニューヨーク二十六日發同盟】NBC放送局がアンカラのラジオ放送を受信した所に依れば、ルーマニア政府機關はソ聯空軍の大爆擊を受けて首都ブカレストより撤退中と言はれる

對泰貿易統制か

【神戶本社特電】日、泰關係は過般の泰、佛印國境調停以來著しく好轉し日、泰貿易の將來にはかなりの期待がかけられてゐるが未だ各商社の自由貿易の跋扈に任されてをり將來の統制を豫期して實績獲得のため各商社が盛んに競爭してゐるかに觀られるので政府は近く佛印と同樣泰國貿易を統制する模樣でその際は見作りの輸出實績はこれを認めず眞に正しい實績を基礎に輸出商社の代行を決定するものと觀られてゐる

山下中將一行
滿洲里出發

【滿洲里二十七日發同盟】二十六日午後滿洲里に到着、東亞旅館に一泊した山下奉文中將の一行は二十七日午後二時四十五分滿洲里發列車で軍官民多數の見送りを受け、ハルビンに向つた

外國電報料金
七月から引下げ

【東京發同盟】外國電報料金が來る七月一日から引下げられる、從來外國電報料金の邦貨換算割合は國際通信料金の建値である一法に對して七十錢替であつたがこれを六十五錢替とし五錢方の値下とするものでこのため例へばニューヨークへの料金は一語に付從來は二圓五十九錢のものが二圓四十錢に、歐洲各地へは從來二圓四十一錢のものが二圓二十四錢となり其他世界各地宛電報料金もこれに準じて一率に引下げられる、この引下げ理由は最近我國でも外國電報には無線利用者が極めて增加し現在では對外通信の九三%までが無線を利用して居り無線利用の場合はその料金は相手國と折半する爲めに有線利用の際より海外拂額が非常に減少して來た爲めで電報利用者の負擔を輕くし事變下の我が對外貿易振興に資さうとするものである然し返信料前納電報は其の料金を全額相手國に支拂はねばならぬため料金は變らない

安藤臺大總長
歸臺の途へ

【神戶本社特電】二十七日發香取丸で安藤臺大總長、中村郵船基隆支店長、金子[illegible]取締役その他の諸氏が乘船した

人事

▲岡田幸生氏（[illegible]試驗所長）來北中の所二十七日夜行で歸任
▲西田太郎氏（勸銀理事、臺北支店長）二十七日南部より歸北
▲中島道一氏（臺灣纖維工業專務）二十六日內地より歸北
▲三谷彌三郎氏（臺灣セメント專務）二十八日內地より歸臺（朝陽號）
▲森本寬三郎氏（大阪武田長兵衞商店常務）二十六日來臺
▲田邊利司氏（臺灣パルプ支配人）二十九日上海に赴く
▲柳悅耳氏（南日本鹽業會社專務）
▲國田吉之助氏（同總務部長）二十七日來北
▲古賀千代子氏（臺灣婦人社社長）二十七日來北、二十八日夜行にて高雄へ、二十九日加茂丸にて內地へ
▲外山省吾氏（高雄酒精會社專務）二十八日來北

今日の府報

▲告示第四百九十六號朝鮮產工業用ステアリン酸の販賣價格指定の件▲告示第四百九十七號活字の販賣價格指定の件▲告示第四百九十八號齒科醫療器械の販賣價格指定の件▲敍任及辭令　米山耕造外

濠洲戰時體制へ
閣僚大增員
メンヂス首相內閣改造

【シドニー二十七日發同盟】メンヂス濠洲首相は二十六日夜聲明において內閣改造及び行政機構改組の詳細を發表したが、その內容左の通り

一、航空機製造、運輸、戰時產業編成、治安及び國領の五省を新設する

一、現在十二名の閣僚を十九名に增員する

一、內閣を戰時委員會（六名）と經濟產業委員會（七名、議長ファーデン藏相）とに分ち、兩委員會は各々共の所管事項に關し完全なる權限を有す、主要政治問題のみ內閣全體の所管とす

一、議會各派を網羅し次の諸委員會を任命する（戰費支出、社會保安、利潤、勞務、放送、稅利地方產業）

師範教育改善
全國師範學校長會議

【東京發同盟】文部省では二十七日午前八時半より文部省第一會議室に全國師範學校長會議を開催、橋田文相より師範教育の重要性と教學一體の本義を强調する訓示を行つた後、各學校長より師範教育改善に關する意見を聽取し正午一旦休憩午後一時再開師範組織の改善施設につき協議した、師範教育改善に關する主なる意見左の如し

一、教員養成の完璧を期する師範學校を官立とすべきである

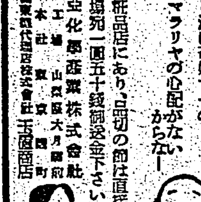
一、年限を延期して三年程度の專門學校とすべきである

一、優秀な學生を集める爲め國民學校から接續するより豫科を設くべきである

一、師範學校を單なる教員養成の機關とせず國民學校を全面的に研究指導する機關とされたい

國策推進協議會
政府に進言決定

【東京發同盟】獨ソ開戰に伴ふ新事態に對處すべき第二回國策推進協議會は二十七日午前十時より首相官邸に開催、末次信正、林銑十郎、中村良三各大將、安達謙藏、中野正剛、天野辰夫、橋本欣五郎、駒井德三の八氏出席（秋田清、山崎達之輔氏缺席）去る二十三日の第一回協議會に引續き懇談の結果中村、中野兩氏起草の政府に對する進言案を決定した後、國民運動の展開方策に就き協議を行ひ午後一時半散會した、右協議會の決定に基き八氏は三十日午前十時首相官邸に會合、首相並に陸、海、外各相を歷訪進言書を手交して時局打開の進言を行ふこととなつた、一方安達、林の兩氏は參議としての立場より二十八日近衛首相と會見同樣進言を行ふ



蒸暑の夕
坊「おぢいチャン蚊が來ないから氣樂でせう」
爺「ウ、ぼーさんも蚊も樂ちやろー」
賣金蚊やり液は奇妙ちやの──
第一マラリヤの心配がないからなー
興亞化粧品店にあり、品切の節は直接左記工場宛一圓五十錢御送金下さい
興亞化學產業株式會社　工場 山梨縣大月驛前　本社 東京麴町
臺灣總代理店株式會社 玉置商店

畝傍書房
新刊　重版
飯田武鄉著
日本書紀通釋　全六卷
─內容見本進呈─
A5判背革特製本・分冊　一冊拂八十五圓・[illegible]
東京麴町九段[illegible]　振替東京[illegible]
書紀註釋中第一等の書　文學博士 平泉澄
日本書紀の註釋書としては、奈良時代から平安時代へかけての私記の諸本から德川末期にかけて十指に餘る諸名家の註釋書が作られてゐるが、明治に成した飯田武鄉の「日本書紀通釋」こそは、今日までのところ最もよく[illegible]して、第一に指を屈すべき良書である。（「日本書紀解題」の一節）

決定版
科學物語　ディーツ著　理學博士 竹內時男　佐藤[illegible] 共譯　B6判 寫眞 價[illegible]
【好評五刷出來】科學ジャーナリストとして令名あるダビッド・ディーツの代表作で、一九三七年にはアメリカ最高文化賞のピュリッツア賞を與へられたる書。大は宇宙から、小は細胞に至るまで、自然科學の[illegible]を、極めて平易に、興味深く說いてある。また科學上の偉人を語る妙あり、恰もその時代に生きてそれらの人々に面接するが如きである。

世紀の科學　理學博士 竹內時男著　A5判 價一・八〇

人間と世界像　ドリーシュ　醫學博士 林　長島　共譯　B6判 價一・五〇
本書は、ベルグソンと並び稱せられてゐたハンス・ドリーシュ博士の全哲學と、全經驗とも云ふべき書であつて、赤ん坊または、未開人の素朴な世界像から、描寫を試み學問一切の知識と行爲を剔抉し、つひには神・自由・不死の最高の課題に、科學の[illegible]を試みてある、本書によつて、哲學ははじめて文化大衆のものとなり、日本の科學は「科學する心」を體得するであらう。

科學への思索　醫學博士 林[illegible]著　B6判 寫眞 價二・五〇
【好評三刷出來】好奇心と云ふものを、生理學で研究出來ようとは思はなかつた……と、著者は云つてゐる。本書は著者が[illegible]條件反射學の立場から、好奇心と研究、臓器の入れかへの研究等の興味深き新研究の科學に於ける描寫と、文學に於ける描寫の問題、最近各方面にて問題となつてゐる等についての著者獨自の論索を收む。

有斐閣　新刊　重版　東京神田神保町　振替東京三七〇　電話九段三三[illegible]

金融統制の理論　高商教授 一谷藤一郎著　A5判 四二〇頁 價[illegible]
統制經濟に於て實物統制の强化さるるを觀て、金融統制の意義を輕視し、或は[illegible]見解であり、[illegible]。而も[illegible]的確なる理論に立脚するを要し、[illegible]は許されない。著者は統制理論並びに[illegible]を究明し、以て金融統制の最も正鵠なる理論的基礎を提示された。

下請制工業論　京都帝大講師 田杉競著　A5判 四六二頁 價[illegible]
金輸出再禁止以後漸く繁榮を誇つた我が中小工業も、支那事變勃發と共に大なる困難に[illegible]、今や中小工業問題は世の重大關心を惹くに至つた。就中學界に新課題を提供し且國家的[illegible]となつたものは、下請制工業である。新鋭の著者は我が國民經濟の基本的動向を通して、此問題を的確に把握し、より大なる視野の中に於て、即ち我國經濟發展の一環としての下請制工業の將來に對する指針を確立せらる。

委任統治の本質　京都帝大教授・法博 田岡良一著　A5判 二八〇頁 價[illegible]
今や國際聯盟の崩壞、歐洲の一部に起れる獨逸植民地舊領再要求の聲等に依り、委任統治の本質の究明は、單に國際法學上の重要課題たるのみならず、實際的にも又、極めて重要性を持つに至つた。本書は巴里平和會議に於ける委任統治制度成立史の周到なる研究に依り、此問題を繞る混沌たる世の學說に最後的解決を與へ、且[illegible]を完全に立證せんとする、蓋し委任統治に關する專攻書なき折柄、貴重な勞作である。

國家財政と國民經濟　─經費の國民經濟的機能に關する理論的及び實證的研究─　青木得三　山口忠夫　共著　A5判 三八二頁 價[illegible]
現下の事態の如く國家財政の比重が增大し國民經濟の構造的變化に對し決定的な寄與をなしつつあるとき、國家財政と國民經濟との構造的及機能的關係を究明することは、殊に緊要な問題である。夙に此點に注目せる兩著者は、數年來師弟相協力して、我國統計の[illegible]、茲に其の豫定の一部を公刊せらる。我學界の[illegible]を補完する本書を得たることを人々と共に欣ぶ次第である。

全訂 財政學　小川鄉太郎　汐見三郎　共著　A5判 六六八頁 價[illegible]
本書は、我國財政學の權威にして、現に非常時下[illegible]或は大學の講座にあつて[illegible]研究とに各々深い[illegible]努力を續けられつつある小川・汐見兩博士の[illegible]。本全訂版は我國財政が劃期的改革を遂げたるを機會に、體系及順序を[illegible]、[illegible]に根本的改訂を施され、內外の新事情の理解に必要な各種の基礎的理論を[illegible]ふ等[illegible]られたものであつて、本版はその面目である。

社説

獨ソ戰と英米の援ソ

結局は空虛な掛け聲のみ

一

獨ソ開戰するや英國は對獨抗戰の爲にソ聯援助を呼號し之に續いて米國政府も亦對ソ援助を與へる旨發表した。英國の對ソ援助なるものはソ聯と相互的援助の下に提携するといひ或は同盟國として英國はソ聯を迎へ入れたと稱するが獨逸の強力な封鎖の下に現勢如何とも施し難く、對獨抗戰辛くも米國の援助に縋るの外なき窮地に追ひ込まれた英國の對ソ援助なるものは笑止千萬である。獨軍の對ソ短期作戰成功の觀測が壓倒的な情勢に於て英國側が獨ソ同盟の前提條件としてソ聯の對獨講和阻止工作を行ひつつありといふ情報は掛け聲に過ぎない英の援ソの正體を暴露するものに外ならないのである。從つてソ聯に對する外國の援助として問題となり得る可能性あるものありとすればそれは米國の援助である。

二

米國政府の援ソは民主主義國家に對する場合と別の立場に於て、即ちソ聯の對獨戰は獨逸にとり有利なりといふ露骨な現實主義、御都合主義の結論に過ぎない。英國が對獨戰に敗れ英帝國崩潰の運命に逢着するといふが如き事態に就いては米國は其の國家の一部を失ふが如き恐怖心を抱き謂はば運命の共感を感ずる間柄にあるがソ聯に對しては其の國柄に於て獨逸のナチズムを極度に嫌忌すると同樣にボルシエヴイズムを絶對に歡迎するものではない以上、精々ソ聯が對獨長期戰を持ち應へ得べき事を望むに過ぎないといふのが米の援ソの本音であらう。從つて米國の援ソも對英援助の如き熱意はあり得る筈もなくその實際に於ても一定の限度が存すべきは必定である。最近のルーズベルト米大統領は可能なる援ソを爲すと言明し先づ經濟的措置としてソ聯の在米資金凍結管理を撤去し物資の對ソ輸出禁止を解除する旨を明かにしたが米國の國防產業は自國の軍備擴充と援英の爲に手一杯であり實效ある援ソの餘裕はあり得ないであらう。

三

然も當のソ聯自體は米國の援けてやるとの託宣に拘らず未だ米國に援助を求める積極的動きは見られない際であり、結局は米國の援ソも英國と略〻同列の狀態に於て掛け聲のみの觀がある。唯米國の對ソ動向に於て注目すべきは米國が獨ソ戰に對して中立法を適用せざる旨を言明した點である。其の結果として米船に依る對ソ戰時物資輸送が可能となつた譯で米國船舶は太平洋を經由して自由にウラジオストツクに出入する事を得るのである。茲に於て米國の非中立的中立が愈々其の正體を明かにして來たのであり米國の無軌道振りの運轉に敢て今更之を論ずるには當らないが、現存國家たる米國が米船舶に此の措置を許した點に於いては之を十分に重視すべきものである。兎に角、獨ソ戰は獨軍が短期作戰に絶對的確信を持つてゐる[illegible]實際に於て現在段階の戰果を擧げるときは米國の援ソが假令實行に移されても後の祭りに留まるべきは明かである。米國の援ソは經濟的援助のみに留まるべく然も限られたる範圍內に留まるべき以上は短期戰に於ては勿論、假令長期戰に及んでも其の效果はソ聯として期待すべく餘りに貧弱に留まるであらう。

糖業新體制注目

第一回臺灣糖業協議會開かる

本期產糖高千八百萬擔の豫想

臺灣糖業の新體制をその重要使命として去る四月二十六日誕生した臺灣糖業協議會の第一回協議會は國際關係の緊迫情勢下然も前期未曾有の產糖減の後をうけて各方面の期待を受けつつ二十七日午後一時半より臺北市公會堂に開催した、會する者は石井新任理事(府殖產局長)玉手幹事(府特產課長)田代、吉良兩府技師、岡田糖業試驗所長並に次の全委員及び關係者約二十名に達し左の諸問題につき慎重審議を重ね午後五時多大の成果を收めて散會した

定刻玉手幹事起つて第一回本協議會を開催するに至つた經過報告並に挨拶ありついで石井理事の別項の如き開會の挨拶と之に對する諸委員の答辭あり最後に石井殖產局長より

時局重大なる折柄我糖業に對し常識を逸した誤な批判をする者があるが糖業は我國重要產業として之に對する指導方針は確固不動のものがある又國際情勢の緊迫した今日何時如何なる新事態が我糖業界にも起るかも知れない、かかる場合には此の糖業協議會を大いに活用し正鵠な判斷を誤らざる樣官民一致の御協力を煩はしたい

旨の臨席官訓示があつた、會社側出席者氏名(委員は石井局長) 賀千城夫(臺灣製糖常務)鶴作次郎(明糖)三善丈夫(鹽糖)山本光三郎(臺拓)鈴木政一(大日本製糖)[illegible]理事)佐藤佳良(日糖)大森其[illegible](日糖)多賀敬男(明治製糖取締役)岩佐逸重(明糖)沖光次郎(鹽水港製糖常務)[illegible]彥次(鹽糖)鹿野杢治郎(臺糖)竹之內[illegible](臺糖)笹子壽一(臺糖)重森確太(臺東製糖常務)以上の諸氏

△決議事項

一、臺灣糖業協議會規程改正の件

二、同細則の件

三、附屬調査會の件

四、豫算の件

△協議事項

一、本期產糖豫想

二、自給問題

三、原石問題

四、砂糖貿易問題

五、砂糖公定價格引上問題

六、其他

右協議事項の(一)は最も關心の集はれてゐる所で各會社の報告を綜合すると多照雨量に惠まれた本期甘蔗は成育概ね良好で今秋天災なければ先づ產糖高は千八百萬擔を降るまいと云ふ豫想である(二)の自給問題は府の方針としては徹底を期して耕地白糖製造を認可する(三)の原石問題は先頭各社の技術員を花蓮港、嘉義、新竹の各現地に視察せしめた成分析の結果は未だ不明なるも大體の意見として臺灣は原石は大きさが不均一であると云はれるが本期は島內より約三萬四千トンを採掘しあと九萬九千トンは出來る限り船腹の獲得に努め大分堅牢久見の原石を移入する事とした(四)砂糖貿易問題は主として中南支に於ける爪哇糖との競爭問題に對策を講じた(五)砂糖公定價格の引上は暴風雨被害により前期赤字經營に惱む業者の齊しく希望する處ではあるが本問題は中央の問題でその成否は今の處不明の模樣である、以上の他企業合同や經營合理化問題につき官民の隔意なき意見がかはされた

協力一致の實を擧げ圓滿なる發展を念願

二十七日臺北公會堂に開かれた臺灣糖業協議會第一回協議會席上の新任石井理事の挨拶並に覺委員の答辭は大要次の通りであつた

石井理事挨拶 現下重大時局に會して臺灣糖業界は益々多事多端を加へて參つたが糖業協議會の根本精神たる官民一致の協調を發揮して前進して國家に御奉公を申上げ度い、固より官府と糖業者とは水魚の關係に於て密接なる連絡を保持してきたが時局下一層の協力が肝要である、糖業協議會は勿論當局の方針を內容として推進して行かねばならぬが其の使命の重大性に鑑み圓滿な發展を念願して[illegible]

覺委員答辭 石井新理事を糖業協議會に御迎へした事は本島糖業否東亞共榮圈全體の經濟推進のため欣快に堪へぬ、又本糖業協議會は國防國家體制確立の礎石として新理事を「ヒユラー」として中央協力會議の如く政治性を帶びた協議會である故、會社を超越して自己の意見を隔意なき發表をする必要があると思ふ、元來官民には各々幾多の長所、短所があるが本協議會に於ては常にその主張意見が和氣藹々たる事を望んで止まない、官僚獨善と云ひ民間の私利追求と云ふ事も總てその特徴を捉へれば官は物事に捉はれぬ純粹な[illegible]まない本協議會が如何なる方向に向つて進められるかは本協議會の根本問題として[illegible]協議を重ね度い、[illegible]に就ては家族會議の如き[illegible]思想があり又民間には強力な實行性と拓殖力がある點で正しく相互ひが理解する點によつて圓滿な協力一致の實が擧がるものと考へる本協議會は

一、肇亞主義と調和主義により生產擴充と低生產費の實現を期し

二、國家奉公を旨とし島民奉公會と南方發展に對し臺灣協議會が臺灣糖業の中心指導者として發展せん事を望む

日本油脂海南島に工場建設

日本油脂株式會社では今回海南島の事業地に油脂工場を建設することになり同本社の技術部員河野通義氏が去十八日來臺、二十五日高雄より海南島に向つた、既に機械其他の手配もすみ氏が建設を擔當し六ケ月後に竣工、同島に多い椰子及海藻から半製品をつくり之を[illegible]

島產アベマキを原料に代用コルクの企業化

コルク代用として島產アベマキの利用は府專賣局の御用會社たる臺灣煙草統制會社に依つて既に企業化の計畫が進められてゐたが同社では之が技術を先進の昭和コルクに仰ぎその資本參加を見る際から同企業を特殊會社たる同社から切離し別個に新會社を設立することとなつた、近く具體的な計畫の決定と共に府當局に申請の運びとなつてゐるが新會社の資本金は前記昭和コルクと折半して全額拂込の二十萬圓程度と見られてゐる

燃料國策の確立目差し

滿鐵撫順製油能力倍加へ

第二工場建設資金二億圓

【東京發同盟】二十七日の閣議において決定した滿鐵の撫順オイルシエール工場擴充計畫は液體燃料の需給狀況に鑑み我が燃料國策に於て一昨年末企畫中のものであつて右は資材並に資金關係の窮屈化から一時中止されてゐた第二製油工場(東工場)の新設工事を日本側の援助の下に本格的工事開始を行はんとするものである

即ち滿鐵の製油事業は既存の第一製油工場(西工場)によつて行はれて來たが第一工場の擴張と並行して今回第二製油工場を新設大規模の擴充を行はんとするもので同計畫の內容は本年度より三ケ年計畫で建設資金總額二億圓、本年度所要資金二千万圓增產目標は從來の生產高の二倍增に置いてゐる而して右擴充計畫所要資金は既に決定した滿鐵豫算外として別途社債乃至借入金によつて調達する豫定である尚昭和十五年度滿鐵收支決算に據れば製油業總收入百四十二[illegible]

臺灣私設軌道組合

きのふ創立總會

臺灣私設軌道の諸資材配給及び勝入の斡旋及び調査等を目的として設立準備を急いでゐた臺灣私設軌道組合の創立總會は二十七日午後四時半より臺北市公會堂に於て開催、監督官廳側より殿矢交通局監督課鐵道監理係長、小川同技師、企劃部川野氏その他關係官臨席、業者側よりは次の二十社の出席者中

共榮輕鐵、松三軌道、臺東開發、海山輕鐵、桃園軌道、中壢軌道、東成公司、新竹拓殖、臺灣軌道、臺南拓殖、南拓出張所、臺灣交通、南投輕鐵、新高拓殖、集集拓殖、合同鳳梨、臺灣電業、烏山頭製糖の十七社代表出席、定刻國民儀禮に次で吉田創立委員代表(臺灣軌道)など去る十四日鐵道ホテルに於ける懇談會開催より當局の經過と業界の要望に依つて組合創立の趣旨し基隆輕鐵外四社代表に依る創立委員の手に依つて今回の創立總會開催に至る經過の報告あり續いて吉田氏(臺灣軌道)を議長に推し全七章二十九條に亙る規約を承認、次いで現合役員の選任に就ては滿場一致の推薦に依つて創立委員として組合創立に當つた五氏員に臺灣の淸水氏を加へ山下金二(新高拓殖)石田勝太郎(臺南拓殖)鈴木貞(新竹拓殖)淸水保勝(臺灣軌道)澁澤吉次郎(臺灣交通)吉田貫吉(基隆輕鐵)の六氏を推薦、續いて創立費の承認及十六年度の經費並に收支豫算賦課徵收方法その他を審議可決して議事を終了、臨席官の訓示あつて同五時半閉會し

ことに從來少ない努力で然も相當豐富な輸送力を有しながら比較的省みられない狀態にあつた本島軌道界も時代の脚光を浴びて全島一丸となり輸送報國の一翼を擔つて乘出すこととなつた

臺拓の海外事業好調

第五回總會席上 加藤社長の演說要旨〔下〕

海外事業

次に海外事業に就いて申上げる

廣東事業 南支、海南島方面であるが廣東で經營して居つた電氣及水道事業は現地當局と支那政府側との協定に依り之を支那側に返還することに決定、水道は十五年十月當社と廣東省政府との間に借款契約が締結され其の經營方を當社に委任せられる事に協定が成立した、電氣は廣州電力株式會社が經營の委任を受けることになつたので當社の旣投資元利を受領することに協定が成立し之を實施した、廣東地方の鑛業としては鐵、石炭の採掘及錫鑛の買鑛等を經營して居るが當局の御援助に依り相當の成績を擧げて居る、又汕頭に於ける水道事業の經營に付ては廣東の例に倣ひ、當社に於て委任經營を引受ける事に目下之が契約の手續中である

海南島事業 海南島に於ては當社の國策的使命に鑑み特に力を致し多數社員を派遣して同島の產業、交通開發の爲に自動車、農林、牧畜、製氷、鐵業、煉瓦等の諸事業を經營して居る、先づ自動車事業は十四年四月からバス、トラツク、ハイヤ等の營業を開始し、爾來逐々其の業務を擴張し本期末には延長路線二十一線、料程千三百粁を運行して居る、農林事業は當社の事業地として十餘万町步の土地の割當を戴き陵水、馬嶺を中心に同島の天然條件を利用し產業資源の開發に努力し特に米、甘藷の食糧增產に力を致して居る、畜產事業は同島の畜產資源の豐富なるに鑑み酪農、肉畜、皮革、化成牧畜等の諸事業を經營して居るのが相當の成果を擧げて居る、其の外鑛業事業、製氷事業、煉瓦事業等、同島開發の爲め不斷の努力を續けて居る

佛印事業 佛領印度支那に於ては吾社として早くから企業に着手し鑛物資源開發の目的で十三年一月河內に佛蘭西商法に據る印度支那產業會社を設立し佛人との共同事業で鐵鑛石、其の他鑛物資源の開發に從事し相當成績の鐵石を本邦に輸入して來たのであるが十五年三月更に佛印鑛業法に據り印度支那鑛業會社を設立し前記會社の一部事業を繼承したが偶々皇軍の進駐となり愈々我國の經濟發展が要目せらるる事となつた結果、今後當社の事業は急速に進展を見ることと思ふ

泰國事業 泰國にては棉花の栽培を計畫し十二年以來社員を派遣し相當の土地を買收し棉作を始め、出來た棉花は實棉として臺灣に持つて來て繰綿にして居る、十四年五月に事業統制の關係から臺灣棉花會社に移譲して引續き棉作に從事させて居る、幸に日泰友好關係が好轉した結果將來は一層有望に成つて來ることと思はる

英領馬來事業 英領馬來に於て邦人經營の鐵鑛開發事業を援助して十三年度以降引續き事業資金を供給し、鐵鑛石を我國に輸入して居る、此の輸入した鐵鑛は相當大きな數量に上つて居て又成績も每年增加、向上して居る

比律賓事業 比律賓に於て資源開發の爲め十五年七月マニラに比律賓の法律に據る比律賓產業株式會社を設立し、マンガン鑛其の他鑛物資源の開發に從事して居るが御承知の如き國際情勢の時であるから未だ所期の成績を擧げて居ない、此の他海外事業は關係する所頗る微妙なものがあるので詳細のことは申上げ兼ねるが當社は關係當局の御指導に從ひ彼我經濟提携の實を擧げ相互の國益を增すことに努めて居る

資金供給事業 次に資金供給に付き島內島外を一括して簡單に申上げる、當社は國家の有用資源開發上緊要と認める各種の事業に對し其の必要に應じて新會社を設立し又は株式の引受等に依り協力して來たのであるが本期間に於て新規に株式を引受けたものは日本鐵鋼原料統制株式會社、比律賓產業株式會社、南日本鹽業株式會社、南方航運株式會社、臺灣通信工業株式會社、日本協同證券株式會社、印度支那鑛業會社の七社で、之を以て當社子會社及關係會社は本期末に於て臺灣棉花會社外三十社を算し之が引受資本金額二千二百四十餘万圓、內拂込額千二百四十餘万圓に上つて居る

資金 最後に資金關係に付て一言す、吾社は事變前の創立に係り今日迄當社當事者としては相當國策の爲め邁進して來たのであるが現下世界動亂の際帝國の進む道は愈々範圍を擴大せられ從つて吾社の資金も之を強化する必要がある、當社は帝國南進の基地であり且つ心臟である臺灣に本據を置き其の營域を南方に占めて居る關係上、國策會社としての使命は今日日を追うて加重されて來た、斯の如き情勢に鑑み當社の事業計畫の遂行には今後相當の資金が獲得せらるるのみでなく資金の構成に付ても愼重に檢討の上之が強化を計ることが必要で其の方法として目下增資計畫に付て考慮を拂ひつつある、勿論此の事は未だ具體的に申上げる段階迄は行つて居らぬが此の機會に於て其のある所を御諒承願ひ度いと思ふ

結論 以上概要を述べたが、要するに當社は時局下使命の重大なるに鑑み日夜不斷努力して居る次第だが今後は更に一層周到な注意と不撓不屈の精神を以て小にしては南洋各地に大にしては南方共榮圈建設の爲めに奮闘し、當社に與へられた國家の期託に副應へし度いと念願して居る次第である(完)【寫眞は加藤社長】

閣議で援助に決定

オイルシエールの生產強化

【東京發同盟】燃料國策の確立を目ざす滿鐵撫順炭礦オイルシエールの生產は現在西製油工場に於いて相當大規模に操業されて居り、又東製油工場も既に昭和十四年度以降建設に着手されて居るが二十七日の定例閣議上[illegible]滿洲事務局總裁より最近に於けるオイルシエール生產の狀況及び見通しに就いて說明「最近に於ける液體燃料需給の狀況に鑑み右東製油工場の建設工事を至急完成する必要がある」旨を強調、松岡外相よりも戰時體制下の經濟に基いて補足說明があり政府は結局右工場の急速完成を圖るためこれに要する資材の配給及び資金の調達等に關し一層積極的援助を與ふべき事を正式決定、今後極力努力を拂ふ事になつた

高砂化學工業

九分配當可決

[illegible]高砂化學工業株式會社(資本金二百五十萬圓、拂込[illegible]二万五千圓)は本月[illegible]臺北市[illegible]の工場事務所[illegible]同社は昭和十二年から香料を製造する外、[illegible]を主原料とし合成香料を製造し以て國內需要の約三分の一を賄ひ居り尙其他大湖に產する香水茅即ちシトロネラ油を內地と第三國に移輸出しつつあるが最近佛印と泰國から香料其他の引合があり同社では南方發展の機運に乘じ社業の積極的進展を考慮中である

臺灣油脂總會

七月から石鹼製造

臺灣油脂株式會社では三十日午後四時市內綠町三丁目の同社で第四回定時總會を開催、昨年十二月より本年五月に至る損失金處分案と取締役監查役全員任期滿了に付改選の件を附議する由、同社は昭和十四年八月日本油脂と東光株式會社の共同出資で創立、新東光の工場を改造して專ら石鹼製造を開始したが、原料硬化油の移入困難を缺き前期までに二万二千圓の赤字を出し當期も原料難の爲め殆んど作業を休止したので引續き一万二千圓の赤字を出し合計三万四千圓の缺損を後期に繰越すこととなつた、目下日本油脂を通じて朝鮮から硬化油の供給を仰ぐべく交涉中であるから不日には石鹼製造を開始し得る模樣で取敢ず內地からステローを移入し之に島產のパラピンを加へて七月から石鹼製造を開始することになつてゐる

七月一日實施

華中向け圓爲替聯銀集中

外貨轉換性ある奧地物資等に適用

【北京二十七日發同盟】華北に於ける圓爲替決濟强化對策の第一着手として興亞院華北連絡部では豫て華中向け圓爲替の聯銀集中を斷行すべく準備中の所、愈々來る七月一日より左記のものにつきこれを實施に移すこととなつた

一、外貨轉換性を有する奧地產出物資は從來青島又は天津經由外貨建で海路移出せしめてゐたが右の內陸經由對中支移出を有利とする物資の移出の場合

一、華北、華中交易協定に依る石炭、鹽、葉煙草等の移出の場合

一、駐支財務官承認の特殊圓爲替の場合

而して今回の措置に依り徐州、蚌埠等對華中接壤地區の落花生油、桐油等の土產品は今後その大半が陸路華中に移出されることとなる

南洋協會總會

【東京發同盟】財團法人南洋協會では二十七日夕日本工業俱樂部で定時總會を開催、兒玉副會長以下會員、來賓約二百名出席、會長近衞首相を總裁に推擧すると共に副會長兒玉秀雄伯を會長に、理事長林久治郎、[illegible]一郎兩氏を夫々副會長に選任した

府專賣局

空壜回收に大惱み

回收機構に頭をひねる

[illegible]の供給は最近逐々低下の一途を辿りこれに對し新瓶の補充として本年度中黃色瓶千四百八十萬本、水色瓶三百三十萬本計千八百十萬本の豫定も可成り困難なく必要とする古瓶八十八パーセントの[illegible]酒類統制會社の手に對し本年度出荷豫定率は昨年の實績より見て五十六パーセント程度に過ぎない狀態である當局では之が對策として回收機構の統制或は全面的なリンク制の實施等に研究を重ねてゐるが古物商の生活を脅かす點も考慮して之が實現は相當困難の模樣である

本島向け專賣用品

內地の移出共販會社が一元取扱

【大阪發】大阪及東京の專賣用品移出業者が綜合しこの程日本專賣用品移出共販會社を設立、去る十三日創立總會を濟ませたが各會社に於ける專賣用品一切を同會社の手を通じ移出することになつた、而して移出された品物は臺灣專賣用品配給會社に一元的に移出されることに成り將來の專賣用品の配給は內地同移出共販の設立により島內配給會社と相俟ち完全に統一されることに成つた

日本證券投資豫想に反し

半額增資の上存續に決定

【東京本社特電】全國株式取引所關係者を以て組織してゐる株界機關たる日本證券投資會社(資本金二千萬圓)は過般日本共同證券會社設立に伴ひ解散を豫想されてゐたが取引員間に存續を要望する者多く最近商議の諒解を得たので二十六日重役會を開き愈々半額增資の上存續することになつた

金並にその處分方法次の如し

利益金　六七、六八八(圓)

その處分

法定準備金	五、五〇〇
別途積立金	三、〇〇〇
從業員退職手當基金	四、〇〇〇
役員賞與金	四、二〇〇
株主配當金	四三、七五〇
創業費償却金	三、三五〇
後期繰越金	三、七二三

自動車用品商組

聯合會臨時總會

機構改革新發足

臺灣自動車用品商組合聯合會では今般自動車修理用部分品の統制規則に基きその內容を改組し全國自動車部分品工業組合聯合會の本島受入機關として新に發足することとなり二十八日午後四時より臺北市公會堂に於て之が臨時總會を開催することとなつた

即ち同聯合會は從來組合相互の連絡に當る程度のものであつたが今回機構を改め、從來各小賣業者が思ひ〳〵に內地より購入してゐた自動車修理用部分品を今後は同聯合會に於て一手買入れを行ひ、これを各州の部分品商組合を經て小賣業者へ當てることとなる譯である

日本砂糖卸商組聯合會

糖價適正化を要望

【東京本社特電】全國砂糖卸商組合よりなる日本砂糖卸商組聯合會では砂糖の公定價格引上げは業者の死活問題なりとし豫て公定價格引上げ方を强硬に當局に折衝してゐるがその理由とする所は

一、現行公定價が卸商、小賣業者當時決定されたものでその後小賣配給の中止、引取運賃の騰貴による負擔の增加、取扱數量の減少、包裝材料の低下による缺損、蒐集回收の責任及び營業費の增加等當時の情勢と現在とは相當の變化があるので公定價格の引上げを行はねば單に配給業者の利潤の問題以外に增產促進の見地からも緊急の急務であるとなし、萬一生產價格が現行のまま釘づけにされるならば生產者に與へる精神的打擊の方が寧ろ深刻であり惡影響を及ぼす怖れがある

二、假に增產に必要なる肥料、勞力等が具備されても非協力的に傾く事は必至と見られるに至つた

三、卸商側ではその應急的措置として生ブロツク別單一價格を目標とする「プール運賃計算法」を考慮したが同案は船腹不足その他の理由で至難とされるに至り取敢へず中央集荷の建前から全國的に段階的に價格を定める配給業者の利潤を一定として其れを基準に各府縣が實際の引取運賃を認めると云ふ方法を取つたならば全國的に均衡を保ち得るものと見る向きが多い、又それには加工向けと家庭向けの二種の價格制を設け、加工業者の利潤を調整し合せて增產資金の捻出をも容易に實現し得るものとの見解を持つてゐる

臺灣硝子初總會

臺灣硝子會社では二十七日午前十時より本社會議室に於て第一回定時總會を開催、赤司社長不在のため近藤專務取締役より創業以來八ケ月に亙る營業報告あつて役員承認を原案通り可決、同十時半終了した、因みに同社本期に於ける利益[illegible]

東京市中コール

【東京特電】

	安値	高値	標準
翌日物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
月越物	[illegible]	[illegible]	[illegible]

日銀帳尻

(單位千圓)【東京特電】

發行高	[illegible]
預金	[illegible]
貸出	[illegible]

商況(廿七日)

株式 情勢見透難で氣迷

兜町後場況

【東京發同盟】東株は情勢見透し難く氣迷ひの姿で閑散な場面を示して居り短期新東は百十五圓五十錢と同事に寄付十五圓六十錢を高値に四圓九十錢を安値に引け長期東株も新舊一、三十錢方小甘くその他は北樺太石油一圓二十錢方を中心に[illegible]大阪商船、東洋[illegible]

北濱展望

【大阪發同盟】綿布の契約減に刺戟されて紡績人絹株は輸出貿易の活況と共に極めて堅調を辿り一般に人氣は明朗化してゐた、これを眺めて短期東新も一步引戾し步調を見せ百十五圓九十錢とテト東京の下韻に伸びず底堅い的場を終つた

東京長期後場

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

絲況

[illegible]

株界 財界

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

コインベルト
コインVベルト
コンベヤーベルト
株式會社 東海護謨工業 本社四日市
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・京城

萬年筆用
ライトインキ
眞摯敢鬪!
五十八年、世界インキの最高地位を占めた ライト!!
天下一品!一家一瓶!

中央公論
7月号☆事変四周年特別編輯☆1円20銭

特輯 現地報告 事變の現實と打開
事變の世界的意義　杉村廣藏
國民政府と民族主義の再建　小岩井淨
事變と重慶抗戰體制　伊藤武雄
大陸經濟と統制經濟　千葉成夫
日華經濟合作南京座談會

轉機に立つ國際情勢と東亞　尾崎秀實
事變の根本原因と解決目標　馬淵逸雄
興亞國民運動の世界的使命　金內良輔
蘭印經濟の特質と工業化の問題　山田文雄
戰時下世界市場とインド　岡崎三郎
日ソ通商協定の國際的影響　中山貞雄
國體論序說　橘樸

三木清・口田泰・關口泰・菅井準一 (?)
物價政策再建の方向
官界新體制と監察制度
科學動員の基礎

アメリカの肚　松本重治
トルコの動向　岡本　鶴見
チエンバレンの新標的　杉本健
建艦鬪爭の新　伊藤安二
英米の動向

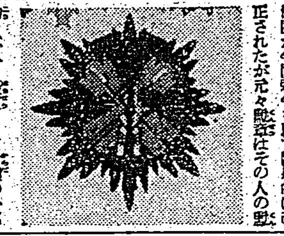
汪兆銘 思述
特輯寄稿

戰時下國民生活の諸問題
☆食糧對策の再檢討　助川啓四郎
☆住宅問題の展望　丸山幹治
☆交通調整私觀　島田孝一
☆學生生活調査　海後宗臣
☆國民生活費の檢討　草間良男
南畫を描く話　中谷宇吉郎
日本科學者傳 宇田川榕庵　木村泰之

文藝批評について　除村吉太郎
鬪の白河 地方の表情(5)　島木健作
尾上菊五郎對談記　三宅周太郎
伊藤左千夫の歌　齋藤茂吉
創作 淋しき生涯　志賀直哉
土 或日の水間部隊長　上田廣
作 鈴　火野葦平

特別附錄 事變以後 政治經濟思想史　堀眞琴　土屋一溝　三枝博音

輝く金鵄勳章物語
明治廿三年紀元節に制定



【東京發同盟】武勳を嘉せられる畏き大御心から將兵並に軍屬に賜はる金鵄勳章につけられる年金の制度が今回勅令を以て臨時的に改正されたが元々勳章はその人の武功を稱へる表徴として榮譽の一部を飾つて國民に敬意を表させるために下賜されるもので、その勳章と俸給とは出發點を異にし諸外國の例を調査しても有名な勳章國英佛兩國にも勳章年金は附加されず佛國の如きは同國唯一の勳章レジョン・ドヌール章を貰ふに五法乃至二十法を賞勳局に納入すると云ふ逆の例もあり僅かにソ聯のみ革命後一時廢止した勳章制度を復活させてレーニン勳章、赤旗勳章に二十留乃至二十五留附くのみである、我國の勳章の種類は大勳位に敍せられた者に賜はる大勳位菊花章頸飾り同大綬章、一般の功績を顯した者に賜はる旭日章、功勞のあつた者に賜はる瑞寶章、婦人に賜はる寶冠章、文化に貢獻した者に賜はる文化勳章等があるが金鵄勳章は武功殊勳ある者に與へられる武功勳章で明治二十三年紀元節を卜して制定せられたがその際畏くも詔書を賜はり金鵄勳章制定の深き聖旨を示し給はつた事は國民學校國定教科書にも載つて廣く知られてゐる通りである、金鵄勳章の初敍及び身分に依り定められた最高の等級は階級に依つて左の通り定められてゐる（括弧內は最高等級）

佐官　功四級（功二級）、准士官　功六級（功四級）、下士官功六級（功五級）、兵　功七級（功六級）

但し武功抜群な者には初敍の例に依らず一等上級の功級に敍することも出來ることになつてゐる、上海事變の際の爆彈三勇士は初敍で功六級に敍せられ今事變下も幾多の武勳勇士が一級跳んで初敍せられてゐる、輝く功一級を賜はつてゐる人は總計十三人だが中でも現存者はシベリア出兵の大井成元、滿洲事變の本莊繁の兩陸軍大將がある【寫眞は功二級の金鵄勳章】

今次支那事變では
十萬餘名が賜はる

【東京發同盟】大和男子最高の榮譽金鵄勳章が制定されて五十一年、この間我國は日清戰役をはじめ北清事變、日露戰役、シベリア出兵、第一次歐洲戰爭から降つて滿洲事變、上海事變と膨脹する國力と共に偉大なる御稜威の下、新しき東亞の秩序目指して外敵と矛を交へて來たが此間彈雨硝煙を冒して戰場を馳驅して或は斃れ或は傷ついた英靈勇士も數へると幾萬、畏き邊りからその武功を嘉せられ金鵄勳章年金を賜はつた者は日清戰爭約二千一百名、北清事變二百名、日露戰爭約十萬九千六百名、日獨戰爭約三千名、シベリア出兵約四千八百名、濟南事件約七十名・滿洲事變約九千名合計約十三萬名、內生存者は約六萬名、今次支那事變では我國創始以來の大戰爭だけに廣大な大陸の北中南支全域の陸海空に亙つて幾多勇無雙の大和魂を誇つた勇士達の輝く勳功も頗る多くこれら武勳を賞でさせられて賜はつた金鵄勳章拜受者數は今日までに既に過去七つの戰役事變總計と略同數の約十萬七百餘名に及んでゐる

火の波に醉ふ島都
歡喜の日の悅びは夜まで續く！
志願兵制度祝賀の行事

夜色が漸く深み行く頃の二十七日午後七時五十分新公園を中心に集まつた提燈の火が赤く浮き上る、要の志願兵制度實施祝賀會、分列行進、旗行列に參加した島都市民の

歡喜 は夜に入つて一層烈しくなり、渦卷く歡喜となつて盛り上つて行く、長谷川總督以下總督府各局長、各部局長も手に手に提燈をもつて總督府表玄關に行列の到來を今や遲しと待ち構へる、午後八時夜の空に轟き渡る三發の煙火を合圖に各町村市長を先頭とする學生團の行列はブラス・バンドに合せ「愛國軍の歌」を高唱して新高堂前を出發、總督府表玄關の廣下に至つて天にも屆けとばかり萬歲を三唱すれば、總督以下の各文官も提燈を高く掲げていちいち之にこたへる、寫眞班のフラッシュが一齊に閃く、行列を見んものと街路の兩側には

人垣 が築かれ、提燈に赤々映し出された顏・顏・顏は無限の喜びに輝やいてゐる、プルシャンブリューに暮れて行く夕空を背景として赤一色の灯の流れは餘りにも鮮やかな感謝だ、萬歲を唱へる度に提燈は亂舞――亂舞――しながら流れて總督府を右折、八時十五分には法院前を通過して行列の先頭が軍司令部正門前に逸早くも到着した、和知參謀長以下の各將校に今日の喜びと感謝を籠めた萬歲を三度送る、軍司令部前の三線道路には嘗て支那の大陸に赫々たる武勳の負傷をして陸軍病院に療養中の白衣の勇士の一隊が何れも提燈を掲げて

行列 を迎へ送る、この勇士にして感激の一際烈しいものがあるのだらう、行列は期せずして白衣の勇士の前に高く萬歲を唱へるのだ、光の綠流な流れは平常は綠色に涼しい三線道路を赤一色の歡喜に染め變へて海軍武官府に至り、酒井武官以下の將兵に敬意を表した後、市役所社會課長及び水道市役所課長に引率される東北、城北方面の一隊は三線道路を北進、赤嶺市社會課長に引率される城東方面の一隊は三線道路を東進、更に高田市秘書課長、宮永市衞生課長に引率される城內、城西方面の一隊は帝大醫院前を經て

公園 內道路を通過、城西地區の防護隊は總督官邸前を經て第一師範學校に沿ひ、各隊隊毎に行進隊路に沿ひたが、歡喜に醉つた長蛇の列は繁華街を夜更けるまで賑はした

基隆でも提燈行列

【基隆電話】志願兵制度施行を祝する二十七日の基隆市は全市民感激の渦に卷かれたが、同夜は午後八時より祝賀提燈行列を行ひ、全市は歡喜と感激との火の海と化し感激の一日を終つた

北區長聯で祝賀會

臺北市北區區長聯合會では志願兵制度實施決定を祝つて二十七日午後四時から祝賀會を開催した

我等は身をもつて皇國に報い奉らん
魁挺身隊員八十一名の志願書

志願兵制度實施發表と同時に世界に冠絶する皇國日本の軍旗の下に吾等も一兵卒たらんとはち切れさうな志願兵熱を抱いて個々軍當局に申出でつつある本島人青年に對し軍當局は堰を切つて落された決意を眉宇にみせて石田臺北憲兵隊長から力強く次の如き激勵の辭を受けた

先般高雄州にも志願兵制が實施される事になつたが其以前から魁挺身隊諸君が率先隊式訓練をなし極めて優秀なる成績を擧げてゐる事を早くから承知してゐる、その諸君が率つて今日志願熱を表示した事は私としても襟を正して敬意を表すると共に今後全島擧つて斯の如き熱誠溢れる志願を喚起される事を期待するものである、自分も全力を擧げて支援を惜しまぬものである

次いで森井臺北憲兵分隊長は諸君の大部分とは初顏合せであるが、熱のある訓練と其功績と思ろに激勵の辭を與へた、終つて隊長は

二十四日に結成して今日迄四日間に八十一名から志願を依頼された、まだ／＼續々出て來ます魁挺身隊の責任は今後一層加重されました、といふのは目標が明示されましたので從來の隊則は國に承つてゐる、此國に先に全員が念願した事は實に何たる哉と思惟する許りでなく天晴れと感激してゐる、與へられたその器を以てするならば必ず力と氣力を以てするならば必ず立派な帝國軍人となり得ると思ふと同時に皇民鍊成も遂せられるわけである、やがて諸君が國軍の一兵士として御上のために報いる決心であるのである、隊員中年齡の關係で志願出來ない者もあらうが併し其者は次の志願者を育て上げる事に努力されたい

赤誠の志願書

聖戰茲に五ケ年國家總力を擧げて東亞新秩序の建設に邁進するに當り計らずも本島に志願兵制度の實施せらるゝに至りたるは偏へに一視同仁の大御心と拜察仕候、我等は身を以て有難き皇恩に報い奉らん事を固く誓ひ茲に皇軍の一兵卒たることを志願候也

昭和十六年六月二十七日

（寫眞は石田臺北憲兵隊長から激勵される魁挺身隊の志願兵志願者）

新竹州で自助會長會議を開く

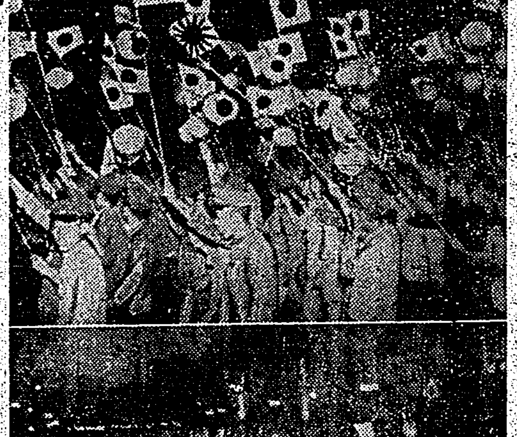
【新竹電話】理蕃課が特殊課に名稱變更の計畫があり高砂族も皇民として凡ゆる一大飛躍せんとしてゐる昨今新竹州理蕃當局では今般始めての頭目會議施設を立案中である、州下約九十社のタイヤル、サイセット兩族の自助會長（頭目）七十一名を下山せしめ七月十日午前九時から市內保甲修練所に於て

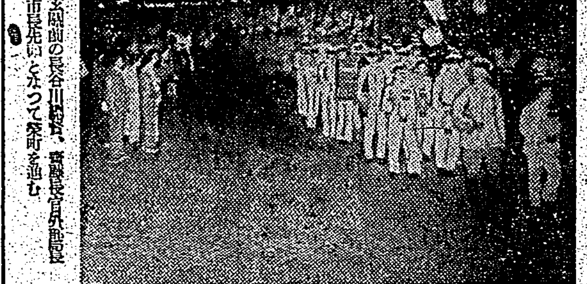
感謝罩めた獻金
陸、海軍に赤誠の波！

本島に於ける志願兵制度實施の發表に感激の坩堝に立ち上つた本島民擧げて感謝と感激の祝賀式が二十七日全島至る處で擧行されたが、この頁只中に更に新たな赤誠の至情が巨流の如く押し出し、本島志願兵制度實施感謝獻金が陸海軍に獻納されたが軍司令部には國防獻金として臺北市表町一ノ三四南方自動車會社社長原田作治氏他職員が感謝の一部を醵金した金三千圓を高田秘書課長代表で獻納され、これを筆頭に續いて、臺北市太平町三ノ二〇九榮合名會社代表陳清汾氏の一千圓、彰化代表大井市長の一百圓、臺北市太平町三ノ八謝火爐氏一百圓、また恤兵金として臺北市表町一ノ三四南方自動車會社社長岩井治氏の一百圓、同港町三ノ四一德山忠正氏百圓、同太平町二ノ八四古川秀夫氏の五百圓があつた、海軍武官府には國防獻金として臺北皇民奉公會委員黃火爐氏が志願兵制度實施の感激を籠めた手紙に副へて一百圓、その他數ある、陸軍大佐長知勝商門氏の令息長知勇氏の五十圓、東洋工業會社社長王超英氏五百圓があり、陸海軍部共にこの佳き日に於ける烈々たる島民の赤誠奉公には頗る感激してゐる

海軍へ赤誠の獻金
五月中に三萬六千餘圓

無敵誇る太平洋、南洋の太陽に燃え立つ南支那海に敢然と帝國の生命線を護る無敵海軍のつはもの達に捧げる六百萬島民の赤誠獻金は續々と馬公要港部に臺北海軍武官府に寄されてゐるが五月中の國防獻金は總計三萬一千五十九圓四十四錢、恤兵金一萬五千五百三十五圓八十八錢、その他慰問袋、白衣の勇士慰問等多數あつた、同五月は聖戰下に四度目の海軍記念日があり記念獻金者が多かつたことは注目される





喜びの提燈[illegible]列島都を練る

南方同胞の現地懇談
來る九月臺北で開かる

【東京發同盟】紀元二千六百年奉祝式典參列の海外同胞代表の要望に依つて今秋誕生した海外同胞中央會では來る九月臺北に南洋方面を主とした海外在留同胞を集め、「南方同胞現地懇談會」を開催することとなつた、既に海田吉治郎海軍中將を委員長とする準備委員會も組織され、今村事務部長が臺北に赴いて大體の打合せを終へ、目下外務、拓務兩省始め關係方面とも協力着々準備を進めてゐる、懇談會の日取は未だ決定しないが五日間に亙つて行はれ、海外同胞や第一世達の母國における歡びの家とも言ふべき「海外同胞會館」の建設を始め、海外同胞を打つて一丸とした統制機關の組織ゆる問題が取上げられる豫定である

白仁部長蕃地へ

【新竹電話】新竹州白仁警務部長は最近開設された高砂族修練所視察を兼ね二十八日より五日間の日程で竹東郡下蕃地を視察する豫定

報國青年挺身隊
新竹州で男女青年で組織

【新竹電話】志願兵制度實施に鑑み本島人の精神訓練に拍車をかけるべく新竹州當局では種々計畫を進め現に青年修練所で女子修練所を修練したものは男女合せて三百名に上つてゐるので之を以て報國青年挺身隊を組織、本島青年の中核分子たらしめ女子には、婦人として覺悟を固めさせる上に軍人の妻として母としての心構へを說いてゐるが大體左の如く計畫が成つた

一、全島に誇る施設たる州立青年修練道場は近く工事に着手されるが州立一ケ所では不充分なりとして各郡に神社を中心に各一ヶ所の錬神道場を設け錬神の道による猛訓練を開始させる

一、新竹神社を中心とする錬神道場は近く工事に着手されるが

一、未來の青年たるべき本島人國民學校兒童に制度の趣旨を徹底せしめ眞の日本人としての教育を爲すは此際なので二十八日開催の國民學校長會議で志願兵制實施に伴ふ今後の教育方針について決議する

全國神社で[illegible]祓を嚴修
一億國民をして參拜せしむ

【東京發同盟】聖戰四年を迎へ國際情勢の緊迫化に國民の緊張一段と要求される時に我國古來の行事大祓を振起してこの重大時局を乘切るべく神祇院では全國神社で大祓を嚴修し國民多數を參拜せしめ會社、工場等ではその職場で適當な方法で大祓を行ふやう地方長官宛通牒、發した、大祓は我國古來の國民的神事で六月三十日と十二月三十一日に行はれ、宮中に於いても節折の儀並に大祓の儀が行はれ、大祓は神前に於いて祓物（人型に切つた紙等）に一身の罪穢を移してこれを川上に流し清い精神となつて新たに發足するもので、六月三十日の夏越の大祓は「夏越の祓」と云つて、百人一首にも詠まれて民間にも馴染まれてゐたのであるが、一時衰微し、明治の御代になり明治天皇の御思召で復活し爾來年毎行はれて來てゐるのである

好な機會な行事である支那事變四周年の記念日を控へ國民の緊張が一層必要な時、大祓でこの半歲の罪穢を祓ひ去つて御奉公の新發足の機會としたい、一億國民は當日出來るだけ神社に參拜して大祓を行ひ、會社、工場では神官を招じて大祓の式を行つて貰ひたい

飯沼神祇院副總裁談　國民精神を一新するには恰

親日使節の役も帶び
若人ら南方視察
高雄商業生徒ら比島方面へ

州立高雄商業學校長河合團氏は同校の訪比學生視察團の打合せのため二十六日來北二十七日夜行で歸高したが、同氏は朝日丸で訪比學生團に就いて左の樣に語つた

臺北に來たのは本校生徒三十五名が私と職員二名に引率され七月六日の便船で比島に行く打合せだ、太平洋の波が高いので豫定が變更されるのではないかと思つてゐた、然し比島移民局長の肝煎りで種々と特別の便宜が計つて貰へることになり約四週間の日程でマニラ、セブ、ダヴアオ、バギオと見學出ることになつた、視察團員中ダヴアオ出身が二名も居るから郷里の親達も喜ぶことだらう、皆南進青年で將來は彼地で大に活躍したいと志望してゐる者だから普通の見學團とはつた處がある、現地からは求の要求があるからこの青年達に飛躍の機會を與へられ比島は日米戰爭に恐れてゐる樣だが在留邦人は最後まで頑張る決心でゐるから頗る心強い、婦女子の引揚げて來るのは多いが今日本人が後退しては駄目だ商業方面でも犧牲を拂つてやるつもりでどしどし平和的進出を繼續すべきだ、比島人は戰爭を回避してゐるまた同地の米國人も參戰を喜んでゐない、この現はれは我々の訪比である、からこの際極力比島人に親日感を與へ東亞共榮圈建設の日本を理解させたいと思ふ、それから本校では南支南洋方面に父兄を持つ邦人子弟七十一名に南方派遣金を與へて勉強させてゐるがこれも追々と增加する模樣で南方發展青年の多くなることはこの上ない喜びだ（寫眞は河合校長）

新竹で記念講演會

【新竹電話】二十七日の新竹市に於ける特別志願兵制度實施記念講演會は午後八時より公會堂に於て開催され張來福、張式穀、許媽爐、曾野秀雄、朱盛淇、谷口州兵事課長諸氏壇上に立つて熱辯を揮ひ堂を埋めた、青年學校生徒、州下青年團員を始め一般市民は聽衆で立錐の餘地なき盛況であつた

喜びの日に慰問團
「行軍司令部へ

志願兵制實施の祝賀一色に包まれた二十七日、喜ばしき生徒團の一行列が續々と軍司令部を訪問した

時局認識に資する座談會を開くが、その內には志願兵制についても忌憚なき意見の發表を行はしめる豫定

て戰線に送つてゐる時、陸軍省情報部から南支方面へ派遣される皇軍慰問團、淡水の杉ときみ、林淡作さん、新興キネマスター瀧野薰子さん、浪曲家波雲さん、同菊子さん、曲藝師三味小僧、丸一小僧、大丸小民さん、ポリドール專屬歌手長週子さん、アコーデイオン山路茂夫さんの一行が挨拶に現はれ、軍報道部の肝煎りで見送る南溟の歌と踊りを仕入れて歌へとこみ〃これで南支軍を慰問して來ます〃と張り切つて歸つて行つた（寫眞は訪づれた同慰問團の一行）

臺北春競馬第四日

臺北春競馬第四日目は二十七日午前十一時から北投競馬場で擧行、成績左記の通り

△一回速歩二千六百米（九頭）1ハツヒメ（安武）七分十秒四、2ホクスイ（村井）3アネツプ（文村）單七圓九十錢、複五圓四十錢、七圓、八圓

△二回抽百千六百米（十一頭）1タカミネ（設島）1分五十四秒、2ブレヤキング（濱野）3イケヅキ（原田）單八圓七十錢、複四圓二十錢、十二圓九十錢、六圓七十錢

△三回抽新千六百米（六頭）1カズハル（濱野）一分五十九秒一2イ1グル（石田）單五圓五十錢、複五圓六十錢、二十六圓三十錢

△四回速歩三千六百米（九頭）1ビンヒメ（文村）七分十九分、2ダ[illegible]

△五回呼內（十國以下）千六百米（十一頭）1エメノツユ（外間）一分五十一秒、2ハクシユン（金子）3タマヨシ（山田）單三十八圓、複八圓一十錢、六圓、十八圓二十錢

△六回呼丙千六百米（十一頭）1ゼンセカイ（石田）一分五十一秒、2ミストーヨー（越）3ヤマヒロ（高山新）單十六圓七十錢、複七圓五十錢、六圓五十錢、六圓六十錢

△七回抽古千六百米（十頭）1アジヤキング（金子）一分五十四秒四、2ガイフウ（齋藤）3パウニカツ（平井）單二十八圓六十錢、複七圓十錢、五圓十錢、七圓十錢

△八回呼馬障礙二千米（七頭）1アワジヒメ（江）三分三十秒六、2イエク（石井）3ストロング（伊藤市）單十二圓七十錢、複五圓九十錢、五圓五十錢、九圓十錢

△九回呼丙千六百米（十一頭）1カイモン（阿部茂）一分五十秒、2フエキ（金子）3テツオード（設島）單三十二圓五十錢、複七圓七十錢、十四圓二十錢、六圓七十錢

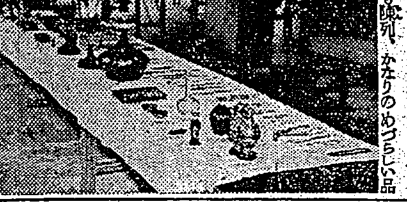
△十回呼馬障礙二千米（七頭）1フクスイ（吉川）二分二十九秒四、2トリーゼン（越）單二十四圓七十錢、複十圓、五十錢

△十一回呼乙千六百米（十三頭）1ヤマイト（日笠）一分四十八秒二、2トヨコマ（牟田口）3キンコン（阿部茂）單十一圓十錢、複六圓十錢、六圓七十錢、六圓七十錢

△十二回呼甲千八百米（十二頭）1コメツトホース（桃本）二分五秒、2アヅマユタカ（宇治野）3フエアプレー（設田）單十四圓三十錢、複六圓二十錢、十七圓十錢、六圓七十錢、マスミ（阿部茂）單三十九圓四十錢、複八圓六十錢、六圓

趣味同人展

趣味同人會では二十八、九の兩日午前九時から午後五時まで、市公會堂に於いて「節子ものの展覽會」を開催するが乾隆窯、切子水差、南京玉、和蘭ランプ、埃及トンボ玉、高砂族トンボ玉、笄、硝子皿等の各種硝子ものをはじめとし、盃、簪、莨子鉢、盆等の七寶物も陳列、かなりのめづらしい品もあるから好事家には喜ばれるであらう（寫眞は會場の一部）



來るか颱風

いよいよ南の名物颱風の季節が訪れた、早くもこの空の警戒颱風の走りが去る二十四日內南洋ヤップ島附近に發生し次第に發達し現在ではルソン島東部海上を進行中であるが二十七日午後六時現在臺北觀測所の觀測では颱風がやつて來た際だがこれは七三八ミリで一寸強い、時速二十キロで北西にルソン島東部海上から向島を掠めて行く模樣だが、本島はまだ直接の影響はない心配はないが、然し南部方面には海上警報を出した、颱風の通路が變り本島に萬一接近する危險があれば直ちに沿海警報を出しませう二十八日の天氣は北東部は晴中南部は曇りで孰れも夜驟雨があらう

沿海警報

（廿七日午後八時三十分臺灣總督府氣象臺發表）天候不[illegible]

南光美術展
けふから鐵道ホテル

本島出身の新人作家吉川義光、中野洋、吉澤初蔵、野田正明、岸田高、千葉衞の諸氏に依つて結成された南光美術協會主催の第一回作品展が二十八日より二十九日に亙つて臺北鐵道ホテル階上で開かれることとなつた、陳列作品は六十一點で孰れも力作揃ひで特に岸田氏の海南島、廣東、佛印の從軍作品は注目すべきものがある（入場無料）

自轉車屋さんの公休日變更

從來南警管內自轉車商組合では月二回の公休日には一齊に休業してゐたので利用者に不便がられてゐたがこれが適當な方法を講ずるため二十六日午後一時から本町日米商會の組合事務所に管內十七組合代表者が參集、南署より交通係員が臨席し寄々協議の結果七月からは各自轉車營業者を單位に公休日を甲乙に分けて休業せしめ市民の便宜を圖ることとなつた

全島水上競技の要項

第十六回全島水上競技選手權は來る七月十九、二十兩日臺中市營水泳場に於て擧行されるが要項左の如し

△種目男子の部（十二種目）自由形　一〇〇、二〇〇、四〇〇、八〇〇、一五〇〇、背泳　一〇〇、二〇〇、平泳　一〇〇、二〇〇、繼泳　二〇〇、八〇〇、三〇〇混

女子の部（十種目）自由形　五〇、一〇〇、二〇〇、四〇〇、背泳　五〇、一〇〇、平泳　一〇〇、二〇〇、繼泳　二〇〇、三〇〇混

△制限　一人二種目、繼泳を除く（繼泳の申込は各種目六名迄申込む事を得）

△參加料　一人一圓申込書に添付

△申込　七月十五日正午限臺灣體育協會府內臺灣總督府文教局內「水泳選手權」と朱書

△本競技に於ける參加者の成績を日本水上競技聯盟發表の昭和十五年度十傑と比較し最高順位者は次回本會主催競技會迄の名譽を有す

尚本大會終了後總務委員會を開催し本年八月福岡に於ける全國中等學校並甲子園に於ける全國女子中等學校各選手權並に神宮水泳大會に於て行はれる全日本選手權へ派遣する臺灣代表選手を詮衡推薦する筈

集れ雛鷲志願兵

【東京發同盟】陸軍の少年飛行兵東京陸軍航空學校生徒の募集は目下全國で行つてゐるがその募集ポスターが出來上つた、このポスターは近く全國に配布七月七日事變記念日を期して街頭に出し空を夢見る少年に呼びかける、今年度の募集は年齡十五歲以上十七歲未滿で體格小學校程度の學力を有する者、募集締切りは十月卅一日詳細は陸軍航空本部、各聯隊區司令部、各市町村役場に問合せる事

世界一のキンパイクレシン

高砂丸

ラジオ

（…）國民保健體操　【六・四〇】…

けふの天氣

臺北地方　東の風晴曇

△北部地方　東の風晴…

最高　三三・七（午後二時）

最低　二三・五（午前六時）

（淡水氣象臺觀測）

第九拾壹回決算

陳榮源

榮裕茶行

大日本製糖株式會社

（萬安なかだち）

看護婦

保姆

齒科醫招聘

事務員採用

貿家

新築貿家

讓店

賣家

電話賣物

電話・債券

大阪商船

南日本汽船

日本郵船

辰馬汽船

東亞海運

大連汽船

會葬御禮

守矢正雄

親戚一同

ダンダンは風の妙藥

發賣元 信生堂藥舖

臺北市京町

大木合名會社

大阪市東區

同 支店

◇各藥店にて販賣す◇

家

の月拂を
御利用に
なつて……

樂しい我が家を
御建て下さい。

（營業案內贈呈）

常盤住宅株式會社

臺北市千歲町二ノ二

電話 …番

臺南出張所

高雄出張所

故陸軍步兵少佐正七位　小林博敏殿

故陸軍伍長　矢野三郎殿

故陸軍兵長　大久保利夫殿

故陸軍兵長　湯德三雄殿

故陸軍兵長　江島岱治殿

故陸軍一等兵　千原又造殿

故陸軍技手　高橋千歲殿

故陸軍軍屬　木村豐殿

故陸軍軍屬　石田石太郎殿

故陸軍軍屬　石野正吉殿

故陸軍軍屬　大中道昌純殿

來ル六月三十日午後三時ヨリ臺北公園ニ於テ臺北市支那事變戰歿者葬儀執行ス、付テハ一般市民ノ參列ヲ希望ス

昭和十六年六月二十八日

臺北市支那事變戰歿者葬儀委員長

臺北市長　藤村寬太

●齒痛に頭痛はガオガンに限る●

臺北春競馬

六月　廿八日（土）　廿九日（日）

於 北投新競馬場

主催 臺北州畜產會

齒科 澁谷齒科醫院

臺北市新起町一ノ二

急募

一、男事務員

一、タイピスト

一、電話交換手

日本糖業聯合會臺灣支部

砂礫供給請負者募集

一、中砂礫

一、頭砂礫

臺灣總督府交通局遞信部

各地綜合版

終身保險一萬圓の受取人を政府に
施行發表後直に契約

【臺中電話】六百萬島民多年熱望の特別志願兵制度施行決定を感激する一本島人が本島では未だ曾つて類例のない獻金美談―臺中市錦町三ノ三八施金豆さんがその美談の主で若かりし時は無頼の徒と交はり放蕩の限りをつくしたこともあるが、支那事變勃發直後翻然その非を悟りそれ以來は毎月三回今は亡き母親を偲び臺中神社に參拜、母とともに皇軍の武運長久並に戰歿勇士の冥福を祈りまた一方、國防獻金もこれまで數回行つて來、世上の人々からその改悛の[illegible]稱讃の的となり

激賞 を受けてゐたが、この度本島に志願兵制度が施行されるや、施さんはわが事のやうに喜びこの感激心を表現せんと去る二十四日午後[illegible]生命臺中出張所を訪れて終身保險一萬圓加入を申出で受取人を大藏省に指定、一ケ年掛込料四百餘圓をぽんと投げ出し社員を面喰はした、この美舉を聞いた記者が二十七日施氏宅を訪れその心境を叩くと

特別 かうして本島人永年の願望であつた志願兵制度が實施されたことは一視同仁の大御心によるものでこの皇室の御仁慈に對し万分の一の御報恩を致したいといふ微意から私の死後も生前同樣少しでも御國のために役立ちたいといふ氣持で今度の保險契約となつたものです、しかし今後も私が生きてゐる間はこれ以外に獻金は續けて參りたいと思つてゐます

と皇國臣民としての心意氣をみせて語つた

志願兵制度施行に感激
五千圓を匿名獻金
豫ての念願叶つた嬉さに

【高雄電話】志願兵制度施行の發表に沸き返る二十七日祝賀式舉行の朝九時頃大串高雄警察署長公舍を訪れ二十四、五歲位の一本島人青年が「僅かですが」と金一封を差出し豫ての念願である志願兵制度が施行される事になつてこんな嬉しい事はありません、我々本島人が今後心掛け次第で光榮ある帝國軍人として大君の御楯となつて國土防衛の第一線に起たして頂けるのも皆有難い聖旨に基くものと感激してゐます と述べ身分を一言にして名前も告げず立ち去つた、署長が封を切つて見ると金五千圓と云ふ巨額の金が出て來たので大いに驚き八方調査の結果、件の青年は市の山下町四ノ一四五番セメント商蔡萬頭氏の長男蔡萬霖(二三)と判明、同君の殊勝な心掛けに感心して早速國防獻金の手續きをとつた

[illegible]時局克服講演會 【臺南電話】[illegible]主催の時局克服講演會は二十六日午後八時から公會堂で開催、[illegible]中井中將[illegible]の支援と非常時局の克服と題して熱辯を揮ひ盛會であつた

志願兵制施行祝賀式
地軸ゆるがす歡呼
全島慶びの色溢る

高雄

【高雄電話】六百萬島民を感激と感謝の中に押包んだ志願兵制度施行の祝賀式は二十七日午前十時半日本晴れに晴れ渡つた壽山を仰ぐ市役所前廣場に於て坂口高雄州知事、要塞司令官、八幡部隊長等參列各官衙學校會社團體その他總動員の下に

嚴肅 盛大に舉行された、定刻國民行事の後式辭、旭青年學校生徒黃西自君の力強き宣誓、要塞司令官の祝辭、首相、陸相、拓相宛の感謝電文を[illegible]が朗讀、午前十一時ラジオを通じて全島に呼びかけた總督訓示の後軍司令官の發聲に和して高らかに萬歲を三唱、感激的な歡呼のうちに式を終了引續き市役所前廣場上において各學校、青年團、壯丁團の勇壯なる分列式を舉行、

大地 を踏んで步武堂々今ぞ銃を執つて國土防衛の第一線に起つ若人の感激たる意氣を昂揚、終つて旗行列に移り市內を一巡の後州廳前に到り渦巻く旗の波の中に萬歲々々の歡呼の聲を轟かした折柄飛來した陸軍機は低空飛行を行ひ祝賀ビラを撒布、上にも祝賀氣分を昂揚した、この日市內一般民家では各戶に國旗を揭揚して本制度の施行を祝福し沸き返る喜びの中に祝の日を送つた

第四部隊告別式
七月八日 同隊營庭で嚴修

【臺南電話】大陸に轉戰赫々の武勲を殘し華と散つた故朝田少佐以下〇〇柱の英靈を弔ふ第四部隊告別式は來る七月八日午後一時半から同隊營庭に於て瀧澤少佐委員長となり神、佛兩式により嚴肅に執行される

屏東 【屏東電話】屏東市の祝賀式は二十七日午前十時半から屏東公園で城戸部隊長始め官民一萬餘名參集して舉行、山下市長式辭、皇正勝氏宣誓、城戸部隊長の祝辭、感謝電披露あつて萬歲を三唱して閉式、次いで各團體の勇壯な分列行進あつて同十一時半終了した

嘉義 【嘉義電話】嘉義市の志願兵制度實施祝賀式は二十七日午前十時半より公會堂前廣場に於て中松市長以下官民約一萬人參列の下に舉行、國民行事ののち市長式辭、山下青年學校生徒竹下君の宣誓文朗讀、梅田市會議員の祝辭、感謝電披露、總督訓示あつて萬歲三唱し同十一時十五分閉式した後一時より市役所前廣場で市內約一萬人の生徒兒童の分列式が行はれてのち旗行列あり、空には祝賀飛行機が舞ひ全市は祝賀の一色に塗り潰された

志願兵制祝賀式(上は中壢街の祝賀式、下は臺北州海山郡三峽街における祝賀分列行進)

神社外苑で舉式

臺南

【臺南電話】志願兵制度實施祝賀式は二十七日午前十時半から臺南神社外苑で舉行、軍、官、民、男女青年團、各學校生徒一般官民五千名參加、那須市長式辭、一番ケ瀨知事告示、臺南第二青年學校蔡林明煌君の宣誓、宮本一聯隊長の祝辭及感謝電披露後軍司令官の發聲で萬歲を奉唱して閉式、續いて午後一時から神社前で勇壯な分列式があり午後八時からは提灯行列が催されて大賑ひであつた

中壢 【中壢電話】中壢街における奉祝式は二十七日午前十時半より興南國民學校校庭に於て佐藤郡守以下各團體、青年團員生徒、兒童等六千餘名參集、何れも皇國民たるの光榮と感謝に胸を躍らせ定刻宮城遙拜、國歌合唱、三上街長の式辭、青年團員代表の宣誓、渡邊州會議員の祝辭、感謝電報朗讀、總督訓示、最後に天皇陛下の萬歲を三唱して閉式、引續き盛大な旗行列を行ひ、中壢神社に感謝の參拜を爲し、正午は公會堂に於て官民合同の祝賀會を開催し午後一時半喝采裡に散會した【寫眞は中壢の祝賀式】

三峽 【臺北州海山郡三峽街】三峽街に於ける祝賀式は二十七日午前十時二十分三峽東國民學校校庭において舉行、引續き同所で小林街長が祝辭官となり、男女青年團、壯丁團並に三峽東國民學校兒童等の分列行進があつて後、全街民並に國民學校兒童等の旗行列に移り、最後に三峽公會堂に於て祝賀會を開催、午後二時よりは三峽川に於てボートレース大會の祝賀催し物あり、全街は祝賀氣分に溢れた

花蓮港 【花蓮港電話】花蓮港市の特別志願兵制度實施祝賀式は二十七日午前十時半から花岡山公園に舉行され參集者無慮一萬、國民行事に次で田中市長式辭、本島人側代表蔡根井氏宣誓を

朗讀 次にラジオを通じて長谷川總督の訓示があり富田市助役よりこの感謝電を首相、陸軍大臣並に拓務大臣に打電することを提案、賛文を朗讀して滿場の贊同を得、最後にラジオによる本間軍司令官の萬歲に唱和して十一時十分式を閉ぢそれより中等學校生徒の分列行進を行ひ引續き國民學校兒童、中等學校生徒は手に手に日の丸の旗を振りかざして市內を行進花蓮港神社前に到り天皇陛下の萬歲を三唱して正午過ぎ解散した、同夜は全市民よりなる提燈行列を舉行、花岡山公園から[illegible]の列を作つて

宜蘭 【宜蘭電話】宜蘭市の祝賀式は二十七日午前十時から同市國民學校綜合運動場で盛大に舉行された、軍隊を始め官衙、學校、官公署其他諸團體等六千餘名參列し島海市長の式辭、[illegible]君の宣誓文朗讀し、總理大臣、陸軍大臣、拓務大臣等への感謝電を可決したのちラジオで長谷川總督の訓示を聽取し最後に萬歲三唱あつて終了した、それより旗行列に移り樂隊を先頭に行進曲を高唱しつつ

市內 を練り歩いて意義深い祝賀式の行事を終つた

馬公 【馬公電話】特別志願兵制度實施の祝賀式は二十七日午前十時半より馬公國民學校に於て要港部司令官代理鈴木經理部長、川添郡守、山脇隊長その他各團體の下に舉行、[illegible]宣誓、[illegible]ところがあつた、夜は[illegible]公會堂で催し島民に多大な感銘を與へた

臺中

【臺中電話】臺中州における志願兵制度實施の祝賀式は二十七日臺中市ではこの日午前九時市內各學校生徒並に國民學校兒童のブラスバンドを

先頭 に手に日の丸を振り翳しつつ市內を行進、次で同十時三十分公園忠魂碑前にて各官衙長、中等學校、青年學校、一般諸團體約六千餘名參列の下に祝賀式を行ひ先づ國民行事に次いで臺中市長の式辭、[illegible]氏の宣誓文朗讀、松岡、張麗邦氏の祝辭あつて市長より首相、陸海軍大臣、拓務大臣宛の感謝電文を朗讀し續いてラジオを通じて長谷川總督の訓示を聽取したのち加藤醫務部長壇上に立ち本間軍司令官の發聲に和して陛下の萬歲を三唱、それより市內各中等學校、青年學校その他の分列行進を行ひ祝賀飛行隊飛行の爆音高らかの下、大正町大通りを

步武 堂々行進し、加藤醫務部長の祝辭をうけて正午終了午後五時から市公會堂にて市民八百餘名參加の下に祝賀會が行はれ夜に入つて各學校、諸團體の提灯行列が繰展げられた

臺東 【臺東電話】二十七日午前十時半から臺東國民學校校庭に於て[illegible]分列式あり引續き各團體の堂々たる分列行進を行ひ午後一時から[illegible]

本社高雄支局主催座談會 志願兵制を聽く(上)
私が駄目なら子を
廿六歲の林君意氣軒昂

本島統治史に劃期的一頁をかきおろした特別志願兵制度採用の發表は全島津々浦々に至るまで島民の感謝感激が爆發して本島は連日の如く感謝と喜びに沸き返つてゐるが殊に本島青年は"愈々吾々青年も一死奉公を盡す秋が到來したのだ"と誓ひを新に固め早くも志願申出づるものすらあるが本社高雄支局では青年男女及國民學校兒童らが如何なる喜びをもつてこの志願兵制度實施に感激してゐるか、また如何なる覺悟を持つてゐるかを叙すべく二十四日午後五時より高雄市東國民學校で座談會を開催した、

大宮記者―皆さん御存知の通り愈々十七年度より特別陸軍志願兵制度が本島に施行されることとなりました、すでに皆さんは感謝式を舉行したりして大いに本制度の施行を喜んでゐられますがその喜びに感じた今後の本島青年の覺悟等なんでも結構ですから皆さんの思つてゐることを遠慮なく話してもらひたいのです、一つ山田校長先生に司會をお願ひします

山田校長―感謝式は大變盛會だつたが一般的には非常に志願兵制度に對してどうかね、林君は一番年長だから話してくれないか

林君(男青)―皆な張切つてゐます、私は出征軍人を驛に送る時いつも感激しますが歸途につくと自分達はあの樣に身命をかけて御奉公出來ないのか、なんとか兵隊になつて皇國に奉公したいと思つてゐた、さうして感激した後なんとも云へぬ淋しさを感じました、ですから今回志願兵制度が實施されると知つた時自分の念願がかなつたやうな氣持で嬉しかつた

山田校長―林君はもう二十六だから駄目かも知れぬが志願したいかね

林君―勿論志願します、先程お話した通り前から兵隊になりたいと思つてゐたのですから私は現在三人の子供はあるが志願する戰地に行つても家族はなんとかなると思ひます、どうしても自分が駄目なら子供だけは是非將來兵隊にする覺悟だ

山田校長―[illegible]當時から志願兵制度を要望してゐた郭君はどうかね

郭君(男青)―或る時隊長が四ツ谷隊長に志願兵制度はいつ頃本島に施行されますかと質問したところ「隊長さんはそれは君達青年の向上如何による君達は島民の指導に積極的であらねばならぬ」と云はれましたが私はその時より大いに頑張つて早く本島に志願兵制度の實施される樣念願しようと思つてやつて來ました、で本制度施行發表の日はとても嬉しかつた、また今後は一層島民練成に努力しなくてはならぬと思つてゐる、

山田校長―女子青年團の方面では志願兵制度が實施されると知つたときどうでした

林暖(女青)―當日の速報ニュースで知りましたが私は本島人の青年も兵隊になるのだと思ふとなんだか胸が躍つてならなかつた私達も友達も皆喜んでゐた(續く)

(寫眞は座談會)

座談會出席者

東國國民學校(初等科)六年生 歐振添(一四)
同 謝玉成(一三)
同 松本秀子(一三)
同 蔡氏貴花(一四)
東國青年團指導員 林蔭興(二六)
第二回勤行報國青年隊隊員 張柳溟(二二)
第三同 同 郭雲三(二二)
第四同 同 蔡有進
東國女子青年團員 林氏春色(二一)
南生姆 郭氏鳳(二一)
同 陳氏[illegible]
同 許氏玉蘭(二一)
東國國民學校校長 山田[illegible]
本社高雄支局記者 大宮[illegible]

老春 (126)

川口松太郎作
伊勢良夫畫

湖 (六)

前文御免下さいませ。

愈々正市の兵隊につきまして、一方ならぬお世話を頂き、何とお禮を申し上げてよろしいやら、紙面にも有難く、深く深く御禮を申し上げます。

又、この度は、思はぬ御病氣にいたしまして、お詫の申し上げやうもございません。

幸ひにして、昨日あたりよりは熱も平熱と相成り、醫師の言葉にもこの分なら、あと十日あまりで[illegible]いたすことも出來得る由[illegible]居りまする故、御安心下さいまし。和知先生その他の皆樣方へもよろしく御願ひ申し上げます。

[illegible]の話によりますれば、平素分けて御指導下さいまする由、これも有難く、併せて御禮申し上げまする。と同時に、昨日は正市が所持の寫眞にて、お姿も拜見いたし、御成功遊ばされた御姿を目のあたりに見るの心地がいたして、誠におなつかしく存じ上げました。

數々の御親切がございまする故お目にかかつて御禮申し上ぐるわけにもまゐりませねば、お手紙にて、失禮いたしまする。あなた樣にもお體にお氣をつけられてお仕事のため、お國のため、この上の御活躍を、蔭ながら祈り上げまゐらせまする。先づは御禮かたがた御願ひまで。

昔のままの 千枝子拜

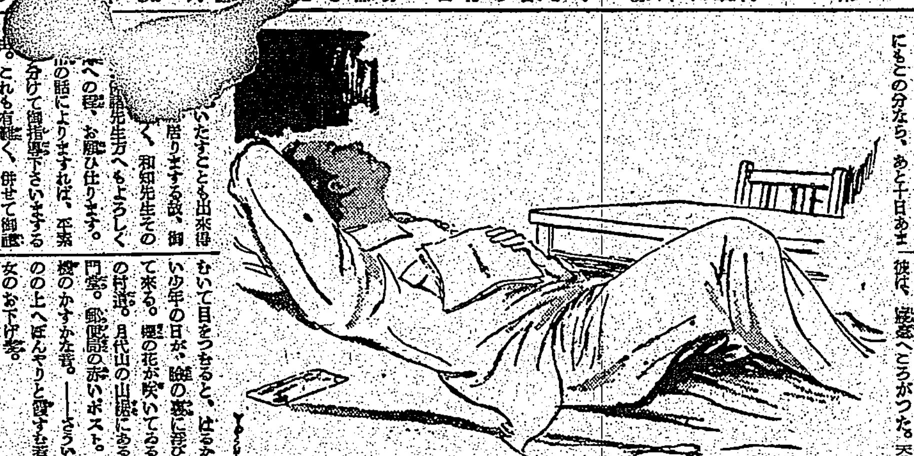
[illegible]校長先生

これが手紙の全文であつた。

正市が所持の寫眞にてお姿も拜見いたし、

『やつぱり自分を知つてゐたのだ』!

千枝子の寫眞を正市の部屋で見た時と同じ樣に、千枝子も寫眞で自分を知つたのだ。



御成功遊ばされた面影を目の邊りに見るの心地が致して、誠におなつかしう存じ上げました――と書かれた一行を繰返して讀んだ。

「昔のままの千枝子」と書いた愛情にも、ただならぬものを感ずる。

ただの禮狀といへばそれまでだが、それだけではすまされぬ感じの濃さが、文字の裏にしみ出てゐる。

讀み終つた手紙を展げたままで彼は、疊へごろがつた。天井を向いて目をつむると、はるかに遠い少年の日が、瞼の裏に浮き上つて來る。櫻の花が咲いてゐる三石の村道。月代山の山腹にある[illegible]。郵便局の赤いポスト。[illegible]のかすかな音。――さうした愛の上へぽんやりと灯す[illegible]の女のお下げ髪。

『[illegible]に行けば、自分が千枝子の良人になるところだつた』

寢ながらさう思つて見る。

八木澤の源三郎を知らなければ平凡に幸福に、今頃は三石の醫院長で、正市に代る自分達の子供が生れてゐるかも知れないのだ。

あの時の運命が、思はぬ方向に外れて行つて、たうとう今日まで女性を知らずにすぎてしまつた。

「[illegible]」といふ言葉が、異樣な[illegible]を意味するものならば、自分ほど淋しく美しい男はない。

愚かだと笑はば笑へ。仕事に[illegible]もれて、戀愛を避けて生きぬいた二十數年を、彼自身では淋しい過去と思つて、ひそかに大切にしてゐる。人に打ちあけて誇るべきではないが、自分だけの小さな誇りで滿足もすれば、樂しくもあつたのだ。

その青春を忘れてすぎた年を一ぺんに取戻しさうな千枝子の今の手紙が、彼には恐ろしかつた。

全部讀切 新鋭特輯
第一讀物 七月號出來
支那事變の見透しに就て 中島鉉三
汪精衛主席 板垣中將 本多大使 東亞の新秩序を背負つて立つ三人男人物評
英國恐るゝに足らず 獨逸少將 ガドー
大陸秘話 女海賊船長 土屋[illegible]
長篇詩切 天使の記錄 土岐[illegible]
防諜秘錄 要塞地圖第八號 北町一郎
父母美しき報道陣 城[illegible]一郎
時代産業 切腹三萬兩 星川周太郎
微笑人情 可燃性青春 鹿島孝二
市井純情 町のうわさ 淺野武男
戰時女心 神崎武雄 ◇遲きし水兵 佐藤光貞
米國暴露 眞珠灣の日章旗 小山甲三
透徹 五族の花・東寺 求 時局解說讀本
美談 自轉車ドル 平田宗作 ◇一頁講座◇
價五十錢 婦女界社

豐島與志雄創作集
白塔の歌 —近代傳說—
B六美裝函入 定價一・七〇 送料・一四
收められた六つの近代傳說には支那を題材に[illegible]人生觀の抒情が流れ、作者の飽なき探求の眼眸は支那民族の本然の姿を描いた。[illegible]
竹内勝太郎詩集
春の犧牲
竹内勝太郎はおそらく日本で詩を構成した[illegible]
木村謹治著
ヴィルヘルム・マイステル研究
若きゲーテ研究
ゲーテ
ファウスト研究
東京 弘文堂

技術文化向上へ最高指標!躍進
7月號 科學主義工業
科學と國策 鼎談會 桑木嚴翼 仁科芳雄 菅井準一
技術史の構造 高村象平
獨・英軍艦の裝甲鈑と徹甲彈 吉川晴十
死藏特許を開放せよ 石濱知行
作業効率向上による增產確保・特輯
新支那經濟再建の方途
技術教育の革新 對談會 西田博太郎 清水勤二
定價五十錢 送料二錢 東京・日本橋・兜町 科學主義工業社

金鶴香水

しゆう いたまず キキメ隨一
ハウト

運動家に
打つた、挫いた、疲れた、痛む……といふときは、すぐサロメチールをすり込んで下さい。故障を解消し、上乘の調子を保持します。
サロメチール
東京・田邊商店

齒痛に頭痛はガオガンに限る

V・ABCD協力榮養劑
コンビター 製法特許
子供が喜ぶビタミン
お菓子の樣においしい小粒ビタミン コンビターは……
普通肝油の五十倍以上もV・A、Dを含有する濃厚肝油と、V・B、Cとを合理的に綜合一丸とした理想の新製劑です。
子供の發育促進に…虛弱體質の強化に…結核・肺炎の豫防に…毎日のんで下さい。
發賣元 ノーシン本舖 荒川長太郎合名會社
VITAMIN A+B+C+D=COMVITA

胃腸病は短命の因
錠劑 ビーセット